

ISSN 1342-2987

仙台市博物館年報

第 47 号

平成31年度・令和元年度

目 次

ごあいさつ

1. 展示	2
常設展示／国指定文化財の公開／企画展・特別展	
2. 資料の収集保管	46
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／ 写真資料の貸出・利用／指定文化財一覧／収蔵資料一覧	
3. 教育・普及	51
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／ 学校教育との連携／生涯学習施設との連携(SMMA)／ 生涯学習施設との連携(歴ネット)／広報／刊行物・グッズ等	
4. 調査・研究	68
5. 仙台市史活用推進事業	72
6. ボランティア	75
7. 友の会	78
8. 博物館改修工事について	79
9. 組織・予算・運営	80
博物館組織図／事務分掌／予算概要／職員／仙台市博物館協議会	
10. 利用状況	83
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況・レファレンス対応表等／ 【参考】館外実施分含む博物館利用状況／視察対応状況	
11. 条例・規則・要綱等	86
博物館条例／博物館条例施行規則／仙台市博物館資料取扱要綱／ キャンパスメンバーズ制度設置要綱	
仙台市博物館のあゆみ	95

ごあいさつ

平成31年度・令和元年度は平成最後の年度であり、かつ令和という新しい元号へと改められた年度となりました。展覧会ではまず春に、ミヤギテレビとの共催で、特別展「いつだって猫展」を開催いたしました。これは江戸時代から明治時代にかけての猫ブームに着目したユニークな展覧会です。観覧者層も猫好きな方が多いのか、比較的若い方や女性の方が多かったようです。夏には企画展「戦国の伊達氏ー植宗から政宗へ」と題して、伊達植宗から政宗に至る中世の伊達氏にスポットを当てた展覧会を開催いたしました。これまではなかなか取り上げることのなかった伊達政宗の先祖たちに注目し、豊富な歴史資料を用いつつなるべくわかりやすい展示となるよう努めました。さらに秋には仙台市市制施行130周年記念として、企画展「やっぱり絵図がすき！ー博物館で旅する仙台藩と城下町ー」と題し、江戸時代の仙台北城下や仙台北領などの絵図、明治期以降の仙台の地図などを多数展示いたしました。昨今のまち歩きブームもあいまって、展覧会にあわせて制作した仙台北城の絵図ジグソーパズルも完売するなど、反響の大きかった展覧会です。また、会期中10月に発生した「令和元年東日本台風」の影響で、午後から開館したり、予定していた講演会を延期したりするなどの影響が出たことも記憶に新しいところです。

教育普及事業につきましては、学習プログラムや出前授業を多数実施するとともに、各教育研究会への協力、仙台・宮城ミュージアム・アライアンス（SMMA）との連携や歴ネット事業など、多方面にわたる学びの機会の充実に努めました。各講座はなるべく展覧会と連動したテーマ設定により、理解を深めることができるよう試みております。大学向けのキャンパスメンバーズ制度では授業での活用など利用数も年々増えているところです。

仙台市史活用推進事業としては、市史講座や図書館連携講座、毎回好評のくずし字講座などを開催しています。市史関連の出版物としては、定期刊行してきた「市史せんだい」および『『仙台市史』活用資料集 青葉区の歴史探しー東部ー』を引き続き発行いたしました。特に活用資料集は最終巻で、仙台北城や仙台北城下を取り上げ、ページを増加してわかりやすい解説となるよう、努めました。

なお、令和2年1月から3月末までは、受変電設備および空調設備工事のため休館させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行のため、新しい博物館の在り方が問われる時代となって参りました。今後さらなる活動の充実に目指すとともに、皆様の一層のご指導とご支援のほどをお願い申し上げます。

仙台市博物館

館長 高橋 泰

1. 展示

常設展示

(1) 展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計7室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の6ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。本年度は企画展の会場として、あるいは関連作品を展示する会場として使用したほか、屏風絵など大画面の作品の展示も行った。

2室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織・刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」などを展示している。Ⅰについては、特別展・企画展の会場として使用した期間もあった。なお、両展示室はともに前・奥室の2空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

2つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形・漆工芸・陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示しているが、本年度は仙台藩6代藩主伊達宗村の特集や、近代の仙台で行われた藍染「常盤紺形」に関わる資料の展示も行った。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及 プレイミュージアム」の項を参照されたい。

(2) 令和元年度の常設展示

現在、9万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、春夏秋と年3回の展示替えを実施した（冬は休館）。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。

本年度の展示で特筆するべきものとして、総合展示室のいくつかのゾーンで企画展「やっぱり絵図がすき！」と連動した展示を行ったことが挙げられる。例えば、「藩」のゾーンには長辺が8メートルにも及ぶ「奥州仙台領国絵図」を6年ぶりに展示したほか、仙台藩の要害の絵図を紹介するコーナーを設けた。また「町」のゾーンには、寺社の絵図をはじめ、林子平が描いたとされる世界地図や、仙台藩が警衛を任された蝦夷地の絵図、そして「近代都市へのあゆみ」のゾーンには明治から昭和にかけての仙台の絵図・地図を展示した。これらの展示は、企画展では紹介しきれない資料を展示することによって、企画展を補完し、多種多様な絵図の世界や身近な地域の歴史へのより深い理解を促すことを企図したものであった。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表1」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示資料目録(抄録)」を参照されたい。

(3) 外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、当館では以下のような取り組みを行っている。

- 1 英・中・韓3カ国語対応の音声ガイドの導入
- 2 英・中・韓3カ国語パンフレットの作成
- 3 小テーマの解説への英・中・韓3カ国語併記
- 4 展示資料のキャプションへの英文併記

(4) 今後の課題等

各コーナーのテーマや資料が入れ替わりながら、全体としては常に仙台の歴史と文化を概観できる、という当館の常設展の特色を一層生かせる工夫を推し進めていきたい。

表1 令和元年度展示替え一覧

展示室	ゾーン	コーナー	句の常設展2019春 「玉蟲左大夫と若生文十郎」ほか (3/12-6/23)	句の常設展2019夏 「伊達氏、仙台への道」ほか (6/25-9/23)	句の常設展2019秋冬 「常設展も絵図がいっぱい!」ほか (9/25-12/27)	工事のため休館 12/28- 2020. 3/31			
総合 展示室	1 むかしの 仙台	1 仙台のあけぼの	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか			上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか	上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか		
		2 細文人のくらし	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶)			上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶)	上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか(蔵王町別当遺跡出土土器)		
		3 船作の始まりと有力者の出現	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか			(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか	(弥生) 中在家南遺跡・高田B遺跡の出土資料(古墳) 遠見塚古墳の出土資料ほか		
		4 中央政権の進出	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか			郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか	郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦(貞観地震関係)ほか		
		5 陸奥国分寺	陸奥国分寺校型			陸奥国分寺校型	陸奥国分寺校型		
		6 武士の台頭	洞ノ口遺跡の出土資料			洞ノ口遺跡の出土資料	洞ノ口遺跡の出土資料		
		7 神仏への祈り	陸奥国分寺の仏像			6/25-9/8 信仰の中の金工資料	9/10-12/27 仏画		
	2 伊達政宗、 仙台へ	8 伊達氏の登場	政宗と秀吉			伊達氏、仙台への道	奥州の戦国人名		
		9 仙台藩主、伊達政宗	-4/21 複製政宗具足	4/23-5/26 菅野家政宗具足	5/28-7/11 複製政宗具足	7/12-9/1 政宗文書特集	9/3-11/4 複製政宗具足	11/6-12/27 菅野家政宗具足	
	3 城	10 仙台城のすかた	3/5- 遺品に見る仙台城図			伊達政宗と城	伊達政宗と城		
		11 藩主と夫人たち	仙台藩七代藩主・伊達重村			伊達政宗の子どもたち	9/18-12/27 藩主の文芸		
		12 武家のくらし	2/5-4/14 難調度	4/16-6/23 武家の服飾		江戸の詩絵	武家の調度と服飾		
	4 藩	13 仙台藩のようす	仙台藩の境界 -6/16			6/18-9/16 片倉家特集①	9/18-12/27 仙台藩の狩り		
		14 仙台藩の家出たち	寛文事件 -6/16			6/18-9/16 片倉家特集②	9/18-12/27 仙台藩の要害		
	5 町	15 城下町仙台	城下の中心地 芭蕉の辻			伊達政宗とまちづくり	9/18-12/27 仙台城下の寺社		
		16 町のくらし	3/5-6/16 春を楽しむ			6/18-9/16 夏の行事	9/18-12/27 東照宮祭礼		
		17 教育と文化	仙台藩の学問と思想家(養賢堂/林子平)			仙台藩の学問と思想家(天文学/林子平)	仙台藩の学問と思想家(医学教育/林子平)		
		18 新たな時代へ	玉蟲左大夫と若生文十郎①			玉蟲左大夫と若生文十郎②	仙台藩と蝦夷地		
	6 近代都市への あゆみ	19 戊辰戦争と明治維新	仙台藩と戊辰戦争 苦境に立つ仙台藩			戊辰戦争後の仙台藩	描かれた戊辰戦争		
		20 近代都市仙台	「杜の都」と「学都」仙台			「軍都」仙台	絵図・地図でみる「杜の都」仙台の変遷		
特集 展示室	東側・中央ケース	3/5-3/24 屏風絵	3/26-6/16 動物が描かれた絵画	6/18-7/28 屏風絵	7/30-9/8 博物館の仕事	9/10-10/6 仙台藩の障壁画	10/11-12/1 企画展「やっぱり絵図がすき!」	12/3-12/27 屏風絵	
コレクションI	北側ケース(陶磁器)	3/5-6/16 ゴトウコレクション			6/18-9/29 磁石	10/1-12/27 埴焼と切込焼			
	中央ケース	3/5-6/16 伊澤家コレクション			6/18-9/29 磁石	10/1-12/27 埴焼と切込焼			
	奥室	3/5-6/16 山形の古人形と堤人形/猫の古人形			6/18-9/29 春人形と堤人形	10/1-12/27 芝居と東北の古人形			
	L	3/5-6/16 ゴトウコレクション			6/18-9/29 埋木組I	10/1-12/27 埴焼と切込焼			
	S(茶道具)	3/5-6/16 伊澤家コレクション			6/18-9/29 茶道具	10/1-12/27 茶道具			
	浮世絵	幕末・明治の錦絵76 猫が描かれた浮世絵特集			幕末・明治の錦絵77 歌川広重ほか風景画特集	幕末・明治の錦絵78 楊州岡延特集			
企画 展示室		-1/18 閉室	6/10-7/11 閉室	9/2-10/10 閉室	10/11-12/1 企画展「やっぱり絵図がすき!」				
テーマI	仙台藩の武器武具 前室	4/19-6/9 特別展「いつだって猫展」	6/10-7/11 閉室	7/12-9/1 企画展「戦国の伊達氏」	9/10-12/27 武器武具				
	仙台藩の武器武具 奥室	3/19-3/24 仙台藩の武器武具	6/10-7/11 閉室	9/2-9/9 閉室	9/10-12/27 武器武具				
テーマII	慶長遣欧使節 前室	3/5-5/6 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など(奥室は3/26-5/6閉室)	5/8-9/29 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など	10/1-11/4 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など	11/6-12/27 国宝「慶長遣欧使節関係資料」など				
	慶長遣欧使節 奥室	-3/25 閉室	5/7-9/30 閉室		11/6-12/27 閉室				
コレク ションII	3/5-4/7 巻を彩る絵画	4/16-6/9 特別展「いつだって猫展」	6/10-6/17 閉室	6/18-7/28 東洋の絵画	7/30-9/23 近代の郷土画家特集	9/25-11/4 伊達宗村特集	11/6-12/27 常盤紺形		
プレイ ミュージ アム	3/9-4/20 投扇興	4/19-6/9 特別展開連イベント「あなたも摺り師-猫版画」		6/22 変身タイム①	7/2-8/18 短冊に願いを	7/12-9/1 企画展「信長・政宗のハンコをつくろう」	9/7-10/6 伊達なもんきり遊びをしよう	10/11-12/1 企画展開連イベント「絵図パスルに挑戦」	12/7 変身タイム②

常設展示展示資料目録（抄録）

1. 表記のうち重文は重要文化財
2. コレクション名については一部略記した。
3. その他の略記事項については以下の通り。
 仙台市博物館蔵資料＝館蔵 伊達家寄贈文化財＝伊文
 斎藤報恩会寄贈資料＝報恩会、
 仙台市教育委員会＝仙台市教委、コレクション＝C、
 世紀＝C

総合展示室

1 むかしの仙台

仙台のあけぼの

2019.3/12～12/27

1. ペン先形ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 1点 仙台市教委
2. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（下層）
後期旧石器初頭 2点 仙台市教委
3. 石刃 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 1点 仙台市教委
4. ナイフ形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 3点 仙台市教委
5. スクレイパー 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
6. 彫刻刀形石器 上ノ原山遺跡（上層）
後期旧石器後半（2.0～1.5万年前） 4点 仙台市教委
7. 両面加工の石器 野川遺跡 縄文草創期 1点 仙台市教委
8. へら形石器 野川遺跡 縄文草創期 2点 仙台市教委
9. 土器の破片 野川遺跡 縄文草創期 一括 仙台市教委

縄文人の暮らし

2019.3/12～6/23

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点 仙台市教委

8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
9. 漁の道具・鹿角製銛 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
10. 漁の道具・上製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委
12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 13点 仙台市教委
17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
18. 土偶 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡 縄文晩期 1点 仙台市教委

片倉家資料



18. 鍛冶沢遺跡出土土偶

6/25～12/27

1. 縄文土器・深鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 2点 仙台市教委
2. 縄文土器・浅鉢 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
3. 縄文土器・注口土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
4. 縄文土器・革袋形土器 上野遺跡 縄文中期中葉 1点 仙台市教委
5. 縄文土器 高柳遺跡 縄文中期中葉 6点 仙台市教委
6. 狩りの道具・石槍 三神峯遺跡 縄文前期前葉 1点 仙台市教委
7. 狩りの道具・石匙 六反田遺跡 縄文後期初頭 2点 仙台市教委
8. 狩りの道具・石鎌 大野田遺跡 縄文後期前葉 10点 仙台市教委
9. 漁の道具・鹿角製銛 大野田遺跡 縄文後期前葉 2点 仙台市教委
10. 漁の道具・上製錘 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
11. 漁の道具・軽石製浮子 大野田遺跡 縄文後期前葉 3点 仙台市教委

12. 打製石斧 大野田遺跡 縄文後期前葉 4点 仙台市教委
 13. 磨製石斧 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 14. 凹石 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 15. 石皿 六反田遺跡 縄文後期初頭 1点 仙台市教委
 16. 土偶 大野田遺跡 縄文後期前葉 13点 仙台市教委
 17. 土偶 伊古田遺跡 縄文後期中葉 4点 仙台市教委
 18. 土偶 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡 縄文晩期 1点 片倉家資料
19. 人面付き双口土器 宮城県蔵王町下別当遺跡 縄文晩期 1点 片倉家資料
- ※No.9は6/21~12/27の間1点、No.16は9/10~11/4の間8点、11/6~12/27の間7点、No.17は9/10~12/27の間2点、No.19は9/10~12/27の間展示

稲作のはじまりと有力者の出現

2019.3/12~12/27

1. 弥生土器・高坏 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
 2. 弥生土器・甕 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
 3. 弥生土器・壺 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
 4. 竪杵 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
 5. 竪杵木製品 中在家南遺跡 弥生中期 1点 仙台市教委
 6. 石包丁 高田B遺跡 弥生 7点 仙台市教委
 7. 大形蛤刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
 8. 扁平片刃石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
 9. 鑿形石斧 高田B遺跡 弥生 2点 仙台市教委
 10. ガラス小玉 遠見塚古墳 4C末 3点 仙台市教委
 11. 手づくね土器 遠見塚古墳 4C末 5点 仙台市教委
 12. 土師器・壺 遠見塚古墳 4C末 1点 仙台市教委
 13. 朝顔形埴輪 大野田5号墳 5C後半 1点 仙台市教委
 14. 須恵器・有蓋脚付壺 南小泉遺跡(26次) 5C後半 1点 仙台市教委
 15. 円筒埴輪 大野田1号墳 6C 1点 仙台市教委
- ※No.6は6/21~10/9の間6点、No.7とNo.9は6/21~10/9の間各1点展示

中央政權の進出

2019.3/12~12/27

1. 材木列(外堀)のクリ材 郡山遺跡 7C後半~8C前半 2点 仙台市教委
 2. 単弁蓮華文軒丸瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 3. 重弧文軒平瓦 郡山遺跡 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 4. 土師器・坏(関東系) 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点 仙台市教委
 5. 土師器・坏(在地) 長町駅東遺跡 7~8C前半 2点 仙台市教委

6. 須恵器・長頸瓶 茂ヶ崎横穴墓群1号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 7. 須恵器・大甕 茂ヶ崎横穴墓群3号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 8. 須恵器・平瓶 茂ヶ崎横穴墓群20号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 9. 勾玉(ガラス) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 10. 勾玉(瑪瑙) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 11. ガラス小玉(大) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 4点 仙台市教委
 12. ガラス小玉(中) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 13. ガラス小玉(小) 茂ヶ崎横穴墓群4号墓 7C後半~8C前半 40点 仙台市教委
 14. 切子玉(水晶) 茂ヶ崎横穴墓群8号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 15. 管玉(碧玉) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 3点 仙台市教委
 16. 切子玉(琥珀) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 17. 丸玉(蛇紋岩) 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 1点 仙台市教委
 18. 円玉 茂ヶ崎横穴墓群25号墓 7C後半~8C前半 4点 仙台市教委
 19. 陸奥国分寺創建瓦(重弁蓮華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
 20. 陸奥国分寺創建瓦(偏行唐草文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 奈良 1点 仙台市教委
 21. 陸奥国分寺修復瓦(宝相華文軒丸瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 22. 陸奥国分寺修復瓦(連珠文軒平瓦) 陸奥国分寺跡 平安 1点 仙台市教委
 23. 棟平瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 24. 獸面文鬼瓦 与兵衛沼窯跡 平安 1点 仙台市教委
 25. 刻印文字瓦「丸」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 26. 刻印文字瓦「占」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 27. 刻印文字瓦「伊」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 28. 刻印文字瓦「物」 陸奥国分尼寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
 29. 七重塔水煙片 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点 東北大学文学部
 30. 七重塔九輪 陸奥国分寺跡 奈良~平安 1点 仙台市教委
- ※No.31は11/6~12/27の間6点展示

武士の台頭

2019.3/12~12/27

1. 大甕(常滑) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 2. 小壺(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 3. 片田鉢(在地) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 4. 合子(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 5. 仏花瓶(古瀬戸) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 6. 大日茶碗(瀬戸美濃) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 7. 青磁・碗(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 8. 青磁・皿(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 9. 青白磁・合子(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 10. 青白磁・梅瓶(中国) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 11. 白磁・四耳壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 12. 白磁・壺(中国) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 13. 土師質土器・皿 洞ノ口遺跡 中世 11点 仙台市教委
 14. 土師質土器・小皿 洞ノ口遺跡 中世 15点 仙台市教委
 15. 短刀(拵付) 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 16. 短刀 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 17. 鎌 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 18. 馬具(轡) 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 19. 板碑 洞ノ口遺跡 延慶3年 1点 仙台市教委
 20. 板碑 洞ノ口遺跡 応長2年 1点 仙台市教委
 21. 板碑 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 22. 呪符木簡 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 23. 地藏菩薩木像 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 24. 木製五輪塔 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 25. 洪武通寶 洞ノ口遺跡 中世 2点 仙台市教委
 26. 永樂通寶 洞ノ口遺跡 中世 7点 仙台市教委
 27. 錢種不明 洞ノ口遺跡 中世 1点 仙台市教委
 28. 鬼瓦 東光寺遺跡 中世 2点 仙台市教委
- ※No.13は11/6~12/27の間6点、No.22は3/12~11/4展示

神仏への祈り

「陸奥国分寺の仏像」 2019.3/12~6/23

1. 木造十二神将立像 丑神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
2. 木造十二神将立像 寅神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
3. 木造十二神将立像 卯神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺
4. 木造十二神将立像 酉神 鎌倉 1軀 陸奥国分寺

「信仰の中の金工資料」 6/25~9/8

1. 重文 銅鏡 鎌倉 10面 熊野那智神社

「仏画」 9/10~12/27

1. 文殊五尊図 室町 1軀 ゴトウC
2. 童子経曼荼羅 室町 1軀 阿部C
3. 木版胎藏界曼荼羅 江戸 1幅 阿部C

2 伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「政宗と秀吉」 2019.3/12~6/23

1. 豊臣秀吉小田原陣陣立書 (天正17年)11月20日 1幅 伊文
2. 伊達政宗書状 中島伊勢守(宗求)宛 (天正18年)4月21日 1幅 館蔵
3. 伊達政宗起請文案 羽柴忠三郎(蒲生氏郷)宛 (天正18年)1通 伊文
4. 前田利家書状 伊達左京大夫(政宗)宛 (天正18年)12月22日 1通 伊文
5. 伊達政宗書状 浅弾(浅野弾正少弼長吉)宛 (天正19年)6月26日 1幅 館蔵
6. 伊達政宗書状 大町三河守宛 (天正20年)3月17日 1幅 館蔵
7. 伊達政宗書状 富近(富塚近江守宗綱)宛 (文禄2年)7月21日 1通 伊文
8. 石山三成書状 針民部太輔(針生盛信)宛 (文禄4年)7月25日 1幅 館蔵
9. 豊臣秀吉御詫覚書 (伊達政宗宛) 文禄4年8月24日 1通 伊文

「伊達氏、仙台への道」 6/25~9/23

1. 伊達植宗書状 相馬次郎(顕胤)宛 (年未詳)9月18日 1通 伊文
2. 伊達晴宗知行宛行状 国分源三(常信)宛 天文12年7月3日 1通 国分家資料
3. 性山公治家記録巻4 (天正9年5月条) 元禄16年 1冊 伊文
4. 仙道之図 江戸 1幅 伊文
5. 徳川家康領知覚書(百万石のお墨付き) 大崎少将(伊達政宗)宛 慶長5年8月22日 1巻 伊文
6. 伊達政宗書状 石川大和(昭光)・同中書(義宗)宛 (慶長5年)9月晦日 1幅 館蔵
7. 貞山公治家記録巻20下(慶長5年12月24日条) 元禄16年 1冊 伊文

「奥羽の戦国大名」 9/25~12/27

絵図と文書にみる伊達政宗の合戦

1. 仙道絵図 江戸 1 鋪



1. 仙道絵図

2. 仙道絵図 江戸 1 幅

3. 貞山公治家記録巻1 (天正13年11月17日条) 元禄16年 1 冊

4. 伊達政宗朱印書出 長江播磨守(勝景)宛 (天正16年) 4月15日 1 通

5. 伊達政宗書状 郡山太郎右衛門尉(頼祐)宛 (天正16年) 6月26日 1 幅

6. 伊達政宗書状 五郎殿(伊達成実)宛 (天正17年) 5月14日 1 通

7. 伊達政宗書状 須田佐渡守宛(天正17年) 6月5日 1 幅

仙台藩主、伊達政宗

2019.3/12~4/21

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用

4/23~5/26

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領 桃山~江戸初期 1 領



1. 黒漆五枚胴具足

5/28~7/11、9/3~11/4

1. 黒漆五枚胴具足(複製) 伊達政宗所用

館蔵

伊文

7/12~9/1

1. 伊達政宗一揆契状 余日三河守(持家)宛 永和3年10月10日 1 通

伊文

2. 伊達政宗書状 金雲州(金森出雲守重頼)宛 (寛永3年) 8月16日 1 幅

伊文

3. 伊達政宗書状 伊房州(伊達安房守成実)宛 (年月日未詳) 1 幅

片倉家資料

11/6~12/27

1. 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 菅野重成拝領 桃山~江戸初期 1 領

伊文

3 城

仙台城のすがた

「遺品にみる仙台城」 2019.3/5~6/23

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆 原本は江戸前期 1 幅

館蔵

2. 菊唐草文飾り金具 仙台城本丸跡出土 17C 1 点

仙台市教委

3. 仙台城本丸跡出土金箔瓦 仙台城本丸跡出土 江戸前期 1 点

仙台市教委

4. 菊桐紋釘隠 江戸初期 1 点

館蔵

5. 青花金彩鳳凰合子片 仙台城本丸跡出土

明末~清初 5 点

仙台市教委

6. 祥瑞蔓草紋変形皿片 仙台城本丸跡出土 明末 8 点

仙台市教委

7. 青磁陰刻牡丹紋皿 仙台城本丸跡出土 17C前半 1 点

仙台市教委

8. 竹園屏風 狩野左京筆 慶長15年 2 曲 1 隻

館蔵

9. 繪図屏風 慶長15年 2 曲 1 隻

藤縄達夫氏寄贈

伊文



9. 繪図屏風

10. 葵園屏風・右隻 狩野左京筆 慶長15年 2 曲 1 双のうち 1 隻

伊文

11. 葵図屏風・左隻 狩野左京筆 慶長15年
2曲1双のうち1隻 伊文
 12. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
 13. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
 14. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
 15. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 16. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 17. 慶長一分金 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 3枚
伊達貞宗氏寄贈
 18. 硯 瑞鳳殿出土資料 1点 伊達貞宗氏寄贈
 19. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末～17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
 20. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 21. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
- ※No.8は3/5～5/6、No.9は5/8～6/23、No.10は3/5～5/6、
No.11は5/8～6/23展示

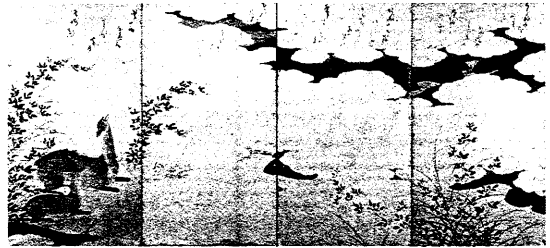
「伊達政宗と城」 6/25～9/23

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
2. 伊達政宗画像 狩野安信筆 江戸前期 1幅 伊文
3. 荒町毘沙門堂縁起 江戸中期 1点 伊文
4. 仙台領古館記 大概平常治筆 寛保3年 1冊 報恩会
5. 漆器椀(北日城跡出土) 江戸前期 1点 仙台市教委
6. 漆器椀(北日城跡出土) 江戸前期 1点 仙台市教委
7. 脇指(北日城跡出土) 江戸前期 1件 仙台市教委
8. 貞山公治家記録巻21 慶長6年正月11日条
元禄16年 1冊 伊文
9. 三体詩鈔 二之上 雪心素隠著 寛永14年刊
13冊のうち1冊 館蔵
10. 木製下駄 仙台城三の丸跡出土 3点 仙台市教委
11. 煙管 仙台城三の丸跡出土 1点 仙台市教委
12. 灯明皿 仙台城三の丸跡出土 1点 仙台市教委
13. 硯 仙台城三の丸跡出土 1点 仙台市教委
14. 銀製装飾品 瑞鳳殿出土資料 江戸初期
1点 伊達貞宗氏寄贈
15. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
16. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
17. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
18. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末～17C初期 1点
伊達貞宗氏寄贈
19. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
20. 硯 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
21. えんぴつ(複元品) 2点 館蔵

※No.1は6/25～7/28、9/3～9/23、No.2は7/30～9/1展示

「伊達政宗と城」 9/25～12/27

1. 伊達政宗画像(複製) 原本は狩野安信筆
原本は江戸前期 1幅 館蔵
2. 重要美術品 萩に鹿図屏風・左隻 寛永5年
4曲1双のうち1隻 伊文



2. 重要美術品 萩に鹿図屏風・左隻

3. 重要美術品 萩に鹿図屏風・右隻 寛永5年
4曲1双のうち1隻 伊文
 4. 金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1振 伊達貞宗氏寄贈
 5. 金製ブローチ 瑞鳳殿出土資料
江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 6. 煙管 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 2本 伊達貞宗氏寄贈
 7. 懐中鏡 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1面 伊達貞宗氏寄贈
 8. 文鎮 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 9. 硯 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1口 伊達貞宗氏寄贈
 10. 墨 瑞鳳殿出土資料 16C末～17C初期
1点 伊達貞宗氏寄贈
 11. 墨 瑞鳳殿出土資料 江戸初期 1点 伊達貞宗氏寄贈
 12. えんぴつ(複元品) 江戸初期 2点 館蔵
- ※No.2は9/25～11/10、No.3は11/12～12/27展示

藩主と夫人たち

「仙台藩七代藩主・伊達重村」 2019.3/12～6/23

1. 伊達重村画像 土井利徳筆 江戸後期 1幅 伊文
2. 伊達重村・悼姫和歌短冊 伊達重村・観心院 1幅 伊文
3. 伊達重村願書案 1通 伊文
4. 就風土記御用桃生郡深谷和潤村私在所之内扱無之分書出
付他村家中屋敷共 武田五郎左衛門 安永9年9月
1冊 武田家資料
5. 徹山公治家記録巻6 明和8年1月～3月条 1冊 伊文
6. 柴田成義・遠藤善信連署意見書(宝暦6年)9月
1通 伊文

「伊達政宗の子どもたち」 6/25～9/16

1. 伊達秀宗書状 茂庭石見守(綱元)宛
(元和4年カ)11月20日 1通 館蔵
2. 伊達政宗書状 了庵(茂庭綱元)宛
(元和7年)10月6日 1通 館蔵
3. 伊達秀宗書状(伊達)忠宗宛
(寛永11年)閏7月28日 1通 伊文

4. 伊達政宗書状 松下総守(松平忠明)宛
(慶長20年)正月2日 1幅 個人蔵

「藩上の文芸」 9/18~12/27

1. 伊達古村画像 伊達古村白賛 江戸中期 1幅 伊文
2. 伊達古村画像 伊達古村白賛 江戸中期 1幅 伊文
3. 重要美術品 和歌詠草 毎家有春 後柏原天皇
室町(16C) 1幅 館蔵
4. 源氏八景御手鑑 伊達古村筆・堂上方詞書
江戸中期 1帖 伊文
5. 能組覚書 (元文元年)9月18日 1通 伊文
※No.1は9/18~11/4、No.2は11/6~12/27展示

武家のくらし

「雛調度」 2019.2/5~4/14

1. 雛人形 江戸 1組 個人蔵
2. 竹菱葵紋蒔絵雛調度(黒棚、厨子棚、書棚、碁籠、
将棋盤、双六盤、行器、食籠、長持、挟箱、箆笥)
江戸後期 1式 館蔵

「武家の服飾」 4/16~6/23

1. 浅葱絹地直衣 江戸後期 1領 館蔵
2. 白絹地直衣 江戸後期 1領 館蔵
3. 筭・松に富士蒔絵櫛 江戸 1組 伊文
4. 白綾子地団扇に梅模様振袖 江戸後期 1領 館蔵
5. 葡萄鼠縮縮地藤に燕文様小袖 文久元年 1領 個人蔵
※No.1、4は4/16~5/19、No.2、5は5/21~6/23展示

「江戸の蒔絵」 6/25~9/23

1. 花鳥山水蒔絵箆 石村忠貞作 元禄2年 1張 伊文
2. 金梨地牡丹紋蒔絵旗箱 江戸中期 1合 伊文
3. 葵紋橘蒔絵櫛台 江戸後期 1式 館蔵

「武家の調度と服飾」 9/25~12/27

1. 花樹に貝蒔絵蒔絵調度 伝香の前所用 江戸前期 1式 館蔵
2. 雪薄紋爲文蒔絵広蓋 江戸中期 1面 館蔵
3. 浅葱浅地長袴 江戸 1領1腰 個人蔵
4. 重文 浅葱綾子地梅に額文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文
5. 重文 段風通地寿字木賊等文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文
6. 重文 白綾子地桔梗文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文
7. 重文 縞モール地花鳥文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文



7. 重文 縞モール地花鳥文様帯

8. 重文 白綾子地雪輪に春草文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文
9. 重文 薄浅葱縞子地桔梗文様帯 三沢初子所用
江戸前期 1筋 伊文
※No.3は9/25~10/20、No.4~6は10/22~12/8、No.7~
9は12/10~12/27展示

4 藩

仙台藩のようす

「仙台藩の境界」 2019.3/12~6/16

1. 御分領中御郡絵図 江戸 1冊 館蔵
2. 領内境日記上・下 享保12年頃か 2冊 伊文
3. 仙台藩奉行速署掟書写 奥山大学ほか3名
寛文2年8月15日 1通 片倉家資料
4. 覚間沢境絵図 寛永19年6月15日 1鋪 伊文
5. 伊沢之内相去村・和賀之内鬼柳村新境絵図
寛永19年6月10日 1鋪 伊文

「片倉家特集①」 6/18~9/16

1. 片倉景綱画像 猪野謙山筆 明治(19~20C)1幅 片倉家資料
2. 徳川家康画像 幸田良恭筆 天明元年 1幅 館蔵
3. 徳川家康書状 片倉小十郎(景綱)宛
(天正19年)1月12日 1幅 片倉家資料
4. 下長井段銭帳(片倉)景綱 天正12年11月26日 1冊 伊文
5. 徳川家康書状 遠藤山城守(基信)宛
(天正7年)7月1日 1通 報恩会
6. 徳川家康書状 伊達左京大夫(政宗)宛
(天正19年)1月12日 1通 伊文
7. 片倉景綱・石川昭光起請文 登坂式部少輔・南右馬允宛
慶長5年7月25日 1通 片倉家資料

「仙台藩の狩り」 9/18~12/27

1. 伊達政宗鷹狩掟書 元和2年12月3日 1幅 館蔵
2. 伊達政宗書状 美作守(伊達忠宗)宛
(年末詳)1月27日 1通 鷹匠佐藤家資料

3. 松森御弁当場御絵図 江戸中後期 1 鋪 報恩会
4. 伊達吉村書状 惣次郎（伊達宗村）宛
（年未詳）1月3日 1通 伊文
5. 鷹鈴板之図 菊川栄羽筆 宝曆3年 1枚 伊文
6. 鷹葉種能毒并阿蘭陀薬能書 江戸 1冊 鷹匠佐藤家資料
7. 下野国古河辺久喜御鷹場絵図 江戸 1鋪 伊文

9/25~12/27

1. 奥州仙台領国絵図 元禄10年模写 1幅 藤縄達夫氏寄贈



1. 奥州仙台領国絵図

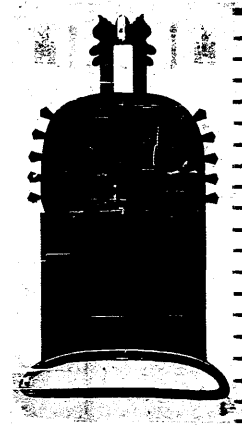
仙台藩の家臣たち

「寛文事件」 2019.3/12~6/16

1. 大条宗頼他十三名連署状案 立花飛騨守（忠茂）・伊達兵部太輔（宗勝）宛 万治3年7月9日 1通 伊文
 2. 仙台藩一門連署起請文 伊達安芸（宗重）ほか3名
（万治3年）7月29日 1通 伊文
 3. 伊達兵部・田村右京連署血判起請文 立花飛騨守（忠茂）宛 万治3年11月21日 1通 伊文
 4. 毘沙門天画像 伊達綱宗筆 江戸前期 1幅 伊文
 5. 伊達綱宗書状 松平亀千代宛（寛文8年）5月25日 1通 伊文
 6. 伊達亀千代書「村雨」 伊達亀千代 寛文4年 1幅 伊文
 7. 浮世絵「伽羅先代萩」 歌川国芳画 嘉永元年~嘉永6年 大判3枚続 大宮司C
 8. 浮世絵「早苗烏伊達闇書」 豊原国周 明治9年 大判3枚続 大宮司C
 9. 伊達記 乾 桂秀画（江戸後期か） 2冊のうち1冊 館蔵
 10. 伊達記 坤 桂秀画（江戸後期か） 2冊のうち1冊 館蔵
- ※No.7は3/12~5/6、No.8は5/8~6/16、No.9は3/12~5/6、No.10は5/8~6/16展示

「片倉家特集②」 6/18~9/16

1. 白石城普請窺絵図 貞享元年6月25日 1鋪 片倉家資料
2. 白地黒釣鐘旗 江戸 1旒 片倉家資料



2. 白地黒釣鐘旗

3. 伊達政宗書状 片倉備中（景綱）宛
（慶長7年）12月晦日 1幅 片倉家資料
4. 深薨抄 江戸初期 1冊 片倉家資料
5. 片倉重綱書状 針生民部（盛信）宛
（慶長20年）5月14日 1幅 館蔵
6. 大坂夏の陣道明寺合戦首帳（慶長20年）5月 1冊 菅野家資料
7. 片倉代々記巻6（元和元年10月14日条） 江戸前期 1冊 片倉家資料

「仙台藩の要害」 9/18~12/27

1. 岩出山要害隠居所絵図 元禄15年 1鋪 個人蔵
2. 仙台藩奉行連署状 柴田内蔵宗意ほか3名 弾正（伊達宗親）宛 貞享4年8月18日 1通 個人蔵
3. 亘理城絵図 江戸初期 1鋪 伊文
4. 水沢城絵図 江戸初期 1鋪 伊文
5. 登米城絵図 江戸初期 1鋪 伊文
6. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
7. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
8. 金山城絵図 貞享元年6月28日 1鋪 仙台銀行寄贈
9. 伊具金山要害屋敷普請奉窺候覚 中島采女 宝暦9年8月 1通 仙台銀行寄贈

5 町

城下町仙台

「城下の中心地 芭蕉の辻」 2019.3/12~6/23

1. 芭蕉の辻櫓状建物の設計図 文政10年 1鋪 館蔵
2. 「二十四輩巡拝図公後篇卷之四」より芭蕉の辻 了貞著 竹原春泉斎画 文化6年刊 1冊 個人蔵
3. 錦絵芭蕉の辻（複製） 作者不詳 原資料：江戸後期 4枚 館蔵
4. 仙台鹿の子（写本） 江戸 1冊 尚文館C

5. 芭蕉の辻図(複製) 熊耳耕年画 近代 1面 三原C
6. 「仙台及塩釜松島名所図絵」より芭蕉ノ辻・電信郵便局
林基春画 明治29年発行 1点 三原C
7. 仙台名勝案内 菊田定郷編集 明治32年 1冊 菊田定郷C
8. 芭蕉の辻が描かれた年賀状 大江富弥
昭和3年正月 1通 三原C
9. 芭蕉辻伊勢佐挑見世当図 曜斎同輝画
明治初期 3枚続 阿部C
10. 芭蕉の辻の建物の瓦 近代 3点 館蔵

「伊達政宗とまちづくり」 6/25~9/16

1. 仙台橋の擬宝珠 慶長6年 1口 報恩会



1. 仙台橋の擬宝珠

2. 伊達政宗和歌詠草「入そめて」 江戸初期 1幅 伊文
3. 伊達政宗黒印状 小田原天神別当宛
(慶長6年)9月7日 1通 伊文
4. 伊達政宗書状写 年不詳8月23日 1通 伊文
5. 伊達政宗黒印状 笹町新左衛門・須田主計宛
寛永13年4月14日 1通 伊文
6. 「寺社領御寄附御牒二」より誓願寺 延宝8年
3冊のうち 尚文館C
7. 「政宗君記録引証記二十一」より「掟」 江戸 1冊
報恩会
8. 「伊達氏史料」より仙台藩奉行申渡状写 作並清亮編
明治34年編纂 1冊 伊文
9. 大町三四五丁目検断青山氏由緒覚書 青山五左衛門
元禄16年11月 1通 米川家資料
10. 田町紙専売願書写 田町之者共筆 岸帯刀・大波対馬宛
寛永18年8月26日 1綴 伊文
11. 仙台領奥州街道絵図 荒川如慶筆カ 江戸中期 1巻 館蔵
12. 奥州仙台城絵図(複製) 原資料:正保2年頃 1幅 館蔵

「仙台城下の寺社」 9/18~12/27

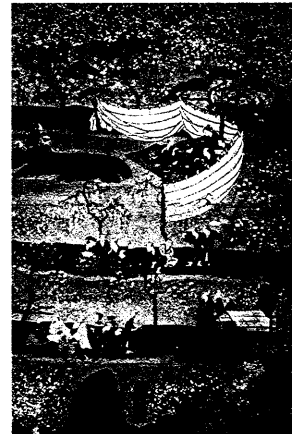
1. 仙台城下絵図 宝暦10年~明和3年 1鋪 報恩会
2. 仙台城下絵図 江戸中期以降 1鋪 館蔵
3. 貞山公治家記録巻21 慶長12年10月24日条 1冊 伊文

4. 大崎八幡米由記 松原探水筆 享保元年 1巻 大崎八幡宮蔵
5. 「仙台神社絵図」のうち東照宮 江戸後期 1帖 伊文
6. 伊達綱村画像 享保4 1幅 伊文
7. 「所々寺院御絵図」のうち万寿寺 江戸後期 1帖 伊文
8. 仙府神社仏閣案内記 仙台伊勢屋半右衛門刊
文政元年 1冊 尚文館C
9. 両足山志 崑峰海晴筆 享保19年 1冊 伊文

町のくらし

「春を楽しむ」 2019.3/5~6/16

1. 榴ヶ岡花見図屏風 江戸中期 6曲1隻 阿部次郎C



1. 榴ヶ岡花見図屏風(部分)

2. 徳利付荷絵野弁当 江戸末期 1組 甲田C
3. 枇杷文指樽 江戸後期 1対 増子征氏寄贈

「夏の行事」 6/18~9/16

1. 「仙台年中行事絵巻」より藩主狼煙御覧・水練御覧の図
江戸後期 1巻 三原C
2. 楽山公治家記録巻5 安政2年 1冊 伊文
3. 「釣奇一覽」より秋保温泉 安政3年跋文 1冊 報恩会
4. 濱田氏年中行事 文久2年 1冊 個人蔵
5. 参詣記 佐助筆 江戸後期 1冊 報恩会
6. やくたい草 伊達慶邦著 明治6年 1冊 伊文
7. 七夕飾り 大正 7点 菅野邦夫氏寄贈
8. 七夕の絵葉書「仙台 肴町七夕祭ノ光景」 大正 1点 館蔵
9. 七夕の絵葉書「仙台名物 五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪華版 東一番町」 昭和11年8月6日撮影 1点 館蔵
10. 七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」
昭和20年代 1点 館蔵

「東照宮祭礼」 9/18~12/27

1. 仙台東照宮祭礼小絵図 江戸中期~後期 3枚 館蔵
2. 「仙台年中行事絵巻」より仙台東照宮祭礼図
江戸後期 1巻 三原C
3. 東照宮御祭礼渡物行列帳 嘉永3年 1冊 三原C

4. 渡物札 江戸後期 2枚 三原C
5. 得可上屋次右衛門祭礼渡物免除願案 得可上屋次右衛門
浅井忠内宛 文政11年6月 1通 三原C
6. 東照宮祭礼 渡物図 狂言風流名古屋 二日町 寺沢屋
寛政3年頃 1枚 館蔵
7. 東照宮祭礼 渡物図 野見宿禰当麻蹶速すまふノ始り
肴町三丁目 鈴木屋 寛政3年頃 1枚 館蔵
8. 東照宮祭礼 渡物図 一條院の御時伊勢の大輔詠歌を奉る
鉢 木町 日野屋仁兵衛 江戸後期 1枚 館蔵
9. 東照宮祭礼 渡物図 大納言経信公秋の田を見給ふ鉢
国分町世話人庄司惣七ほか四名 江戸末期 1枚 阿部C
10. 嘉永三年相撲番付 嘉永3年 1枚 三原C
11. 秀ノ山雷五郎 三代歌川豊国画 弘化2~4年 1枚 三原C

※No.11は9/18~11/10展示

教育と文化

「仙台藩の学問と思想家」 2019.3/12~6/23

仙台藩の藩校 養賢堂

1. 山崎闇斎肖像 大槻平泉賛 天保8年 1幅 伊文
2. 養賢堂の図(複製) 原資料:江戸後期 1額 館蔵(原資料:宮城県図書館)
3. 書経 養賢堂蔵版 江戸後期 1冊 安倍謙一氏寄贈
4. 小学 養賢堂蔵版 嘉永3年 1冊 安倍謙一氏寄贈
5. 大槻平泉肖像 東東楽原画・高橋松亭模写 近代 1幅 佐藤暉雄氏寄贈
6. 理気鄙言 桜田欽斎著 文化元年序 1冊 中村C
7. 水滴 江戸後期 3点 館蔵

林子平の人生と思想

8. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
9. 蝦夷錦の袖口 江戸中期 1点 藤塚家資料
10. 蘭人制作支那図 林子平筆写 安永7年 1鋪 中村C
11. 長崎出島蘭館銅牌拓本 江戸中期 1幅 藤塚家資料
12. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代弼氏寄贈
13. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
14. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村C

「仙台藩の学問と思想家」 6/25~9/23

仙台藩の天文学

1. 獅山公治家記録 正徳4年2月7日条(遠藤盛俊入門)
田辺希文・児上秀基編 宝暦8年 1冊 伊文
2. 伊達世臣家譜(戸板氏) 田辺希元撰 寛政4年12月
1冊 伊文
3. 潮汐図説 高野立斎著 寛延2年 1冊 尚文館C
4. 天文図屏風 名取春仲筆 江戸後期 6曲1隻 館蔵

林子平の人生と思想

5. 儀式考 林良通(等翁)筆 江戸中期 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
6. 和蘭人宴会図 林子平筆 江戸後期 1面 館蔵
7. 三国通覧図説 林子平著 天明6年版 1冊 猪苗代翁・弼氏寄贈
8. 海国兵談 林子平著 寛政3年版 1冊 館蔵
9. 林子平謹慎自守ノ図 1幅 館蔵

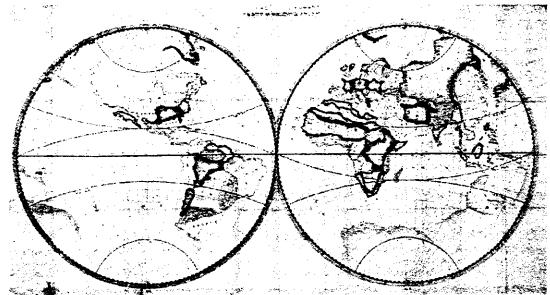
「仙台藩の学問と思想家」 9/25~12/27

仙台藩の医学教育

1. 仙台年中行事絵巻(複製) 原資料:江戸後期 1枚 三原良古C
2. 六物新志 大槻玄沢著 天明8年 1冊 館蔵
3. 瘍医新書 大槻玄沢訳・杉田玄白起業 文政8年刊 1冊 館蔵
4. 解体新書 杉田玄白ら訳 安永3年 1冊 館蔵
5. 存真図腋 佐々木中沢著・畠山仙江画 文政5年 1帖 山形敵一氏寄贈
6. 芝蘭堂新元会図(印刷) 原資料:市川岳山筆
近代(原資料:寛政6年) 1幅 鶴飼新一氏寄贈

林子平の人生と思想

7. 林子平肖像 佐々城朴庵筆 嘉永7年 1冊 尚文館C
8. 和蘭地理書ゼオガラヒー 林子平筆写 安永7年 1冊 藤塚家資料
9. 世界之図 林子平筆写 安永4年 1鋪 中村C



9. 世界之図

10. 仙台城下絵図 林子平筆 江戸中期~後期 1鋪 中村C
11. 仏語訳 三国通覧図説 クラブポート訳 1832年刊 1冊 館蔵
12. 海国兵談 林子平著 天明7年10月跋 1冊 館蔵
13. 林子平辞世拓本 江戸後期 1幅 中村C

新たな時代へ

「玉蟲左太夫と若生文十郎①」 2019.3/12~6/23

1. 玉蟲左太夫肖像 庄子勇筆 大正 1面 玉蟲誼氏寄贈
2. 入北記巻5 玉蟲左太夫筆 安政4年 1冊 玉蟲誼氏寄贈
3. 航米日録 玉蟲左太夫著 万延元年 1冊 館蔵

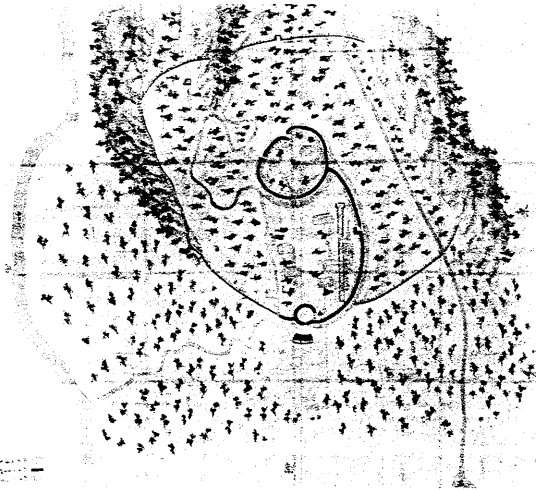
4. 玉蟲左太夫建白書草稿（文久3年々）正月4日 1通
玉蟲誼氏寄贈
5. 日記 若生文十郎筆（文久・元治年間）10月～12月
1冊 館蔵
6. 若生文十郎書状 梶原平馬・手代木直右衛門・伊東左太夫宛
（慶応4年）閏4月18日 1通 館蔵
7. 覚（軍務局御聞之事ほか）若生文十郎筆
（慶応4年5月々） 1通 館蔵

「玉蟲左太夫と若生文十郎②」 6/25～9/23

1. 近習日付御用日誌 慶応4年5月6日条 1冊 伊文
2. 玉蟲左太夫書状 作左衛門宛（明治元年）10月14日
1通 玉蟲誼氏寄贈
3. 玉蟲左太夫書状（明治元年）11月4日 1通 玉蟲誼氏寄贈
4. 軍功覚（慶応4年8月） 1通 館蔵
5. 覚（若生文十郎筆）（明治2年） 1通 館蔵
6. 天逸（若生文十郎）書状 諸弟泣宛
（明治2年）4月10日 1通 館蔵
7. 若生文十郎書「欲向中原掃妖塵」江戸末期 1幅
伊藤省三氏寄贈
8. 案内状（明治22年）6月12日 1通 館蔵

「仙台藩と蝦夷地」 9/25～12/27

1. 改正蝦夷全図 豊島洞斎・玉蟲左太夫作 嘉永7年 1鋪
玉蟲誼氏寄贈
2. シラライ元陣屋絵図（安政2） 1鋪 報恩会



2. シラライ元陣屋絵図

3. シラオイ分界絵図 江戸末期 1鋪 藤縄達夫氏寄贈
4. エトロフ島分界絵図 江戸後期 1鋪 藤縄達夫氏寄贈
5. ネモロ領之内チヨブシ従ニシベツ界迄境界絵図
江戸後期 1鋪 藤縄達夫氏寄贈
6. トカチ領境界絵図 江戸後期 1鋪 藤縄達夫氏寄贈

6 近代都市への歩み

戊辰戦争と明治維新

「仙台藩と戊辰戦争」 2019.3/12～6/23

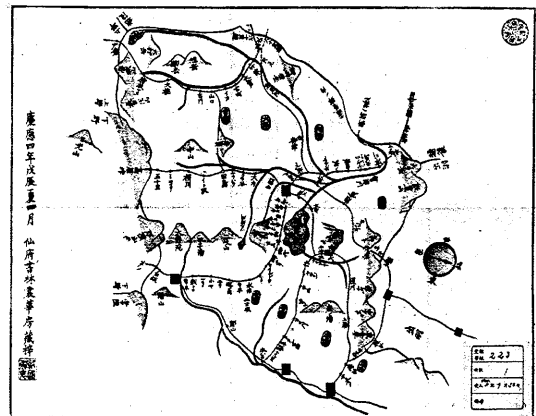
1. 伊達慶邦肖像 印藤真楯筆 明治13年 1面 伊文
2. 白石城真景図 小関雲洋筆 明治戊申（明治41年）春
1幅 片倉家資料
3. 公現（輪王寺宮）書状 伊達慶邦宛
（慶応4年）8月1日 1通 伊文
4. 米沢野夫（上杉斉憲）書状 伊達慶邦宛
（慶応4年）8月10日 1通 伊文
5. 松平権十郎歎願書 伊達慶邦宛（慶応4年）8月12日
1通 伊文
6. 酒井忠篤書状 伊達慶邦宛（慶応4年）8月12日 1通
伊文
7. 伊達慶邦書状 中島外記・松本要人・遠藤主税宛
（慶応4年）8月15日 1通 伊文

「戊辰戦争後の仙台藩」 6/25～9/23

1. 伊達慶邦肖像 印藤真楯筆 明治13年 1面 伊文
2. 伊達慶邦布告案 明治元年9月 1通 伊文
3. 総督府参謀達書 明治元年9月 1通 伊文
4. 大総督府参謀書状 四条少将（孝譚）宛
（明治元年）10月9日 1幅 久保C
5. 行政官達書 伊達慶邦宛（明治元年）12月 1通 伊文
6. 近衛忠熙・忠房書状 伊達亀三郎宛
（明治2年）4月9日 1通 伊文
7. 黒川剛出奔に関する達留 本郷勇助ほか 奉行衆ほか宛
明治2年4月25日～5月29日 1綴 個人蔵

「描かれた戊辰戦争」 9/25～12/27

1. 本しらべ城州伏見大火の図 慶応4年正月 1枚 個人蔵
2. 慶応四年陸奥出羽国郡行程図 慶応4年刊 1鋪 館蔵
3. 四郡略図（会津） 仙府書林裳華房版 慶応4年4月
1枚 報恩会



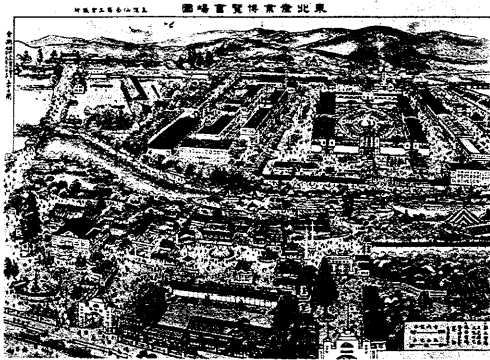
3. 四郡略図（会津）

4. 仙台ヨリ若松城下ニ至ル図 番山道人筆 (慶応4年)
1枚 報恩会
5. 会津戦闘絵図 慶応4年4月19日 1鋪 菅野家資料
6. 新庄鎮金山本陣絵図 (大滝口戦闘)
慶応4年7月11日 1鋪 報恩会

近代都市仙台

「杜の都」と「学都」仙台 2019. 3/12~6/23

1. 文久二年仙台城下絵図(複製)「蘭光」落款
文久2年 1幅 館蔵
2. 松島塩竈仙台遊覧案内双六 大正2年 1枚 三原C
3. 東北帝國大学理科大学一覽 大正3年 1冊 小野台蔵C
4. 第二師団遠望之図 奥山無門筆 大正8年 1幅 館蔵
5. 東北産業博覧会場図 昭和3年 1枚 館蔵



5. 東北産業博覧会場図

6. 仙台 小倉博著・仙台市教育会刊 大正13年 1冊 館蔵
7. 仙台松島塩竈大観 大正13年 1冊 三原C
8. 仙台市勢要覧 仙台市役所 昭和6年 3冊 小野台蔵C
9. 仙台市民読本 全 仙台市教育会 昭和10年 1冊 館蔵

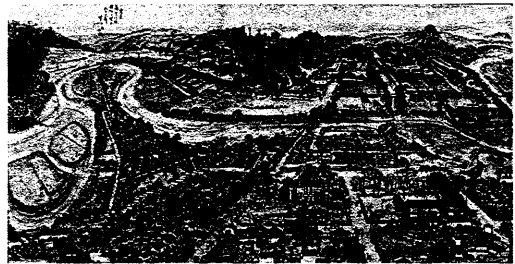
「軍都仙台」 6/25~9/23

1. 釈迦堂・歩兵第四連隊全図 玉虫龍之進画
明治30年 1点 三原C
2. 仙台第二師団全部之図 楊齋延一画 明治25年 1枚
大宮司C
3. 招魂祭略図 明治23年 1枚 三原C
4. 長町停車場(写真) 明治27年 1点 館蔵
5. 陸軍御用達大平商店の团扇 明治40年 1点 館蔵
6. 河内兵營之図 松浦勝也印刷 明治30年 1点 三原C
7. サハリン出兵時のアルバム 大正9年 1冊 個人蔵
8. 陸軍教導学校卒業記念アルバム 昭和15年 1冊 館蔵
9. 第二師団凱旋門之図 明治28年 1点 館蔵
10. 第二師団凱旋歌 河北新報社選・土井晚翠作曲
昭和8年 1紙 板橋家資料
11. 満州守備軍帰還の凱旋パレード(写真)
昭和8年 1点 館蔵
12. 梅沢道治書簡 板橋次郎宛 大正7年 1紙 板橋家資料
13. 松川敏胤肖像写真 昭和期 1点 松川家資料

14. 勲一等旭日桐花大綬章 松川敏胤宛 昭和3年 2点
松川家資料
15. 陸軍記念日に行進するボーイスカウト(写真)
昭和10年 1点 館蔵
16. 原町の陸軍工廠で働く女学生(写真)
昭和19~20年 1点 『仙台空襲』より
17. アメリカ軍が撮影した仙台市街(パネル)
昭和20年 2点 館蔵写真よりパネル作成
18. 空襲後の仙台市街(パネル) 昭和20年 3点
館蔵写真よりパネル作成

「絵図・地図でみる「杜の都」仙台の変遷」 9/25~12/27

1. 大日本磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後国郡沿革
色分輿地全図 景山致恭図 慶応4年 1枚 三原C
2. 地租改正仙台城下絵図 明治6~7年頃 1枚 館蔵
3. 大日本管轄分地図 宮城県管内全図 中松芳松発行
明治28年 1枚 三原C
4. 宮城県高砂村全図 明治40 1幅 館蔵
5. 第二師団遠望之図 奥山無門筆 大正期 1幅 館蔵



5. 第二師団遠望之図

6. 松島塩竈仙台遊覧案内双六
宮城県物産商会方山亀之助刊 大正2年 1枚 三原C
7. 大日本職業別明細図・仙台市全図 昭和12年 1枚 三原C
8. 戦災復興都市計画図 昭和23年頃 1枚 三原C
9. 仙台市街地図 昭和36年 1枚 館蔵
10. 仙台局電信電話区市内図 昭和25年 1幅 田村氏寄贈
11. 長町局市内図 昭和26年 1幅 田村氏寄贈

特集展示室

仙台藩の武器武具

2019.3/26~5/6

1. 黒漆五枚胴具足 7代伊達重村所用 江戸中期 1領 伊文
2. 重文 太刀 銘義光 建武4年 1口 亀岡八幡宮蔵
3. 太刀 無銘 号「籾国行」拵共 豊臣秀吉所用
伊達政宗拜領 鎌倉時代中期 1口 小笠原信夫氏寄贈
4. 豊臣秀吉書状 伊達政宗宛 (天正17年)6月9日 1通
伊文
5. 金小札五枚胴具足 9代伊達周宗所用 江戸中期 1領
伊文
6. 金梨子地菊桐紋蒔絵刀掛 江戸中期 1架 伊文
7. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵

8. 鶴蒔絵鞍轡 江戸後期 1組 伊文
 9. 赤羅紗地松喰鶴紋陣羽織 江戸後期 1領 個人蔵
 10. 茶縞地蟹牡丹紋章羽織 江戸中期 1領
 ナンシー・チエコ・大山氏寄贈
 ※No.2~4は3/26~3/31、No.9は3/26~4/14、No.10は4/16
 ~5/6展示

5/8~7 28

1. 鉄錆地五枚胴 伝鈴木元信所用 桃山 1領 館蔵
 2. 鉄錆地五枚胴具足 4代伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵
 3. 金梨子地竹雀九曜紋透刀掛 江戸初期 1架 伊文
 4. 金梨子地花鳥蒔絵鞍轡 江戸後期 1具 伊文
 5. 火繩銃「東雲」銘「仙台住木田市郎右衛門尉定幸極上之鍛」
 江戸後期 1挺 館蔵
 6. 茶縞地蟹牡丹紋章羽織 江戸中期 1領
 ナンシー・チエコ・大山氏寄贈
 7. 緋羅紗地波濤模様火事装束(羽織・右帯) 江戸後期
 1組 ナンシー・チエコ・大山氏寄贈
 8. 重文 小紋染胴服 伝豊臣秀吉所用 桃山 1領
 片倉家資料
 ※No.6は5/8~5/19、No.7は5/21~6/23、No.8は6/25~7/
 28展示

7/30~9/8

1. 黒漆五枚胴具足 伝片倉重綱所用 江戸初期 1領 館蔵



1. 黒漆五枚胴具足

2. 金小札五枚胴具足 5代伊達吉村所用 江戸中期 1領 伊文
 3. 金塗軍配用扇 室町 1握 館蔵
 4. 朱漆雪薄紋鞍轡 伝伊達政宗所用 江戸初期 1組 伊文
 5. 鼈甲製口薬入 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期
 1具 菅野壽雄氏寄贈
 6. 水牛製胴乱 伊達政宗所用 菅野重成拝領 江戸初期
 1具 菅野壽雄氏寄贈
 7. 鷹ゆがけ 伊達政宗所用 墨書銘「作内」 江戸初期
 1指 伊文

8. 重文 小紋染胴服 伝豊臣秀吉所用 片倉重綱拝領 桃山
 1領 片倉家資料
 9. 木綿縫い取り陣羽織 江戸初期 1領 片倉家資料
 ※No.8は7/30~8/4、No.9は8/6~9/8展示

「仙台藩の武器武具 伊達綱村没後300年特別展示」7/9~9/8

1. 鉄錆地五枚胴具足 伊達綱村所用 江戸前期 1領 館蔵

絵画

「動物が描かれた絵画」1 2019.3/26~5/6

1. 花鳥押絵貼屏風 東東洋筆 江戸後期 6曲1双 伊澤家C
 2. 牡丹に猫図 原在中筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
 3. 女三の宮図 小池曲江筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C



3. 女三の宮図

4. 老松猛虎図 菅井梅関筆 文化9年 1幅 館蔵
 5. 十二支図 蠣崎緋齋筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
 6. 猿猴図 森祖仙筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
 7. 西行銀猫図 熊耳耕年筆 近代 2曲1隻 伊澤家C

「動物が描かれた絵画」2 5/8~6/16

1. 猫図 高野長英賛 江戸後期 1幅 大久保C
 2. 女三宮図 英一蝶落款 江戸中期 1幅 西村容太郎氏寄贈
 3. 虎図 菊田伊洲筆 文政9年 1幅 館蔵
 4. 猿宝珠図 東東洋印 江戸後期 1幅 館蔵
 5. 双猿図 小池曲江筆 文化3年 1幅 館蔵
 6. 十二支図のうち子・丑・寅・卯・辰・巳 齊白石筆
 中国 (20C) 12幅のうち6幅 佐藤C
 7. 龍虎図 小池曲江 天保6年 双幅 館蔵

「博物館が文化財のためにしている仕事」7/30~9/8

1. 箆笥 近代 2棹 佐藤寿夫氏寄贈
 2. 浮世絵をはった冊子 1冊
 3. 浮世絵の台紙 1枚
 4. アートソープ 1個
 5. データロガー 1個
 6. 白記記録計 1個
 7. 金梨子地に雀紋蒔絵箱 江戸中期 1組 伊文

8. 伊達氏系図及び系図箱 江戸中期 1組 館蔵
 9. 鎧櫃 1組 伊文
 10. 中性紙封筒 1枚
 11. 根白石村御門松納申候者共御役御免願
 寛文10年11月 1巻 鷲尾家文書
 12. 花巻人形 衝立美人 江戸後期 1体 本出C
 13. 江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立 司馬江漢筆
 江戸後期 1基 勝又紳一郎氏寄贈



13. 金沢能見堂眺望図衝立

屏風絵

「東東洋の作品」 6/18~7/28

1. 赤壁図屏風 東東洋筆 文政3年 6曲1双 個人蔵
 2. 夏景山水図屏風 東東洋筆 江戸後期 2曲1双
 三浦三吾氏・三浦良子氏寄贈
 3. 竹に太湖石図屏風 東東洋筆 文化元年頃 2曲1隻
 伊澤家C

「仙台藩の障壁画」 9/10~10/6

1. 扇面図屏風 慶長15年 6曲1双 伊文
 2. 扇面図屏風 慶長15年 2曲1双 伊文
 3. 竹図屏風 江戸前期 2曲1隻 館蔵
 4. 重要美術品 菊花図屏風 江戸前期 4曲1隻 館蔵
 5. 菊花図屏風 江戸前期 2曲2隻 伊文
 6. 鳳凰青鸞図 桃山~江戸初期 2幅 伊文

「平家物語図屏風特集」 12/3~12/27

1. 平家物語図屏風 江戸 6曲1双 館蔵



1. 平家物語図屏風・右隻

2. 牟礼高松図屏風 狩野梅笑筆 江戸後期 2曲1隻
 星名四郎氏寄贈

3. 平家物語図屏風 江戸初期 6曲1双
 原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵

テーマ展示室 I

仙台藩の武器武具

2019.3/19~3/24

1. 黒漆五枚胴具足 伊達忠宗所用 江戸前期 1領 伊文
 2. 黒漆五枚胴具足 伊達斉義所用 江戸後期 1領 伊文
 3. 黒漆五枚胴具足 青木寛太夫所用 江戸後期 1領
 青木和子氏寄贈
 4. 脇差 銘「奥州仙台住藤原国包」 慶安5年 1口 館蔵(赤羽刀)
 5. 脇差 東照宮奉納 金梨地拵共 明暦元年 1口 伊文
 6. 太刀 無銘 号「鍾国行」拵共 豊臣秀吉所用
 伊達政宗拝領 鎌倉中期 1口 小笠原信夫氏寄贈
 7. 豊臣秀吉書状 伊達政宗宛 (天正17年)6月9日 1通
 伊文
 8. 白猪毛鞆 江戸後期 1合 伊文
 9. 孔雀蒔絵鞍轡 江戸中期 1組 伊文
 10. 火縄銃「東雲」銃筒木田定幸作 江戸 1挺 伊文
 11. 赤羅紗地松喰鶴紋陣羽織 江戸後期 1領 個人蔵

9/10~11/4

1. 黒漆鳩胸五枚胴具足 伊達宗村所用 江戸中期 1領 伊文
 2. 黒漆五枚胴具足 伊達綱宗所用 江戸前期 1領 伊文
 3. 金小札白糸威胴丸具足 兜銘「早乙女家長」
 江戸中期 1領 伊澤家C
 4. 刀 備前長船源兵衛尉祐定
 銘(表)「備前國住長船源兵衛尉祐定作」
 (裏)「永禄三年二月吉日」永禄3年 1口 伊澤家C
 5. 脇差 備前長船源兵衛尉祐定
 銘(表)「備前國住長船源兵衛尉祐定」
 (裏)「永禄八年二月日於天神山作」永禄8年 1口
 伊澤家C
 6. 刀 無銘 (伝元重) 南北朝 1口 伊澤家C
 7. 脇差 長曾祢虎徹入道興里 銘(表)「長曾祢虎徹入道興里」
 (裏) 金象嵌「寛文四甲辰六月廿七日」三ツ胴藏 山野加右
 衛門六十七歳永久(花押) 寛文4年 1口 伊澤家C
 8. 槍 村正 銘(表)「村正」江戸 1口 伊澤家C
 9. 茶猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
 10. 日の丸文軍扇 延享元年 1握 伊文
 11. 亀甲蟹牡丹紋鞍轡 江戸後期 1組 伊文
 12. 仙人図象嵌火縄銃 江戸後期 1口 館蔵
 13. 水玉模様陣羽織 江戸中期 1領 伊文
 14. 黒呉縞地竹に雀紋火事装束 伊達周宗所用
 江戸後期 1組 館蔵

※No.13は9/10~10/20、No.14は10/22~11/4展示

11/6~12/27

- 1. 黒漆五枚胴具足 伊達齊義所用 江戸後期 1領 伊文
- 2. 朱黹漆紫糸素懸威六枚胴具足 三宝荒神形兜付
伝上杉謙信所用 室町末期 1領 伊文



2. 朱黹漆紫糸素懸威六枚胴具足

- 3. 黒漆五枚胴具足 武市九郎三郎所用 安政5年 1領
武市通則氏寄贈
- 4. 薙刀 銘「国包」江戸前期 1口 個人蔵
- 5. 十文字槍 銘「奥州仙台住藤原国包」江戸中期 1口 館蔵
- 6. 短刀 銘「藤原国包」江戸中期 1口 藤崎三郎助氏寄贈
- 7. 四十八間総覆輪筋兜 室町中期 1頭 伊文
- 8. 北斗七尾文軍配団扇 江戸後期 1握 伊文
- 9. 白猪毛鞆 江戸中期 1合 伊文
- 10. 葡萄蒔絵鞍籠および波千鳥文馬具 江戸後期 1具 館蔵
- 11. 火縄銃「夕きり」 銀象嵌銘「夕きり」
刻銘「仙台住松原清兵衛光信作」江戸後期 1挺 個人蔵
- 12. 黒呉縞地竹に雀紋火事装束 伊達周宗所用
江戸後期 1組 館蔵
- 13. 黄羅紗地竹に雀紋火事装束 (羽織・胸当・石帯)
江戸末期 1組 館蔵

※No.12は11/6~24、No.13は11/26~12/27展示

テーマ展示室II

慶長遣欧使節

2019.3.26~5/6

- 1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
- 2. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年 1帖
支倉哲男氏寄贈
- 3. 仙台藩奉行知行割日録 支倉六右衛門宛 慶長13年
1面 支倉家資料
- 4. 伊達政宗書状 (茂庭石見宛) 慶長17~18年頃 1幅 館蔵
- 5. 坤輿万国全図 江戸後期 6冊1隻 個人蔵
- 6. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 7. セビリア市宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 8. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵

- 9. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 10. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 11. 支倉常長画像 (銅版画) サデレル作 1616~17年頃 1枚
館蔵
- 12. 支倉常長画像 (銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 13. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 14. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 15. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵
- 16. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 17. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 18. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
- 19. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 20. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
- 21. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 22. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 23. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵
- 24. 国宝 ディスチプリナ 17C 1口 館蔵
- 25. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
- 26. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
- 27. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
- 28. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月20日 1面 館蔵
- 29. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
- 30. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵

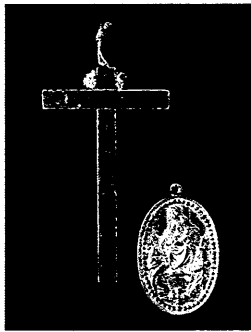


30. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像

- 31. 国宝 鎧 17C 1双・1隻 館蔵
- 32. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
- 33. 国宝 マント及びズボン 17C 2点1具 館蔵
- 34. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵

5/8~9/29

1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
3. セビリア市宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
4. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵
5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
7. 支倉常長画像 (銅版画) サデルル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
8. 支倉常長画像 (銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
9. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
11. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅 館蔵
12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵



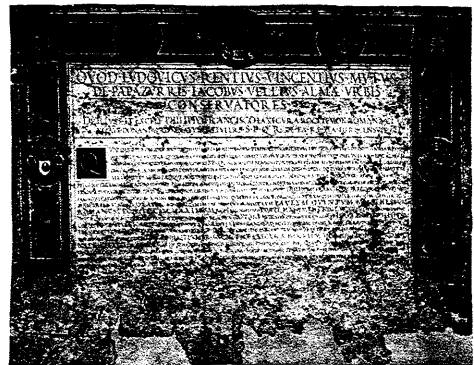
15. 国宝 十字架及びメダイ

16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵
19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面 館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書 (複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

10/1~11/4

1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
2. 支倉家家譜書出 支倉右仲筆 安永2年 1帖
支倉哲男氏寄贈

3. 仙台藩奉行知行割目録 支倉六右衛門宛 慶長13年 1面
支倉家資料
4. 伊達政宗書状 茂庭石見 (綱元) 宛 慶長17~18年頃
1幅 館蔵
5. 草花鳥獸文蒔絵螺鈿書翰笥 桃山 1口 館蔵
6. 草花文蒔絵螺鈿洋櫃 桃山 1口 館蔵
7. 鮫皮貼洋櫃 江戸初期 1口 館蔵
8. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
9. セビリア市宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
10. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵
11. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
12. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
13. 支倉常長画像 (銅版画) サデルル作 1616~17年頃 1枚 館蔵
14. 支倉常長画像 (銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
15. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
16. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
17. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅 館蔵
18. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
19. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
20. 国宝 祭服 17C 1領 館蔵
21. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
22. 国宝 十字架及びメダイ 17C 2点1具 館蔵
23. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
24. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
25. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵
26. 国宝 ディスチブリナ 17C 1口 館蔵
27. 国宝 レリカリオ 17C 1口 館蔵
28. 国宝 テカ及び袋 17C 2点1具 館蔵
29. 国宝 印章 17C 2顆 館蔵
30. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書
支倉六右衛門宛 1615年11月20日 1面 館蔵



30. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市公民権証書

- 31. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
- 32. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面
館蔵
- 33. 国宝 鎧 17C 1双・1隻 館蔵
- 34. 国宝 鞍 17C 2背 館蔵
- 35. 国宝 マント及びズボン 17C 2点1具 館蔵
- 36. 国宝 壁掛 17C 1枚 館蔵

11/6~12/27

- 1. 支倉常長像 (1972年高田力蔵氏模写) 原図は1615年頃
1面 館蔵
- 2. ガレオン船模型 1971年 1基 館蔵
- 3. セビリア市宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 4. ローマ市街図 16C末刊 1面 館蔵
- 5. 『伊達政宗遣欧使節記』(イタリア語版) アマーティ著
1615年刊 1冊 館蔵
- 6. 『伊達政宗遣欧使節記』(ドイツ語版) アマーティ著
1617年刊 1冊 館蔵
- 7. 支倉常長画像 (銅版画) サデルル作 1616~17年頃 1枚
館蔵
- 8. 支倉常長画像 (銅版画) 1616~17年頃 1枚 館蔵
- 9. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (ラテン文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 10. ローマ教皇宛伊達政宗書状 (和文) (複製)
原本は慶長18年9月4日 1面 館蔵
- 11. 支倉常長書状 (複製) 勘三郎宛 原本は元和4年 1幅
館蔵
- 12. 国宝 短剣 17C 2口 館蔵
- 13. 国宝 ロザリオの聖母像 17C 1面 館蔵
- 14. 国宝 十字架像 17C 1口 館蔵
- 15. 国宝 十字架及びメダイ 17C 1具 館蔵
- 16. 国宝 ロザリオ 17C 5連 館蔵
- 17. 国宝 メダイ残欠 17C 6片 館蔵
- 18. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ (参考資料) 19C 1面 館蔵
- 19. ユネスコ記憶遺産・国宝 支倉常長像 1615年頃 1面
館蔵
- 20. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃 1面 館蔵
- 21. ユネスコ記憶遺産・国宝 ローマ市民権証書 (複製)
支倉六右衛門宛 原本は1615年11月20日 1面 館蔵

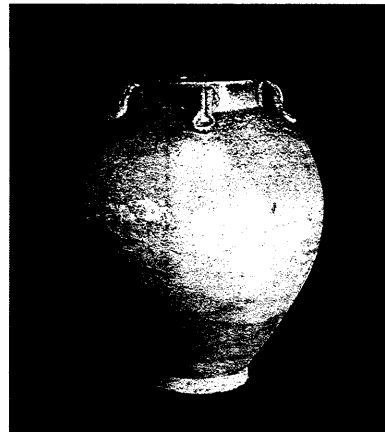
コレクション展示室 I

やきもの、茶道具

「ゴトウコレクション・伊澤家コレクション」

2019.3/5~6/16

- 1. 和時計 伝伊達家旧蔵 幕末~明治 (19C) 1具 ゴトウC
- 2. 百万塔 奈良 1点 伊澤家C
- 3. 禾目大目茶碗 中国・南宋 (13C) 1口 伊澤家C
- 4. 御本茶碗 李朝 (17C後半~18C) 1口 伊澤家C
- 5. 染付牡丹蛸唐卓らっきょう徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
- 6. 染付へちま文徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
- 7. 染付菊花文徳利 切込 19C 1口 伊澤家C
- 8. 牡丹獅子文書見台 明治 (19C) 1基 伊澤家C
- 9. 色絵楼閣山水文皿 占九谷 17C中 1点 伊澤家C
- 10. 石造仏頭 4~5C 1体 ゴトウC
- 11. 石造菩薩立像 ガンダーラ出土カ 3~4C 1体 ゴトウC
- 12. 白磁印花飛鳥牡丹文鉢 定窯 北宋~金 (12C) 1口
ゴトウC
- 13. 白磁四耳壺 邢州窯 唐 (8C) 1口
ゴトウC



13. 白磁四耳壺 邢州窯

- 14. 楼閣山水図螺鈿盆 明 (16~17C) 1枚 ゴトウC
- 15. 一重切竹花入 伊達吉村作 江戸中期 1口 ゴトウC
- 16. 茶碗 銘「弦月」伊羅保 李朝 (16~17C) 1口 ゴトウC
- 17. 平茶碗 銘「清風」李朝 (16~17C) 1口 ゴトウC
- 18. 和漢朗詠集 松花堂昭乗筆 江戸初期 1額 ゴトウC
- 19. 葵紋左義長羽子板 江戸後期 1本 ゴトウC
- 20. 新六歌仙押絵額 (西行、藤原定家、藤原家隆)
江戸中期 6面のうち3面 ゴトウC
- 21. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 22. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 23. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 24. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 25. 甕 堤焼 19C 1点 館蔵
- 26. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵
- 27. 壺 堤焼 19C 1点 館蔵

「盆石・埋木細工」 6/18~9/29

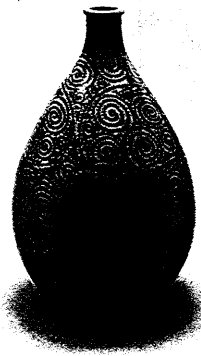
1. 盆石「鎌倉」石底墨書「鎌倉盆石」(享保10年)
献上 1点 伊文
2. 盆石「筑波根」石底貼紙「青石(か〇拾九號)」
「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
3. 盆石「青石」祝ヶ崎石」石底貼紙「青石(か〇拾九號)」
「祝ヶ崎石 盆石八」 1点 伊文
4. 盆石「こけむし路」石底朱漆銘「こけむし路」 1点 伊文
5. 盆石「名取川石」石底貼紙墨書「名取川石」 1点 伊文
6. 盆石「岩の嶺道」石底金時絵銘「岩のかけ道」 1点 伊文
7. 盆石「壺の石ふみ」石底朱漆銘「壺乃石ふみ」 1点 伊文
8. 盆石「えぼし石」石底金時絵銘「えぼし石」 1点 伊文
9. 盆石「かつらぎ山」石底金時絵銘「かつらぎ山」 1点 伊文
10. 埋木細工 白鳥飾付ペーパーナイフ 石垣博作
昭和 1点 仙台埋木細工同業会寄贈
11. 埋木細工 髪飾 相沢剛作 昭和 1点
仙台埋木細工同業会寄贈
12. 埋木細工 サラダフォーク・スプーン 石垣博作
昭和 1組 仙台埋木細工同業会寄贈
13. 埋木細工 葉形銘々皿 黒川吉右衛門作 昭和 5点
仙台埋木細工同業会寄贈
14. 埋木細工 菱形茶托 石垣博作 昭和 5点
仙台埋木細工同業会寄贈
15. 埋木細工 亀置物 小竹彰作 昭和 1組
仙台埋木細工同業会寄贈
16. 煙草入(大・小) 昭和 2合 安齋博雄氏寄贈
17. 埋木文庫 大正末~昭和初期 1合 安斎千代氏寄贈

「茶道具」 6/18~9/29

1. 竹花入 銘「達磨」清水道春作 佐久間立徳画
安政2年以前作 1点 島山平八氏寄贈
2. 山水人物岡水牛蓋置 江戸 111 伊文
3. 染付臥牛香合 青木木米作 京焼 江戸中期 1合 伊文
4. 乾山写花卉文絵替四方向付 三浦乾也 銘「乾也」
19C 5枚1組 新井田C

「埴焼と切込焼」 10/1~12/27

1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利 切込焼 19C 111
伊澤家C



1. 染付牡丹蛸唐草らっきょう徳利

2. 染付牡丹蝶文らっきょう徳利 切込焼 19C 111 館蔵
3. 染付蛸唐草文らっきょう徳利 切込焼 19C 1口 和泉C
4. 染付瓢箪文らっきょう徳利 切込焼 19C 1点 館蔵
5. 切込 埴焼 19C 1点 館蔵
6. 鉢 埴焼 1点 館蔵
7. 片口 埴焼 1点 館蔵
8. 鉄釉湯通し 埴焼 19C 1点 三原C
9. 染付柘榴文湯呑茶碗 切込焼 銘「天保六年十月吉日仙台
加美郡宮崎村之内切籠ニ而湯倉ヨリ出ル石ヲ以製之」
底銘「湯倉製」「英長画」天保6年 1点 個人蔵
10. 染付松文徳利 切込焼 1点 古賀C
11. 染付唐子寿老人文徳利 切込焼 1点 古賀C
12. 瑠璃釉御神酒徳利 切込焼 1対 館蔵
13. 三彩徳利 切込焼 19C 111 鈴木孚氏寄贈
14. 染付蓋物 切込焼 銘「御役所持用 安政七年」他
安政7年 1点 古賀C
15. 染付ふくら雀手塩皿 切込焼 511 古賀C
16. 染付葡萄文コップ 大正切込焼 底銘
「岩窯 宮崎 陸前 ジャパン」20C 1点 古賀C
17. 染付蛸蛤花唐草文碗 大正切込焼 底銘「岩窯」20C
1点 三原C
18. 布袋水滴 埴焼 1点 館蔵
20. 三島手茶碗 埴焼 銘「乾馬」「八九翁」 111 館蔵
19. 小甕 埴焼 1点 館蔵
21. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
22. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
23. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
24. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
25. 甕 埴焼 19C 1点 館蔵
26. 壺 埴焼 19C 1点 館蔵
24. 甕(鑲付) 埴焼 19C 1点 館蔵

「茶道具」 10/1~12/27

1. 孔雀座帯 江戸 館蔵
2. 迫焼茶入 銘「多留満」伊達慶邦銘 江戸後期 1点 伊文
3. 短檠 江戸後期 1基 伊文

古人形

「山形の古人形と埴人形」 2019.3/5~6/16

1. 相良人形 手まり 江戸後期 1点 館蔵
2. 相良人形 子抱き 江戸後期 1点 館蔵
3. 相良人形 三味線弾き 江戸後期 1点 館蔵
4. 相良人形 花車 江戸後期 1点 館蔵
5. 相良人形 金魚すくい 江戸後期 1点 館蔵
6. 相良人形 犬抱き童子 江戸後期 1点 館蔵
7. 相良人形 かぶと持ち 江戸後期 1点 館蔵
8. 相良人形 亀抱き 江戸後期 1点 本出C

- | | |
|------------------------|-----|
| 9. 相良人形 袴童子 江戸後期 1点 | 本出C |
| 10. 相良人形 相撲取り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 11. 相良人形 鯛つかみ 江戸後期 1点 | 足立C |
| 12. 相良人形 這い子 江戸後期 1点 | 足立C |
| 13. 相良人形 饅頭 江戸後期 1点 | 足立C |
| 14. 鶴岡人形 子守 明治 1点 | 本出C |
| 15. 鶴岡人形 唐人笛 明治 1点 | 本出C |
| 16. 鶴岡人形 鯛つかみ 明治 1点 | 本出C |
| 17. 鶴岡人形 遊び仲間 明治 1点 | 足立C |
| 18. 鶴岡人形 箱持ち 明治 1点 | 足立C |
| 19. 堤人形 犬抱き 江戸後期 1点 | 本出C |
| 20. 堤人形 蛸と子ども 江戸後期 1点 | 本出C |
| 21. 堤人形 うさぎと子供 江戸後期 1点 | 本出C |
| 22. 堤人形 瓢乗り犬 江戸後期 1点 | 本出C |
| 23. 堤人形 象乗り唐子 江戸後期 1点 | 足立C |
| 24. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 | 足立C |
| 25. 堤人形 騎射 江戸後期 1点 | 足立C |

「猫の古人形」 2019.3/5~6/16

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 相良人形 猫と鯛 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 2. 相良人形 猫 江戸後期 1点 | 足立C |
| 3. 堤人形 猫と鯛 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 4. 堤人形 猫ひき花魁 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 5. 堤人形 猫と娘 江戸後期 1点 | 本出C |
| 6. 堤人形 猫と鯛 江戸後期 1点 | 本出C |
| 7. 花巻人形 猫 江戸後期 1点 | 本出C |
| 8. 花巻人形 猫 江戸後期 1点 | 本出C |

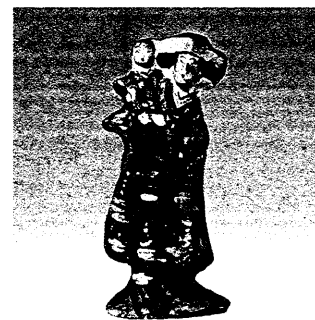
「三春人形と堤人形」 6/18~9/29

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 三春人形 弁慶と静御前 江戸後期 1点 | 本出C |
| 2. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 3. 三春人形 三味線持ち 江戸後期 1点 | 本出C |
| 4. 三春人形 鞆鼓 江戸後期 1点 | 本出C |
| 5. 三春人形 三味線弾き 江戸後期 1点 | 本出C |
| 6. 三春人形 狐忠信と静御前 江戸後期 1点 | 本出C |
| 7. 三春人形 踊り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 8. 三春人形 傘をさす女 江戸後期 1点 | 本出C |
| 9. 三春人形 子連れ 江戸後期 1点 | 本出C |
| 10. 三春人形 巴御前 江戸後期 1点 | 本出C |
| 11. 三春人形 義経 江戸後期 1点 | 本出C |
| 12. 三春人形 三番叟 江戸後期 1点 | 本出C |
| 13. 三春人形 太鼓乗り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 14. 三春人形 鈴売り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 15. 三春人形 道成寺 江戸後期 1点 | 本出C |
| 16. 堤人形 夕涼み 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 17. 堤人形 谷風・小野川 江戸後期 1点 | 足立C |
| 18. 堤人形 唄稽古 江戸後期 1点 | 足立C |
| 19. 堤人形 夕涼み 江戸後期 1点 | 足立C |
| 20. 堤人形 母と娘 江戸後期 1点 | 足立C |

- | | |
|-----------------------|-----|
| 21. 堤人形 傘持ち 江戸後期 1点 | 本出C |
| 22. 堤人形 道成寺 江戸後期 1点 | 本出C |
| 23. 堤人形 太鼓乗り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 24. 堤人形 犬ひき花魁 江戸後期 1点 | 本出C |
| 25. 堤人形 針箱 江戸後期 1点 | 本出C |
| 26. 堤人形 相撲取り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 27. 堤人形 熊と金太郎 江戸後期 1点 | 本出C |
| 28. 堤人形 静御前 江戸後期 1点 | 本出C |
| 29. 堤人形 子連れ 江戸後期 1点 | 本出C |
| 30. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 | 本出C |
| 31. 堤人形 狐忠信 江戸後期 1点 | 本出C |

「芝居と東北の古人形」 10/1~12/27

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 相良人形 矢の根五郎 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 2. 相良人形 口上 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 3. 相良人形 勘平 江戸後期 1点 | 足立C |
| 4. 相良人形 政岡 江戸後期 1点 | 足立C |
| 5. 相良人形 狐忠信 江戸後期 1点 | 足立C |
| 6. 堤人形 顔世御前 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 7. 堤人形 曾我五郎 江戸後期 1点 | 館蔵 |
| 8. 堤人形 武智十次郎 江戸後期 1点 | 本出C |
| 9. 堤人形 三番叟 江戸後期 1点 | 本出C |
| 10. 堤人形 和藤内 江戸後期 1点 | 本出C |
| 11. 堤人形 白酒売り 江戸後期 1点 | 本出C |
| 12. 堤人形 静御前 江戸後期 1点 | 本出C |
| 13. 堤人形 佐佐木高綱 江戸後期 1点 | 足立C |
| 14. 堤人形 安徳天皇 江戸後期 1点 | 足立C |
| 15. 堤人形 道成寺 江戸後期 1点 | 足立C |
| 16. 堤人形 石橋 江戸後期 1点 | 足立C |
| 17. 堤人形 政岡 江戸後期 1点 | 足立C |



17. 堤人形 政岡

- | | |
|---------------------------|-----|
| 18. 三春人形 春駒 江戸後期 1点 | 本出C |
| 19. 三春人形 武智十次郎と初菊 江戸後期 1点 | 本出C |
| 20. 三春人形 和藤内 江戸後期 1点 | 本出C |
| 21. 三春人形 甘輝 江戸後期 1点 | 本出C |
| 22. 三春人形 義経 江戸後期 1点 | 本出C |
| 23. 三春人形 弁慶 江戸後期 1点 | 本出C |
| 24. 三春人形 高砂 江戸後期 1点 | 本出C |

25. 三春人形 朝比奈 江戸後期 1点 本出C
 26. 三春人形 和藤内 江戸後期 1点 本出C
 27. 花巻人形 弁慶 江戸後期 1点 本出C
 28. 花巻人形 斧定九郎 江戸後期 1点 本出C
 29. 花巻人形 大尾由良之助 江戸後期 1点 本出C
 30. 花巻人形 片岡伝五右衛門 江戸後期 1点 本出C
 31. 花巻人形 力弥と小浪 江戸後期 1点 本出C
 32. 花巻人形 義経 江戸後期 1点 本出C
 33. 花巻人形 高砂 翁 江戸後期 1点 本出C
 34. 花巻人形 高砂 嬭姫 江戸後期 1点 本出C
 35. 浮世絵 仮名手本忠臣蔵 第十一段目大切
 兩國橋引揚之図 豊原国周画 明治3年 3枚続 大宮司C
 36. 浮世絵 矢の根五郎〔市川團十郎〕 豊原国周画
 明治15年 3枚続 大宮司C
 37. 浮世絵 忠信〔市川右団次〕・覚範〔市川小団次〕
 明治15年 3枚続 大宮司C
 38. 浮世絵 和藤内紅ながし〔市川左団次〕 豊原国周画
 明治16年 3枚続 大宮司C
 39. 浮世絵 歌舞伎十八番の内勤進帳・
 富樫左衛門〔市川左団次〕・弁慶〔市川團十郎〕・
 義経〔中村福助〕 豊原国周画 明治20年 3枚続 大宮司C
 40. 浮世絵 忠臣蔵 七段目 豊原国周画 明治28年
 3枚続 大宮司C
 41. 浮世絵 京鹿子 娘道成寺 明治29年 3枚続 大宮司C

コレクション展示室II

「春を彩る絵画特集」 2019.3/5~4/7

1. 立雛図 東東洋筆 江戸後期 1幅 佐藤明C
 2. 墨梅図 伝明兆筆 室町後期 1幅 伊澤家C
 3. 墨梅図 佐久間洞巖筆 享保10年 1幅 伊澤家C
 4. 梅月図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 新津宗助氏寄贈
 5. 古城朝鮮梅図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
 6. 舊城朝鮮古梅之図 菅井梅閑筆 江戸後期 1幅 伊澤家C
 7. 臥龍梅図 菅井梅閑筆 天保5年元旦 1幅 報恩会

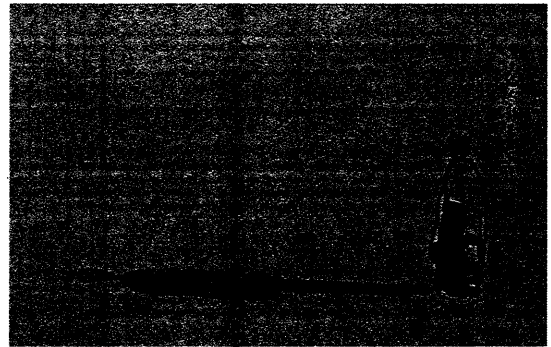


7. 臥龍梅図

8. 武陵桃源図 小池曲江筆 文政10年 1幅 館蔵
 9. 花見戻り図 遠藤白人筆 江戸後期 1幅 天江富弥氏寄贈
 10. 桜花美人図 吉原貞龍筆 江戸後期 1幅 ゴトゥC
 11. 桜に小禽図 渡辺省亭筆 明治 1幅 阿部C

「東東洋の絵画特集」 6/18~7/28

1. 東東洋像 東東洋筆 江戸後期 1面 東量三氏・東眞氏寄贈
 2. 林和靖図 東東洋筆 天保7年 1幅 亀田兵治C
 3. 大舜命契図 東東洋筆 文化14年頃 1幅 伊文
 4. 唐美人図 東東洋筆 江戸後期 1幅 東量三氏・東眞氏寄贈
 5. 葛の葉・山姥に金時図 東東洋筆 江戸後期 双幅 館蔵
 6. 旅日記 東東洋筆 寛政9年 1冊 東量三氏・東眞氏寄贈
 7. 草虫図巻 東東洋筆 天明元年 1巻 東量三氏・東眞氏寄贈
 8. 鶯図 東東洋筆 文政12年 1幅 館蔵
 9. 虎図 東東洋筆 江戸後期 1幅 亀田兵治C
 10. 龍図 東東洋筆 安永7年 1幅 東量三氏・東眞氏寄贈
 11. 鷗図 東東洋筆・華頂文秀賛 文化7年 1幅 亀田兵治C
 12. 西行図 東東洋筆、伴蒿鏗・加茂季鷹賛
 江戸後期 1幅 東量三氏・東眞氏寄贈
 13. 三遊図 真仁法親王・東東洋・柴田義董
 江戸後期 1幅 東量三氏・東眞氏寄贈
 14. 孤峰断林図 東東洋筆・南山古染ほか賛
 天保3年 1幅 館蔵
 15. 福内鬼外図 東東洋筆 天保5年 1幅 伊文
 16. 夕陽人影長図 東東洋筆 江戸後期 1幅 伊澤家C



16. 夕陽人影長図

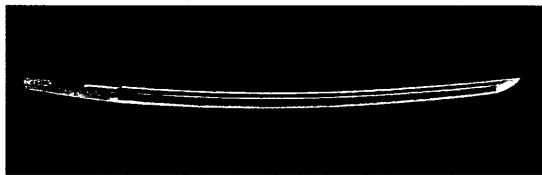
「近代の郷土画家特集」 7/30~9/23

1. 桃図 佐久間六所・佐久間晴岳筆 文久元年 1幅 門脇康氏寄贈
 2. 隻履達磨図 佐久間鉄閑筆 近代 1幅 館蔵
 3. 葡萄図 山内耕烟画・岡千仞賛 明治24年 1幅 門脇康氏寄贈
 4. 松島図 小圃六一筆 近代 1幅 ゴトゥC
 5. 松島図巻 小圃六一筆 大正5年 2巻のうち1巻 伊澤家C

6. 曲水宴・虫撰図 遠藤速雄筆 近代 2曲1隻
藤崎三郎助氏寄贈
7. 元禄模様 熊耳耕年筆 昭和8年 2曲1双 館蔵
8. 秋色女図 熊耳耕年筆 近代 1幅 西村容太郎氏寄贈
9. 千手観音図 熊耳耕年筆 近代 1幅 館蔵
10. 仙台諸家合作 茂庭竹泉・友部鉄軒ほか画・賛
大正4年 1幅 伊澤家C

「仙台藩六代藩主・伊達宗村」 9/25~11/4

1. 伊達宗村画像 菊田栄羽筆 江戸中期 1幅 伊文
2. 雲松院画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
3. 御曹司様御縁組之記 9冊のうち2冊 伊文
4. 長松院画像 忠岡三千子筆 江戸中期 1幅 伊文
5. 長松院教訓状 藤原ノむね村(伊達宗村)宛
享保17年初春 1巻 伊文
6. 忠山公治家記録巻7下ノ下 延享2年3月18日条 1冊
伊文
7. 准胝観音菩薩坐像(伊達綱村施入) 江戸中期 1軀 館蔵
8. 太刀 額銘「長谷部国信」 徳川吉宗所用
伊達宗村拝領 南北朝時代 1振 館蔵



8. 太刀 額銘「長谷部国信」

9. 鷹図 菊田栄羽筆 双幅 社会福祉法人共生福祉会
10. 仙台領分名所手鑑 伊達宗村筆 狩野典信画
江戸中期 1帖 中島成夫氏寄贈
11. 花影集 伊達宗村(伊達吉村添削) 明和9年冬識
3冊のうち1冊 伊文
12. 和歌短冊 あつきゆみ 伊達宗村 江戸中期 1幅 伊文
13. 葡萄図 伊達宗村筆 1幅 社会福祉法人共生福祉会

「常盤紺形」 11/6~12/27

1. 浅葱麻地小紋袴 肩衣 江戸後期 1領 平間晃氏寄贈
2. 浅葱麻地袴裂地 江戸後期 1反 片倉信光氏寄贈
3. 型紙 近代 22枚 最上清次郎氏寄贈
4. 染見本 常盤紺形 昭和 4反(財)精好仙台平保存会寄贈
5. 馬の腹掛け 昭和 3反 (財)精好仙台平保存会寄贈

浮世絵

「猫が描かれた浮世絵特集」 2019.3/12~6/23

1. 妙でんす十六利勘 九 朝寝者損者 歌川国芳画
弘化期 大判1枚 阿部C
2. 時世粧菊揃 つじうらをきく 歌川国芳画
弘化期 大判1枚 阿部C

3. 時世粧菊揃 こどもがあるかときく 歌川国芳画
弘化期 大判1枚 阿部C
4. 当世四季之内 歌川国政画 嘉永期 大判1枚 大宮司C
5. 潤色三十六花撰 権中納言敦忠 新ばし 平和泉小かつ・
同長谷川小せい・同柳屋一六 歌川国周画 明治14年
大判3枚続 大宮司C
6. 今様東京八景 浅草乃晚鐘 楊洲周延画 明治21年 大判
1枚 大宮司C
7. しん板猫の世界 歌川国利画 明治18年 大判1枚 阿部C
8. 猫の介科(みぶり) 歌川豊国I画 文化6年 大判1枚
大宮司C
9. 即興かげぼしつくし 岩に雁 ねこ 歌川広重画
天保期 大判1枚 館蔵



9. 即興かげぼしつくし 岩に雁 ねこ

10. 流行猫の戯 歌川国芳画 嘉永期 大判1枚 大宮司C
11. 当世美人合 五節句の内 端午 歌川国芳画
天保期 大判1枚 阿部C
12. 見立てちょうちん蔵 三段目 歌川国芳画
嘉永期 大判1枚 阿部C
13. 昔ばなしの戯 猫又年をへて古寺に怪をなす図
歌川国芳画 嘉永期 大判3枚続 阿部C
14. 東海道五十三駄の内 岡崎ハツ橋村 十六夜〔坂東玉三郎〕・
薄雲太夫〔尾上菊五郎〕・稲葉の介〔市村羽左エ門〕
歌川国貞I(豊国III)画(天保6年) 大判3枚続
大宮司C
15. 須波数右エ門〔中村芝翫〕・猫の中のみ〔市村羽左衛門〕・
りやうしおなみ〔沢村田之助〕ほか 歌川豊国III画
文久元年 大判3枚続 大宮司C
16. 俳優見立佐賀の夜桜 歌川国周画 明治17年
大判3枚続 大宮司C
17. 五百原正作〔中村福助〕・老中二尾、
実ハ兩尾の古猫〔尾上菊五郎〕・本庄助七〔坂東家橋〕
楊洲周延画 明治20年 大判3枚続 大宮司C
18. 愛妾お豊の方〔沢村百之助〕・浪嶋大守〔中村時蔵〕・
怪猫〔坂東彦十郎〕・小森半之丞〔助高屋高助〕
楊洲周延画 明治13年 大判3枚続 大宮司C

19. 皇国白慢 初陽因雲閣 歌川国周画 明治17年
大判3枚続 大宮司C
20. 水木辰世 実ハ猫石怪〔家橋〕 歌川豊国画
不詳 大判1枚 館蔵
21. 当世白筆鏡 水木辰世 実ハ猫石怪〔家橋〕
歌川豊国画 文久元年 大判1枚 大宮司C
22. 古今比売鑑 薄雲 月岡芳年画 明治8年 大判1枚
大宮司C
23. 東駅いろは日記 藤川 猫娘〔市村羽左エ門〕
歌川豊国画 文久元年 大判1枚 館蔵
24. 江戸廻花 名勝会 九番組 犬村大角〔市の川市蔵〕・
巣鴨水川下猫又橋 歌川豊国画 元治元年
大判1枚 館蔵

「歌川広重の風景画特集」 6/25~9/23

1. 東海道五拾三次(狂歌入) 日本橋 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
2. 東海道五拾三次(狂歌入) 保土ヶ谷 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
3. 東海道五拾三次(狂歌入) 箱根 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
4. 東海道五拾三次(狂歌入) 三嶋 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
5. 東海道五拾三次(狂歌入) 沼津 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
6. 東海道五拾三次(狂歌入) 鞠子 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
7. 東海道五拾三次(狂歌入) 二川 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
8. 東海道五拾三次(狂歌入) 御油 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
9. 東海道五拾三次(狂歌入) 池鯉鮒(知立) 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
10. 東海道五拾三次(狂歌入) 宮 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
11. 東海道五拾三次(狂歌入) 関 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
12. 東海道五拾三次(狂歌入) 京 内裏 歌川広重画
天保13年 中判横1枚 林C
13. 富士三十六景 日録 歌川広重画 安政5~6年
大判1枚 阿部C
14. 富士三十六景 東都一石ばし 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
15. 富士三十六景 東都数寄屋河岸 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
16. 富士三十六景 雑司かや不二見茶や 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
17. 富士三十六景 武蔵小金井 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C

18. 富士三十六景 相州三浦之海上 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
19. 富士三十六景 相模江之島入口 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
20. 富士三十六景 駿河薩夕之海上 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
21. 富士三十六景 伊勢二見か浦 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
22. 富士三十六景 信州諏訪之湖 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
23. 富士三十六景 甲斐犬日峠 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C
24. 富士三十六景 下総小金原 歌川広重画
安政5~6年 大判1枚 阿部C

「楊洲周延特集」 9/25~12/27

1. 鹿兎鳴戦記 楊洲周延画 明治10年 大判3枚続 尚文館C
2. 牙山近傍於テ日清大戦争之凶 楊洲周延画 明治27年
大判3枚続 大宮司C
3. 内閣勸業博覧会 機械館の凶 楊洲周延画 明治10年
大判3枚続 尚文館C
4. チャリネ大曲馬御遊覧ノ凶 楊洲周延画 明治19年
大判3枚続 大宮司C
5. 將軍徳川家累代鏡 上ノ巻 楊洲周延画 明治12年
大判3枚続 大宮司C
6. 將軍徳川家累代鏡 下ノ巻 楊洲周延画 明治12年
大判3枚続 大宮司C
7. 東錦昼夜競 坂ノ上田村磨 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
8. 東錦昼夜競 菅原道貞卿 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
9. 東錦昼夜競 満仲龍女夢 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
10. 東錦昼夜競 源頼光 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
11. 東錦昼夜競 千寿の前 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
12. 東錦昼夜競 松島の局 楊洲周延画 明治19年
大判1枚 阿部C
13. 千代田の大奥 鏡餅曳 楊洲周延画 明治28年
大判3枚続 大宮司C
14. 千代田大奥 御花見 楊洲周延画 明治27年
大判3枚続 大宮司C
15. 千代田の大奥 瀧見のお茶や 楊洲周延画 明治28年
大判3枚続 大宮司C
16. 千代田の大奥 式目 局の退出 楊洲周延画
明治28年 大判3枚続 大宮司C
17. 千代田の大奥 猿若狂言 楊洲周延画 明治28年
大判3枚続 大宮司C

18. 千代田之大奥 園中の雪 楊洲周延画 明治28年
大判3枚続 大宮司C
19. 倭風俗女礼式 楊洲周延画 明治25年 大判3枚続
大宮司C
20. 彫画共進会之内 婦人裁縫之図 楊洲周延画 明治18年
大判3枚続 大宮司C
21. 女礼式裁縫の図 楊洲周延画 未詳 大判3枚続 大宮司C
22. 美人揃花菖蒲のもや晴 楊洲周延画 明治13年
大判3枚続 ゴトウC
23. 秋園菊花の台 楊洲周延画 明治22年 大判3枚続
大宮司C
24. 新古原俄の賑ひ 楊洲周延画 明治12年 大判3枚続
大宮司C

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

1. 重要文化財 銅鏡 10面
山形県 月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
2. 重要文化財 銅造懸仏及び銅鏡 14面
宮城県 熊野那智神社蔵
3. 重要文化財 太刀（銘備州長船住義光・建武四年十二月）1口
宮城県 亀岡八幡宮蔵

特別展

「いつだって猫展」

会 期 平成31年 4月19日(金)～
令和元年 6月 9日(日)

開館日数 46日間

観覧者数 33,512人 (1日平均約728人)

観 覧 料 一般・大学生1,300円 (前売1,100円)、
高校生700円、小・中学生500円
※10名以上の団体各100円引き

主 催 「いつだって猫展」仙台展実行委員会
(仙台市博物館・ミヤギテレビ)

後 援 宮城県、宮城県教育委員会、宮城県文化
振興財団、仙台市市民文化事業団、河北
新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙
台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社
東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙
台リビング新聞社、岩手日日新聞社、山
形新聞・山形放送、福島民友新聞社、N
HK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放
送、KHB東日本放送、エフエム仙台、
ラジオ 3 FM76.2、テレビ岩手、福島中
央テレビ

猫は古くより愛玩され、我々の暮らしに寄り添って来た動物である。そのため猫は人との関わりの中で語られ、あるいは絵画に描かれてきた。特に江戸後期には現代と同じように「猫ブーム」がたびたび到来し、日常の可愛い仕草をする猫はもちろん、怪談話の化け猫や擬人化された猫など、様々な猫が浮世絵や絵入り本に登場した。また、猫が福を招くという俗信から、各地で招き猫の土人形が盛んに作られている。

この展覧会では、こうした江戸から明治時代にかけて巻き起こった「猫ブーム」の諸相を浮世絵や版本、上人形など200件あまりの資料を通して紹介した。チラシやポスターなど広報物は若者向けのデザインで製作するとともに、猫またクイズや人気にゃんキングなど参加型のイベントの実施や、館内外各所に来館者の目を引くよう看板・パネル等を配置したことなどにより、比較的多くの女性や若年層の方々にご来館いただけた。

展示構成

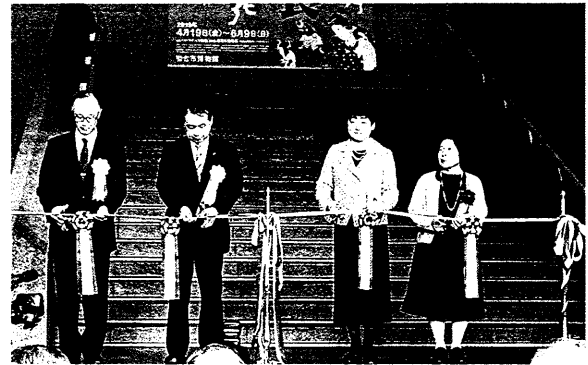
第1章 江戸の暮らしと猫

第2章 化ける猫

第3章 人か猫か、猫か人か

第4章 福を招く猫

第5章 おもちゃ絵になった猫



開会式



展示風景①



展示風景②

印刷物

ポスター B 1判 160枚、B 2判 2,000枚、
B 3判 300枚

チラシ A 4判 100,000枚

割引券 200,000枚

※図録は巡回図録を販売 (B 5判、225頁)



ポスター B2判

関連行事

(1) 記念講演会①

「江戸の猫ブーム」

4月20日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加112人

講師：津田卓子氏

(本展企画者・名古屋市博物館学芸員)



記念講演会①

(2) 記念講演会②

「東北の猫たちと人とのホットな関係

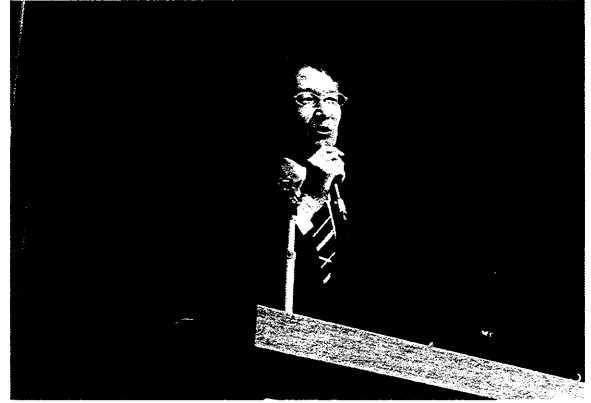
～民俗事例を中心に～」

5月11日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加87人

講師：石黒伸一朗氏

(村田町歴史みらい館専門員)



記念講演会②

(3) 招き猫絵付け体験

5月12日(日) 博物館講習室 参加計56人

午前の部28人、午後の部28人

講師：館職員

(4) プレミュージアムイベント

「あなたも招師－猫版画－」

参加 3,065人 (大人2,173人 子ども892人)

(5) うちの猫白慢 博物館1階ギャラリー

写真枚数332枚

(6) 22 (にゃんにゃん) の口先着プレゼント

5月22日(水) 先着222名に「猫消しゴム」プレゼント

(7) 猫またクイズ 自由参加型 参加約6,000人

(8) 人気にゃんキング自由参加型 参加12,980人

(9) ミュージアムセミナー

4月21日(日) 参加34人

(10) 友の会広報セミナー

4月22日(月) 参加88人

(11) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー

「猫ちゃんランチ」「キャットセット」

展示資料リスト

※作者・産地など／資料名／年代／頁数／所蔵の順に記載

※「*」印は出品せず図録のみ掲載。

第1章 江戸の暮らしと猫

1. 寺島良庵編 『和漢三才図会』第三十八卷
正徳2年(1712) 序刊 1冊 名古屋市博物館
- * 2. 未詳 『ねこの草紙』江戸中期(18C前半)刊 1冊
西尾市岩瀬文庫
3. 月岡芳年 猫鼠合戦 菓子袋・岩見銀山
安政6年(1859) 中判2丁掛1枚 個人蔵
4. 月岡芳年 猫鼠合戦 またたび・居眠り
安政6年(1859) 中判2丁掛1枚 個人蔵
5. 月岡芳年 猫鼠合戦 犬張子・鼠おとし
安政6年(1859) 中判2丁掛1枚 個人蔵
6. 歌川芳艶 猫ねつみどうけかつせん
弘化元～3年(1844～46) 大判3枚続 個人蔵
7. 歌川芳艶 猫ねつみどうけかつせん(異版)
弘化元～3年(1844～46) 大判3枚続 個人蔵
8. 佚斎楞山作 『田舎莊子』巻下
享保12年(1727)刊 1冊 個人蔵
9. 歌川国芳 猫の妙術 弘化4～嘉永3年(1847～50)
大判1枚 個人蔵
10. 新田道純 新田猫 江戸後期(19C前半) 1幅 個人蔵
11. 渡辺周溪・貞斎泉晁 たけの休
天保年間(1830～44)頃 大判1枚 個人蔵
12. 楊洲周延 衣襲明神之像 鼠よけ猫
明治20年代(1887～96)頃 1枚 個人蔵
13. 未詳 大津絵 猫と鼠の酒盛 江戸中期(18C前半)
1幅 個人蔵
14. 歌川国芳 心学雅絵得 天保13年(1842)頃
中短冊判1枚 個人蔵
15. 山本春正編 『絵入源氏物語』承応3年(1654)刊
全60冊のうち1冊 名古屋市博物館
16. 歌川国貞(三代豊国) 女三宮 天保年間(1830～44)頃
大判縦2枚続 個人蔵
17. 歌川国安 青楼若三人 女三の宮
文化12～天保3年(1815～32) 大判1枚 個人蔵
18. 歌川豊国 浮世舞台香 松助風 文化(1804～18)中期
大判1枚 個人蔵
19. 歌川国貞(三代豊国) 卯春新板 風流相生尽
竹にすすめ 天保2年(1831)頃 大判1枚 個人蔵
20. 歌川国芳 山海愛度図会 ヒ ヲ、いたい
越中滑川大蛸 嘉永5年(1852) 大判1枚 個人蔵

21. 歌川国芳 園中八せん花 菊 弘化元～3年(1844～46)
团扇絵 1枚 個人蔵
22. 歌川国芳 大津絵八景 神なりのよるの雨
嘉永2～6年(1849～53) 团扇絵 1枚 個人蔵
23. 歌川国芳 譬諭をしへ早引 砥 天保14年(1843)
大判1枚 個人蔵
24. 歌川国貞(三代豊国) 御詠当世好 カコイ
文政(1818～30)前期 大判1枚 個人蔵
25. 歌川貞景 江戸白慢美人揃 天保2年(1831)頃
大判3枚続 個人蔵
26. 歌川国芳 山海めでたいづゑ 十九 はやくきめたい
播州高砂蛸 嘉永5年(1852) 大判1枚 個人蔵
27. 歌川国芳 艶姿十六女仙 豊干禪師
弘化4～嘉永元年(1847～48) 大判1枚 個人蔵
28. 歌川貞秀 猫を抱き上げる美人 江戸末期(19C後半)
1幅 個人蔵
29. 歌川国芳 当盛美人合 五節句の内 青陽
天保2～4年(1831～33) 大判1枚 個人蔵
30. 歌川国貞(三代豊国) 美人合 春曙
文政(1818～30)後期 大判1枚 個人蔵
31. 歌川国芳 婦女鏡 豊 天保14～弘化元年(1843～44)頃
大判1枚 個人蔵
32. 歌川国芳 絵兄弟やさすかた 鶴退治
弘化2～3年(1845～46)頃 大判1枚 個人蔵
33. 歌川国貞(三代豊国) 富々岡八幡宮境内
弘化3年(1846)頃 大判3枚続 個人蔵
34. 歌川広重 名所江戸百景 浅草田雨西の町詣
安政4年(1857) 大判1枚 個人蔵



34. 歌川広重 名所江戸百景 浅草田雨西の町詣 個人蔵
35. 歌川広重 『浮世面譜』三編
嘉永～安政期(1848～60)頃刊 1冊 個人蔵
36. 根岸鎮衛編 『耳袋』巻二 天明6年(1786)頃成立
全10冊のうち1冊 名古屋市蓬左文庫

- *37. 鳥山石燕 『画図百鬼夜行』前編 安永5年(1776)刊
全3冊のうち1冊 西尾市岩瀬文庫
38. 富永静幽編 『尾張靈異記』初編下巻・二編下巻
安政3～4年(1856～57)頃成立 全6冊のうち2冊
名古屋市鶴舞中央図書館

第2章 化ける猫

39. 歌川貞秀 東海道五十三次之内 岡崎 天保6年(1835)
大判1枚 個人蔵
40. 歌川国芳 五拾三次之内 岡崎の場 天保6年(1835)
大判3枚続 個人蔵
41. 歌川国芳 日本駄右エ門猫之古事 弘化4年(1847)
大判3枚続 個人蔵



41. 歌川国芳 日本駄右エ門猫之古事 個人蔵

42. 歌川国芳 荷宝蔵壁のむだ書 嘉永元年(1848)
大判3枚続のうち中 個人蔵
43. 歌川国芳 東海道五十三対 岡部
弘化2～3年(1845～46)頃 大判1枚 個人蔵
44. 歌川国貞(三代豊国) 東海道五十三次之内 白須賀
猫塚 嘉永5年(1852) 大判1枚
名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
45. 歌川国貞(三代豊国) 五十三次之内
岡部丸子ノ間宇津谷猫石 安政元年(1854)
大判3枚続 個人蔵
46. 歌川国貞(三代豊国) 中村雀之助の千壽弥五郎・十三代日
市村羽左衛門の古猫の怪・四代日中村芝翫の須波数右衛門
文久元年(1861) 大判3枚続 個人蔵
47. 歌川国貞(三代豊国) 四代日中村芝翫の須波数右エ門・
十三代日市村羽左衛門の猫の中のみ・三代日沢村田之介の
りやうしおなミ中村雀之助の荒駒小太郎 文久元年(1861)
大判3枚続 個人蔵
48. 歌川国貞(三代豊国) 東駅いろは日記 岡崎
文久元年(1861) 大判1枚 個人蔵
49. 笠亭仙果作・歌川国貞(三代豊国)画
『雪梅芳譚 犬の卓紙』二十二編 嘉永5年(1852)刊
全112冊のうち2冊 個人蔵
50. 歌川国芳 曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角

- 天保9年(1838) 大判1枚 個人蔵
51. 一養亭芳滝 けいせい花八英 明治3年(1870)
中判3枚続 個人蔵
52. 歌川国貞(三代豊国) 愛妾胡蝶 侍女於古テ
成嶋大領 嘉永6年(1853) 大判3枚続 個人蔵
53. 豊原国周 東都三十六景之内 山下御門 古猫の怪
坂東彦三郎 元治元年(1864) 大判1枚
名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
54. 仮名垣魯文作・歌川芳虎画 『金鈴善悪譚』初編～六編
慶応元～4年(1865～68) 序刊 全12冊 個人蔵
55. 月岡芳年 美勇水滸伝 魔陀羅丸 慶応3年(1867)
中判1枚 個人蔵
56. 竹柴金作作・四代歌川国政画 『嵯峨奥妖猫奇談』
明治13年(1880) 1冊 個人蔵
57. 楊洲周延 東錦昼夜競 佐賀の怪猫 明治19年(1886)
大判1枚 個人蔵

第3章 人か猫か、猫か人か

58. 歌川国芳 乱朝恋山崎 上の巻 初代坂東しうかのあづま・
十二代日市村羽左衛門の与五郎・二代日市川九蔵のあわし
ま庄太夫 天保12年(1841) 大判3枚続 個人蔵
59. 歌川国芳 二代日市川九蔵のあわしま庄太夫
天保12年(1841) 大判1枚 個人蔵
207. 歌川国芳 十二代日市村羽左衛門の与五郎・
二代日市川九蔵のあわしま庄太夫 天保12年(1841)
大判2枚続 個人蔵
60. 常磐津正本 『乱朝恋山崎』 天保12～嘉永3年(1841～50)
頃刊か 1綴 名古屋市逢左文庫(尾崎久弥コレクション)
61. 山東京山作・歌川国芳画 『朧月猫の卓紙』初編～七編
天保13～嘉永2年(1842～49) 刊 全14冊 個人蔵
62. 仮名垣魯文作・歌川芳虎画、歌川芳幾画、月岡芳年画
『黄金花猫日登』初編～六編
文久3～明治元年(1863～68) 全14冊のうち12冊 個人蔵
209. 歌川国利 しん板猫のはなし 明治 大判1枚 個人蔵
63. 歌川国芳 猫の百面相 荒獅子男之助ほか
天保12年(1841)頃 団扇絵 1枚 個人蔵
64. 歌川国芳 猫の百面相 忠臣蔵 天保12年(1841)頃
団扇絵 1枚 個人蔵
65. 歌川国芳 猫の百面相 天保12年(1841)頃
団扇絵 1枚 個人蔵
66. 歌川国芳 三段目 天保12～13年(1841～42)頃
団扇絵 1枚 個人蔵
67. 歌川国芳 たこさかな 天保12～13年(1841～42)頃
団扇絵 1枚 個人蔵

68. 歌川国芳 猫のおどり 天保12年(1841)頃
 団扇絵 1枚 個人蔵
69. 歌川国芳 双蝶々曲輪日記 角力場 天保13年(1842)
 団扇絵 1枚 個人蔵
70. 歌川国芳 鏡見山 天保13年(1842)頃 団扇絵 1枚
 個人蔵
71. 歌川国芳 流行猫の戯 道行 猫柳淫月影
 弘化4年(1847)頃 大判1枚 個人蔵
72. 歌川国芳 流行猫の戯 梅が枝無間の真似
 弘化4年(1847)頃 大判1枚 個人蔵
73. 歌川国芳 流行猫の戯 袂糞気罵責段
 弘化4年(1847)頃 大判1枚 個人蔵
74. 歌川国芳 流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭淫色時
 弘化4年(1847)頃 大判1枚 個人蔵
75. 歌川国芳 流行猫の戯 かゝみやな 草履恥の段
 弘化4年(1847)頃 大判1枚 個人蔵
76. 歌川国芳 流行猫の曲鞠 天保12年(1841) 大判1枚
 個人蔵
77. 歌川国芳 猫の曲鞠 天保12年(1841) 団扇絵 1枚
 個人蔵
78. 錦江斎春艸 墨摺報条 風流曲手まり 天保12年(1841)
 1枚 個人蔵
79. 歌川広重 猫の鯉節渡り 釣り狐 天保13年(1842)頃
 中判2丁掛1枚 個人蔵
80. 歌川国芳 猫身八毛意 天保13年(1842)頃
 団扇絵 1枚 個人蔵
81. 歌川国芳 見立猫見八貝(画稿) 天保13年(1842)頃
 1枚 個人蔵
82. 歌川国芳 からず猫夜のあめ 白のぼせて
 天保(1830~44)末期 団扇絵 1枚 個人蔵
83. 歌川国芳 当流猫の六毛撲 弘化元~3年(1844~46)
 団扇絵 1枚 個人蔵
84. 歌川国芳 猫の当字 なまつ 天保14年(1843)
 大判1枚 個人蔵
85. 歌川国芳 猫の当字 たこ 天保13年(1842)頃
 大判1枚 個人蔵
86. 歌川国芳 猫の当字 かつを 天保14年(1843)
 大判1枚 個人蔵
87. 歌川国芳 繪鏡台合かゝ身 猫 天保13年(1842)頃
 団扇絵 2枚組のうち1枚 個人蔵
- *88. 歌川国芳 其まゝ地口 猫飼好五十三疋 上中下
 嘉永元年(1848)頃 大判3枚組 個人蔵
89. 歌川国芳 たとゑ尽の内 嘉永5年(1852)
 大判3枚組のうち右・左 個人蔵



89. 歌川国芳 たとゑ尽の内(左) 個人蔵

90. 歌川国芳 流行猫じゃらし 天保12年(1841) 1枚 個人蔵
91. 歌川国貞(三代豊国) 難有御代ノ賀界絵 水茶屋
 弘化元~3年(1844~46) 大判1枚 個人蔵
92. 歌川国芳 国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助
 弘化2年(1845)頃 大判1枚 個人蔵
93. 歌川国芳 源氏雲浮世画合 夕霧 絹川谷蔵
 弘化2~3年(1845~46)頃 大判1枚 個人蔵
94. 落合芳幾 国芳死絵 文久元年(1861) 大判1枚
 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
95. 河鍋晓斎 『晓斎画談』外編上巻 明治20年(1886) 1冊
 個人蔵
96. 歌川国芳 『枕辺深閑梅』下巻口絵 天保9年(1838)
 1枚 個人蔵
97. 歌川国芳 浮世よしづくし 弘化4~嘉永元年(1847~48)
 大判2枚続 個人蔵
98. 歌川芳藤 小猫をあつめ大猫とする
 弘化4~嘉永元年(1847~48) 大判1枚 個人蔵
99. 歌川芳藤 五拾三次之内猫之怪 弘化4(1847)
 大判1枚 個人蔵
100. 落合芳幾 与ハなさけ浮名の横ぐし 万延元年(1860)
 大判1枚 個人蔵
101. 落合芳幾 当世見立忠臣蔵 万延元年(1860)
 大判1枚 個人蔵
102. 四代歌川国政 芸競猫の戯 明治5~8年(1872~75)頃
 大判3枚続 個人蔵

第4章 福を招く猫

103. 歌川国貞(三代豊国)・二代歌川広重 江戸白慢三十六興
 今戸焼物 元治元年(1864) 大判1枚 個人蔵
104. 未詳 伝今戸人形 座り猫 江戸末期 1体 個人蔵
105. 未詳 伏見人形 座り猫 江戸末期~明治前期 1体 個人蔵
106. 未詳 花巻人形 座り猫 江戸末期~明治前期 1体 個人蔵
107. 未詳 花巻人形 座り猫 江戸末期~明治前期 1体 個人蔵

108. 未詳 花巻人形 鯛乗り猫 江戸末期 1体 個人蔵
109. 歌川広重 浄るり町繁花の図 せうちう屋ほか
嘉永5年(1852) 大判1枚 個人蔵
110. 未詳 丸ノ猫 嘉永5～安政6年(1852～59)頃
1体 新宿区教育委員会
111. 未詳 本丸ノ猫 江戸(後期(19C後半)) 1体
東京都教育委員会
112. 未詳 丸ノ猫 近代 1体 東京都江戸東京たてもの園
113. 吉田義和(東京) いまの人形 招き猫(丸ノ猫)
平成 1体 個人蔵
114. 吉田義和(東京) いまの人形 招き猫(本丸ノ猫)
平成 1体 個人蔵
115. 寒亭西馬作・歌川国芳画 『稲妻形怪鼠標了』三編袋
嘉永6年(1853) 1枚 個人蔵
116. 二代長谷川貞信 俳優楽屋影評判 坂東寿三郎
明治17年(1884) 大判1枚 個人蔵
117. 未詳 招猫黄金の新富 明治16年(1883)
大判1枚 個人蔵
118. 未詳 『まねき猫狂教説』安政7年(万延元年・1860)著
1綴 名古屋博物館
119. 未詳 土人形 招き猫 江戸末期～明治 1体
名古屋市教育委員会
120. 未詳 土人形 招き猫 江戸末期～明治 1体
名古屋市教育委員会
121. 未詳 土人形 招き猫 明治 1体 名古屋市教育委員会
122. 未詳(鳥取) 堀越土人形 招き猫雌型 昭和 1具 個人蔵
123. 未詳(岩手) 花巻人形 招き猫 明治 1体 個人蔵
124. 未詳(岩手) 花巻人形 鞠抱き招き猫 明治 1体 個人蔵
125. 未詳(岩手) 花巻人形 鯉押さえ招き猫 明治 1体
個人蔵
126. 未詳(宮城) 堤人形 招き猫 大正 1体 個人蔵



126. 未詳(宮城) 堤人形 招き猫 個人蔵

127. 未詳(山形) 下小菅人形 招き猫 明治～大正 1体
個人蔵

128. 相良清一(山形) 相良人形 招き猫 明治～大正 1体
個人蔵
129. 渋江家(山形) 渋江練り人形 招き猫 明治～大正
1体 個人蔵
130. 未詳(秋田) 八橋上人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
131. 未詳(秋田) 八橋土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
132. 未詳(栃木) 田沼練り人形 招き猫 大正～昭和 1体
個人蔵
133. 未詳(群馬) 高崎張り子 招き猫 昭和 1体 個人蔵
134. 未詳(群馬) 高崎張り子 招き猫 昭和 1体 個人蔵
135. 田中謙次(千葉) 芝原人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
136. 未詳(埼玉) 鴻巣練り人形 招き猫 大正 1体 個人蔵
137. 未詳(埼玉) 鴻巣練り人形 招き猫 大正 1体 個人蔵
138. 未詳(埼玉) 鴻巣練り人形 招き猫 大正 1体 個人蔵
139. 未詳(埼玉) 越ヶ谷張り子 招き猫 大正 1体 個人蔵
140. 未詳(東京) 今戸人形 招き猫 明治 1体 個人蔵
141. 沢井家(東京) 高月張り子 達磨抱き招き猫 大正
1体 個人蔵
142. 会田家(東京) 多摩張り子 達磨抱き招き猫 昭和前期
1体 個人蔵
143. 会山光雄(東京) 多摩張り子 招き猫
昭和30年代(1955～65) 1体 個人蔵
144. 根岸家(東京) 多摩張り子 招き猫 昭和 1体 個人蔵
145. 未詳(新潟) 山口土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
146. 西原家(長野) 立ヶ花土人形 招き猫
大正～昭和前期 1体 個人蔵
147. 吉田孫吉(愛知) 豊橋土人形 猫抱き娘 明治 1体
個人蔵
148. 鈴木初太郎(愛知) 棚尾土人形 招き猫 昭和前期
1体 個人蔵
149. 高山家(愛知) 旭土人形 招き猫 昭和前期 1体
個人蔵
150. 福宜田章(愛知) 大浜土人形 招き猫 昭和 1体
個人蔵
151. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体
個人蔵
152. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体
個人蔵
153. 未詳(愛知) 三河系土人形 鞠抱き招き猫 昭和前期
1体 個人蔵
154. 未詳(愛知) 三河系土人形 鞠抱き招き猫 昭和前期
1体 個人蔵
155. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期
1体 個人蔵

156. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 157. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 158. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 159. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 160. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 161. 未詳(愛知) 三河系土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 162. 山田こう、はつ(愛知) 名古屋土人形 招き猫 大正~昭和前期 1体 個人蔵
 163. 野田家(愛知) 名古屋土人形 招き猫 昭和初期 1体 個人蔵
 164. 野田末吉(愛知) 名古屋土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 165. 野田末吉(愛知) 名古屋土人形 猫抱きお福 昭和 1体 個人蔵
 166. 杉浦家(愛知) 乙川土人形 鞠抱き招き猫 昭和 1体 個人蔵
 167. 未詳(愛知) 伝起土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 168. 中島一夫(愛知) 起土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 169. 未詳(愛知) 瀬戸焼 招き猫 大正~昭和 1体 個人蔵
 170. 未詳(愛知) 瀬戸焼 招き猫 大正~昭和 1体 個人蔵
 171. 未詳(愛知) 瀬戸焼 招き猫 大正~昭和 1体 個人蔵
 172. 未詳(愛知) 常滑焼 大人り台乗り招き猫 昭和後期 1体 個人蔵
 173. 未詳(愛知) 東海銀行招き猫貯金箱 昭和後期 1体 個人蔵
 174. 未詳(岐阜) 高山土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 175. 未詳(岐阜) 高山土人形 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 176. 未詳(石川) 九谷焼 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 177. 未詳(石川) 九谷焼 招き猫 昭和前期 1体 個人蔵
 178. 中川正美(京都) 清水人形 初辰猫(一對) 昭和 2体 個人蔵
 179. 未詳(京都) 伏見人形 親子招き猫 大正~昭和前期 1体 個人蔵
 180. 未詳(京都) 伝伏見人形 火消半纏招き猫 明治~大正 1体 個人蔵
 181. 未詳 大阪練り人形 招き猫 明治 1体 個人蔵
 182. 未詳(大阪) 大阪練り人形 招き猫 明治 1体 個人蔵
 183. 未詳(大阪) 大阪練り人形 招き猫 大正 1体 個人蔵
 184. 未詳(大阪) 大阪練り人形 招き猫 大正 1体 個人蔵

185. 未詳(大阪) 大阪張り子 招き猫 大正~昭和前期 1体 個人蔵
 186. 北尾製(大阪) 住吉大社 初辰猫 大正~昭和前期 48体 個人蔵
 187. 未詳(兵庫) 稲畑人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 188. 野口文蔵(福岡) 赤坂土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵
 189. 古瀬与三郎(佐賀) 弓野土人形 招き猫 昭和 1体 個人蔵

第5章 おもちゃ絵になった猫

190. 歌川芳員 猫の狂言尽くし 安政2年(1855) 大判1枚 個人蔵
 191. 歌川国利 しんぱんねこ尽 明治23年(1890) 大判1枚 個人蔵
 192. 歌川国利 流行ねこの温泉 明治14年(1881) 大判1枚 個人蔵
 193. 助六製(東京) 猫の湯屋 平成 1組 個人蔵
 194. 小林幾英 新板猫の牛肉屋 明治12年(1879) 大判1枚 個人蔵
 195. 歌川国梅 新ばん猫世帯ままこしらへ 明治18年(1885) 大判1枚 個人蔵
 196. 歌川芳虎 しん板猫のおさらい 明治 大判1枚 個人蔵
 197. 小林幾英 新板猫の勉強学校 明治20年(1887) 大判1枚 個人蔵
 198. 歌川国利 新板猫の戯 明治17年(1884) 大判1枚 個人蔵
 199. 歌川国利 新板猫の玉のり 明治28年(1895) 大判1枚 個人蔵
 200. 未詳 大なまつねこのたむれ 明治 大判1枚 個人蔵
 201. 未詳 大新板猫のいしょう付 明治前期 大短冊判1枚 個人蔵
 202. 歌川芳藤 此中ハおもしろきもの 慶応年間(1865~68)頃 大判1枚 個人蔵
 203. 四代歌川国政 佐賀夜桜猫退治 明治20年(1887) 大判3枚組 個人蔵
 204. 未詳 猫鼠十六むさし 明治 1台 個人蔵
 205. 歌川芳藤 しん板どうけかつらつけ 明治 大判1枚 個人蔵
 206. 未詳 仕掛絵 もうろく猫・猫尽・猫の放生会 明治18年(1885) 1枚 個人蔵
 208. 歌川国直 新板猫相撲づくし 明治18年(1885) 大判1枚 個人蔵
 210. 四代歌川国政 福鼠戯双六 明治16年(1883) 1枚 個人蔵
 211. 歌川芳藤 いろは替手本 明治 大判1枚 個人蔵
 212. 未詳 猫の踊り 明治13年(1880)カ 大判1枚 個人蔵

企画展

「戦国の伊達氏 — 植宗から政宗へ」

会 期 令和元年7月12日(金)～9月1日(日)

前 期：7月12日(金)～8月4日(日)

後 期：8月6日(火)～9月1日(日)

開催日数 46日間

観覧者数 26,203人（1日平均570人）

観 覧 料 常設展料金

一般・大学生460円（360円）、

高校生230円（180円）、

小・中学生110円（90円）

※（ ）内は30名以上の団体料金

主 催 仙台市博物館

共 催 河北新報社

後 援 毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、
読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、
日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング
新聞社、NHK仙台放送局、TBC東北放
送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東
日本放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM
76.2

群雄割拠した戦国時代の東北地方で、最終的に最大の大名となった伊達政宗。そのルーツは鎌倉時代にさかのぼる。

本展覧会では、一般にはあまり知られていない伊達氏の初祖・朝宗から歴史を説き起こし、戦国時代の14世植宗、15世晴宗、16世輝宗、そして17世政宗を中心として、伊達氏がどのように東北の雄、さらには全国有数の大名へと成長したかをたどった。

政治や合戦、神仏への信仰、和歌・能・蹴鞠といった日本文化、海外の文化などをテーマに、織田信長や上杉謙信、豊臣秀吉らとの関わりも交えながら、戦国時代に躍動した伊達氏のすがたを紹介し、江戸時代以前の伊達氏の歴史を深く知る機会とした。

絵図や文書などを中心に、若者にも関心の高い甲冑や刀、陣羽織などの武器・武具類を展示し、戦国武将の文書の早わかりコーナーや和紙に触れるコーナーなども設けた。また、会場内に伊達氏のイラストを用いるといった工夫も凝らし、多くの来場者を得て、大変好評をいただいた。

展示構成

序 章 戦国文書のかたち

第1章 はじまりの伊達氏

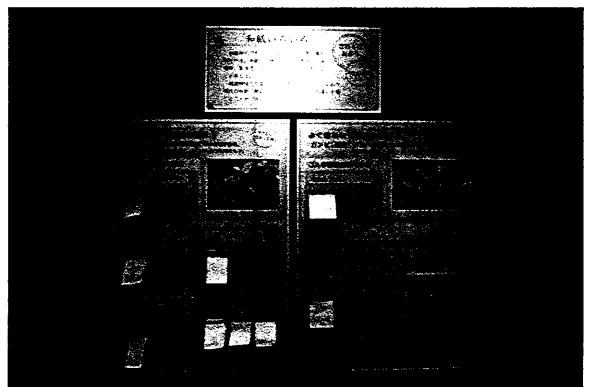
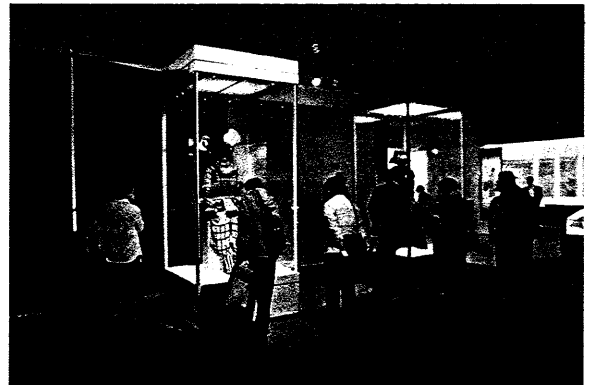
第2章 武将の国の治め方

第3章 南奥羽の合戦

第4章 神仏にすがる

第5章 文化の香り

終 章 戦国の世をふり返る



展示風景

※伊達氏のイラスト作画は、マンガ「独眼竜政宗」（河北新報連載）の作者・千葉真弓氏にご協力いただいた。また、展示会場の近くには出品協力をいただいた福島県桑折町・伊達市の特設コーナーを設けた。

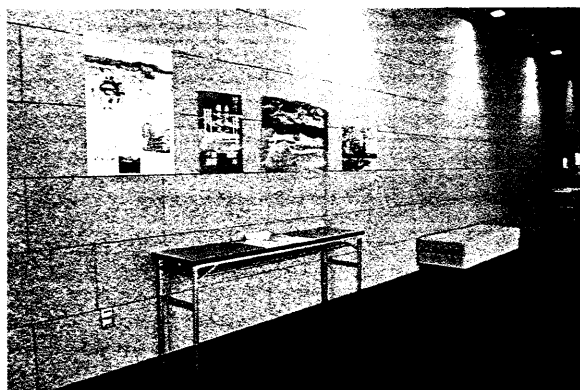
(4) 博物館活用研修
 8月2日(金) 9:30~16:30
 博物館ホール・展示室 参加19人(教職員)

(5) 友の会広報セミナー
 7月16日(月) 参加102人

(6) 各種団体・学校等への展示解説
 12件(市民センター等7件、学校5件)
 参加396人

(7) プレイミュージアムイベント
 「信長・政宗のハンコをつくろう」
 参加2,008人(子ども1,424人・大人584人)

(8) レストラン三の丸 展覧会特別メニュー
 「冷製野菜そばと鰻小丼(フルーツ付き)」



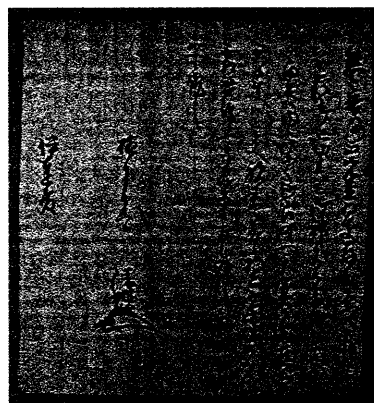
福島県桑折町・伊達市関連特設コーナー

展示資料目録

●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品、□は県指定文化財、◇は市・町指定文化財

序章 戦国文書のかたち

1. 伊達植宗知行宛行状 濱田下総守宛
 天文14年(1545)8月3日 1通 館蔵(濱田家資料)
2. 仙石曾繁書状 矢代勘解由兵衛(尾代景頼)宛
 (天正19年・1591)10月7日 1通 館蔵(伊文)
3. 北条氏照書状 遠藤山城守(基信)宛
 (天正11年・1583)3月20日 1通 館蔵(報恩会)
4. 田村清顕書状 伊達殿(輝宗)宛(年未詳)12月16日
 1通 館蔵(伊文)



4. 田村清顕書状 伊達殿(輝宗)宛

5. 細川高国書状 伊達大膳大夫(尚宗)宛
 (永正7年・1510)10月2日 1通 館蔵(伊文)
6. 大崎義直朱印状 柳目伊勢守宛
 天文9年(1540)6月20日 1幅 館蔵
7. 伊達植宗安堵状案 牛越又七宛
 永正8年(1511)7月5日 1通 館蔵(伊文)
8. 蘆名盛興起請文 伊達殿(輝宗)宛
 永祿9年(1566)2月1日 1通 館蔵(伊文)
9. 織田信長書状 伊達次郎(輝宗)宛
 (天正2年・1574)9月2日 1通 館蔵(伊文)
10. 織田信長音物目録 伊達殿(輝宗)宛
 (天正2年・1574)9月2日 1通 館蔵(伊文)
11. 伊達政宗黒印状(右筆) 黒沢新介(景重)宛
 (天正14年・1586)9月5日 1通 館蔵(報恩会)
12. 下郡山長綱等連署田銭免除状
 天文24年(1555)10月12日 1通 館蔵(伊文)
13. 伊達政宗書状(自筆) 氏弾(氏家弾正忠吉継)宛
 (天正16年・1588)10月24日 1幅 館蔵
14. 伊達政宗書状(白筆) 泉安(泉山安芸守重光)宛
 (天正16年・1588)8月4日 1幅 館蔵

15. 伊達政宗書状(右筆) 元安(日理元安斎元宗)宛
(天正12年・1584) 8月13日 1幅 館蔵
16. ◇伊達政宗肖像 狩野探幽筆・伊達政宗和歌貼付
江戸初期(17C) 1幅 館蔵(伊文)

第1章 はじまりの伊達氏

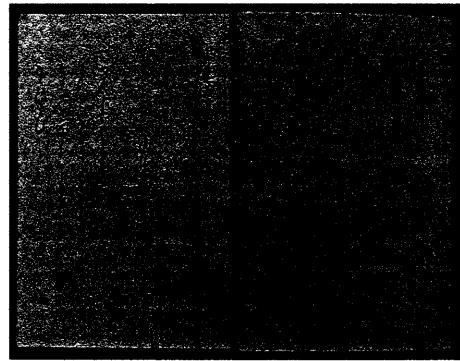
17. 伊達朝宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
18. 伊達朝宗画像 江戸 1幅 館蔵(伊文)
19. 伊達宗村画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
20. 伊達義広画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
21. 伊達政依画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
22. 伊達宗綱画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
23. 伊達基宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
24. 伊達行宗(行朝)画像(伊達家歴代画真のうち)
長谷川養辰筆 享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
25. 伊達宗遠画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
26. 伊達政宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
27. 伊達氏宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
28. 伊達持宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
29. 伊達成宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
30. 伊達尚宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
31. 伊達植宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
32. 伊達晴宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
33. 伊達輝宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)
34. 伊達政宗画像(伊達家歴代画真のうち) 長谷川養辰筆
享保9年(1724) 1面 館蔵(伊文)

※No.17、20、22、24、26、28、30、32、34は前期展示。

※No.18、19、21、23、25、27、29、31、33は後期展示。

第2章 武将の国の治め方

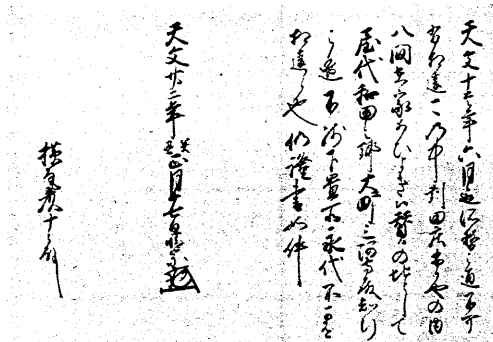
35. 梁川城絵図(伊達分御絵図のうち) 延宝3年(1675)
1鋪 宮城県図書館
36. 梁川城跡出土遺物 17点 福島県伊達市教育委員会
37. 桑折西山城絵図(伊達分御絵図のうち) 延宝3年(1675)
1鋪 宮城県図書館
38. 桑折西山城跡出土遺物 9点 福島県桑折町教育委員会
39. 蔵方之掟 天文2年(1533)3月13日 1通 館蔵(伊文)
40. ◎塵芥集(村田本) 原本:天文5年(1536)4月14日
1冊 館蔵(伊文)
41. 塵芥集(狩野本) 原本:天文5年(1536)4月14日
1冊 東北大学附属図書館
42. 塵芥集(猪熊本) 原本:天文5年(1536)4月14日
1冊 館蔵(小林宏氏寄贈)



42. 塵芥集(猪熊本)

43. 塵芥集(佐藤本) 原本:天文5年(1536)4月14日
1冊 館蔵(伊文)
44. 伊達植宗買地安堵状案 中野上野守(親時)宛
大永6年(1511)2月29日 1通 館蔵(伊文)
45. 棟役日記 天文4年(1535)3月 1冊 館蔵(伊文)
46. 段銭帳 天文7年(1538)9月3日 1冊 館蔵(伊文)
47. 足利義植御内書 伊達次郎(植宗)宛
(年未詳)3月21日 1通 館蔵(伊文)
48. 細川高国書状 伊達次郎(植宗)宛
(永正14年・1517)3月9日 1通 館蔵(伊文)
49. 新開宗源(隆実)書状 伊達左京大夫(植宗)宛
(大永2年・1522)12月7日 1通 館蔵(伊文)
50. 細川道永(高国)書状 伊達左京大夫(植宗)宛
(大永5年・1525)8月27日 1通 館蔵(伊文)
51. 足利義晴一字状 伊達次郎(晴宗)宛
(天文2年〔1533〕5月10日) 1通 館蔵(伊文)
52. 足利義輝御内書 伊達次郎(晴宗)宛
(天文24年・1555)3月19日 1通 館蔵(伊文)
53. 大館晴光添状 伊達次郎(晴宗)宛
(天文24年・1555)3月19日 1通 館蔵(伊文)

54. 足利義輝御内書 伊達左京大夫（晴宗）宛
（永禄2年頃・1559）9月24日 1通 館蔵（伊文）
55. 足利義輝御内書 伊達左京大夫（晴宗）宛
（永禄2年頃・1559）9月24日 1通 館蔵（伊文）
56. ◇晴宗公采地下賜録 天文22年（1553） 2冊 館蔵（伊文）
57. 伊達晴宗知行宛行状 宇和野山城守宛
天文22年（1553）正月17日 1巻 個人蔵
58. 伊達晴宗知行宛行状 横尾彦十郎宛
天文22年（1553）正月17日 1巻 個人蔵



58. 伊達晴宗知行宛行状 横尾彦十郎宛

59. 福島城絵図（伊達分御絵図のうち） 延宝3年（1675）
1冊 宮城県図書館
60. 蘆名止々斎（盛氏）起請文 伊達殿（輝宗）宛
永禄9年（1566）正月10日 1通 館蔵（伊文）
61. 織田信長朱印状 伊達殿（輝宗）宛
（天正元年・1573）12月28日 1通 館蔵（伊文）
62. 祝重正書状 遠藤内匠助（基信）宛
（天正元年・1573）12月28日 1通 館蔵（報恩会）
63. 伊達氏洞中在郷衆日記（天正5年・1577頃） 1冊
館蔵（伊文）
64. 遠藤基信段銭請取状 後藤孫二郎宛
天正7年（1579）11月7日 1幅 館蔵（後藤愛氏寄贈）
65. 正月仕置之事 天正12年（1584）12月 1巻 館蔵（伊文）
66. 米沢領館山成島図（公津全図附切絵図のうち）
延宝5年（1677） 1冊 宮城県図書館
67. 北条段銭帳 天正13年（1585）11月25日 1冊 館蔵（伊文）
68. 上郡山仲為書状写 浅野弾正少弼（長吉）宛
（天正17年・1589）9月3日 1通 館蔵（伊文）
69. 岩出山要書絵図 江戸前期～中期（17～18C） 1冊
館蔵（伊文）

※No.52、53、57は前期展示。No.54、55、58は後期展示。

第3章 南奥羽の合戦

70. 伊達頼宗朱印状 神谷常陸介宛
（天文10年頃・1541）6月14日 1通 館蔵（伊文）
71. ◇伊達正統世次考 元禄16年（1703） 1冊 館蔵（伊文）
72. 大崎義宣起請文 福田玄番允・村岡蔵助宛
天文12年（1543）6月16日 1通 館蔵（伊文）
73. 伊達晴宗安堵状 福田玄蕃尉宛
天文13年（1544）6月18日 1通 館蔵（伊文）
74. 留守景宗判物 遠藤弥左衛門尉宛
天文14年（1545）12月16日 1幅 館蔵（佐藤勝五郎氏寄贈）
75. 伊達頼宗判物 新田少監物宛 天文12年（1543）7月14日
1幅 個人蔵
76. 相馬連歌師千佐歌書之内御用立候所抜書
天文18年（1549）4月3日 1冊 館蔵（伊文）
77. 最上義守黒印状 牧野弾正忠（久仲）宛
（年未詳）5月15日 1通 館蔵（伊文）
78. ◇性山公治家記録巻2 元龜元年（1570）4月4日条
元禄16年（1703） 1冊 館蔵（伊文）
79. 伊達輝宗日記写 原資料：伊達輝宗筆
原資料：天正2年（1574） 1冊 館蔵（伊文）
80. 火繩銃 刻銘「仙台住木田市郎右衛門定義作中鍛」
江戸中期（18C） 1挺 館蔵
81. 伊達氏人数日記（天正2年・1574頃） 1冊 館蔵（伊文）
82. 伊達輝宗書状 落合信濃守ほか12名宛
（年未詳）10月17日 1通 館蔵（伊文）
83. 蘆名止々斎（盛氏）書状 米沢（伊達輝宗）宛
（天正4年・1576）9月13日 1通 館蔵（伊文）
84. 伊達実元書状 杉日御陣所宛
（天正5年・1577）閏7月15日 1通 館蔵（伊文）
85. ●伊達輝宗書状 上杉謙信宛
（永禄6年・1563）閏12月16日 1通 米沢市上杉博物館
86. ●伊達輝宗書状 上杉謙信宛
（天正4年・1576）7月28日 1通 米沢市上杉博物館
87. 上杉謙信書状 蘆名修理大夫（盛氏）宛
（年未詳）6月7日 1幅 館蔵（猪苗代周氏寄贈）
88. 織田信長朱印状 伊達左京大夫（輝宗）宛
（天正5年・1577）閏7月23日 1通 館蔵（伊文）
89. 伊達輝宗書状 岩城殿（常隆）宛
（天正10年・1582）6月5日 1幅 館蔵
90. 蘆名盛隆書状 濱田大膳亮（景隆）ら4名宛
（天正9年・1581）4月1日 1通 館蔵（伊文）
91. ◇金上盛満書状 遠山（遠藤山城守基信）宛
（天正9年・1581）4月1日 1通
個人蔵（白石市教育委員会保管）

92. ◇金上盛満書状 遠山(遠藤山城守基信)宛

(天正9年・1581) 4月13日 1通

個人蔵(白石市教育委員会保管)

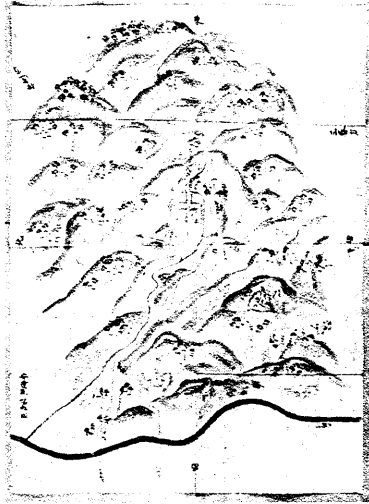
93. 祖先行軍之図 江戸(17~18C) 1幅

館蔵

94. 安達郡塩松図(会津全図附切絵図のうち)

延宝5年(1677) 1鋪

宮城県図書館



94. 安達郡塩松図(会津全図附切絵図のうち)

95. 放駒の陣貝 桃山(16C) 1具 館蔵(伊文)

96. 安孫子の陣貝 桃山(16C) 1具 館蔵(片倉家資料)

97. 人取橋観音堂御合戦絵図 江戸中期 1鋪 館蔵(報恩会)

98. 伊達政宗書状(白筆) 石母田左衛門太輔(景頼)宛

(天正16年・1588) 2月22日 1幅

館蔵

99. 野伏日記(泉沢弥平左衛門・賀藤平二郎)

天正17年(1589) 4月27日 1冊

館蔵(伊文)

100. 若松領猪苗代・金川村・三橋村・日橋・摺上原・磐梯山図

(会津全図附切絵図のうち) 延宝5年(1677) 1鋪

宮城県図書館

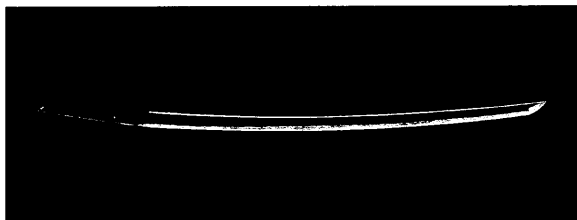
101. 紫系威胴丸 伝伊達政宗所用 室町後期(16C) 1領

館蔵(湯村幹夫氏寄贈)

102. 太刀 無銘(鍔国行) 豊臣秀吉所用 伊達政宗拝領

鎌倉中期 1振

館蔵(小笠原信夫氏寄贈)

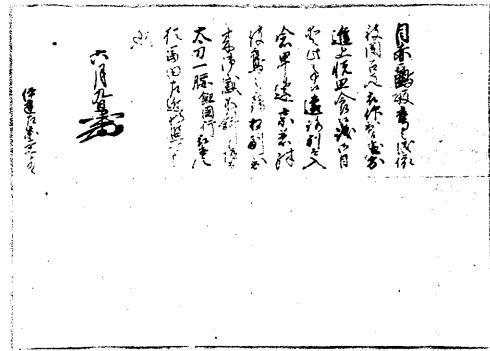


102. 太刀 無銘(鍔国行)

103. 豊臣秀吉書状 伊達左京大夫(政宗)宛

(天正17年・1589) 6月9日 1通

館蔵(伊文)



103. 豊臣秀吉書状 伊達左京大夫(政宗)宛

104. 豊臣秀吉朱印状写(宣戦布告状) 北条左京大夫(氏直)宛

天正17年(1589) 11月24日 1通

館蔵(伊文)

105. 伊達政宗書状 宛所欠(天正18年・1590) 6月14日

1幅

館蔵(伊文)

106. ◎銀伊予札白糸威胴丸具足 豊臣秀吉所用

伊達政宗拝領 天正18年(1590) 拝領 1領

館蔵(伊文)

107. ◎黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用 桃山(16C) 1領

館蔵(伊文)

※No.85、91、106は前期展示。No.86、92は後期展示。

第4章 神仏にすがる

108. 伊達種宗奇進状案 昌伝庵宛

天文8年(1539) 5月29日 1通

館蔵(伊文)

109. 留守景宗棟役免除状 新大夫宛

大永4年(1524) 10月23日 1通

鹽竈神社博物館

110. 伊達種宗陣夫免除状案 竹駒別当坊宛

天文6年(1537) 7月24日 1通

館蔵(伊文)

111. 留守政景手日記(年未詳) 12月27日 1通

鹽竈神社博物館

112. 松本氏輔等連署起請文 牧野殿(久仲)・浜田殿(宗景)・

中野殿(宗時)宛 永禄9年(1566) 正月10日 1通

館蔵(伊文)

113. 浦生氏郷起請文 伊達左京大夫(政宗)宛

天正18年(1590) 11月28日 1通

館蔵(伊文)

114. 高野山観音院過去帳 貞享3年(1686) 11月25日写

1巻

館蔵(伊文)

115. 下方正寺遺跡出土遺物 7点

福島県桑折町教育委員会

116. 光明寺村絵図(伊達分御絵図のうち) 延宝3年(1675)

1鋪

宮城県図書館

117. ◇藤名盛興書状 遠内(遠藤内匠助基信)宛

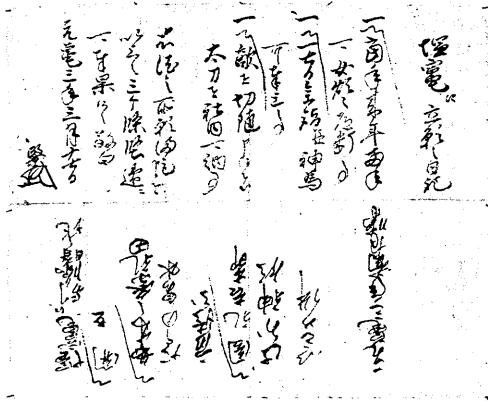
(天正2年・1574) 5月10日 1通

個人蔵(白石市教育委員会保管)

118. 留守政景立願之日記 元龜3年(1572)3月17日

1通

鹽竈神社博物館



118. 留守政景立願之日記

119. 勝軍地藏菩薩坐像 伝濱田景隆所用 桃山 1軀

館蔵(濱田家資料)

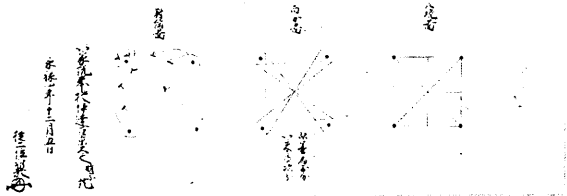
※No.108、109、112は前期展示。No.110、111、113は後期展示。

第5章 文化の香り

120. 飛鳥井雅教蹴鞠庭免状 伊達左京大夫(晴宗)宛

(永禄4年・1561)12月5日 1通

館蔵(伊文)



120. 飛鳥井雅教蹴鞠庭免状 伊達左京大夫(晴宗)宛

121. 飛鳥井雅教蹴鞠萌黄葛袴免許状 伊達左京大夫(晴宗)宛

(永禄5年・1562)3月22日 1通

館蔵(伊文)

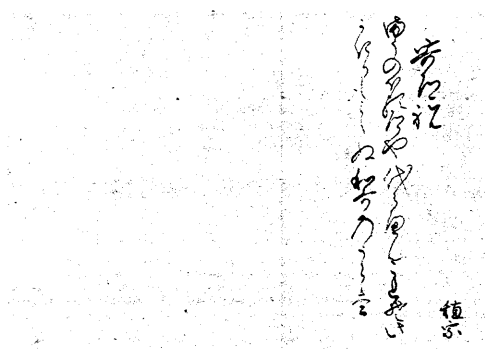
122. ◇性山公治家記録卷3 天正5年(1577)正月7日条

元禄16年(1703) 1冊

館蔵(伊文)

123. 伊達稗宗和歌詠草 寄道祝 1幅

館蔵(伊文)



123. 伊達稗宗和歌詠草 寄道祝

124. 伊達晴宗和歌色紙 いつるとも 1幅

館蔵(伊文)

125. 伊達輝宗和歌短冊 我ばかり 1幅

館蔵(伊文)

126. ○吉野懐紙 文禄3年(1594)2月29日 1卷

館蔵

127. ◇瀟湘八景図 雪村周継筆 室町末期 6幅

館蔵(伊文)

128. 伊達輝宗日記 伊達輝宗筆 天正2年(1574)

1冊

館蔵(伊文)

129. 北条氏照書状 伊達殿(政宗)宛

天正17年(1589)7月29日 1通

館蔵(伊文)

130. ◎山形文様陣羽織 伊達政宗所用 桃山(16C) 1領

館蔵(伊文)

131. 天翼 伝豊臣秀吉所用 李氏朝鮮(16C) 1領

館蔵(伊文)

館蔵(伊文)

※No.130は前期展示。No.131は後期展示。

終章 戦国の世をふり返る

132. 木村宇右衛門覚書 上巻 木村宇右衛門可親著

慶安5年(1652)頃 1冊

館蔵(伊文)

133. 仙台鹿の子 元禄8年(1695) 1冊

館蔵(尚文館C)

134. 米沢事跡考 加藤鷹之介写(原本:山田近房著)

慶応3年(1876)写(原本:元文元年(1736)) 1冊

館蔵(報恩会)

135. ◇伊達正統世次考 元禄16年(1703) 1冊

館蔵(伊文)

136. ◇性山公治家記録・貞山公治家記録 元禄16年(1703)

2冊

館蔵(伊文)

仙台市市制施行130周年記念 企画展

「やっぱり絵図がすき！－博物館で旅する仙台藩と城下町－」

会 期 令和元年10月11日(金)～12月1日(日)

開催日数 45日間

観覧者数 16,481人 (1日平均366人)

観 覧 料 常設展料金

一般・大学生460円 (360円)、

高校生230円 (180円)、

小・中学生110円 (90円)

※ () 内は30名以上の団体料金

主 催 仙台市博物館

共 催 NHK仙台放送局

特別協力 国土地理院東北地方測量部

後 援 河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3 FM76.2

仙台市博物館の敷地は、江戸時代は仙台北城東丸(三の丸)と呼ばれた仙台北城の一部分で、明治時代には軍隊の敷地となり、現在も残る上罫や堀(長沼・五色沼)から城の面影を感じることが出来る場所である。

本展覧会では、仙台北城下絵図や村絵図など江戸時代の「仙台」を描いた絵図、国絵図をはじめ仙台藩領を描いた絵図、世界を描いた坤輿万国全図など多種多様な絵図の世界を紹介した。これらは、当時はそれぞれの用途のため作成されたものだが、現在では私たちに土地の履歴や測量・作図技術、身近な地域の移り変わりを教えてくれる興味深く、貴重なものである。本展では、平成27年度に斎藤報恩会から寄贈された絵図群を加え、一層厚みを増した当館の一大絵図コレクションを一堂に公開した。

仙台市市制施行130周年及び政令指定都市30周年という記念の年に開催された本展覧会は、市民の城下絵図や村絵図を見る面白さを感じ、身近な地域への関心・知識を深める機会となった。また、県内だけでなく全国・海外の多くの来場者を得て、大変好評をいただいた。

展示構成

第1章 国絵図と測量

第2章 世界と日本と仙台藩

第3章 「仙台」の絵図

第4章 仙台の城と江戸の屋敷

第5章 絵図から地図へ



展示風景

企画展関連展示

①参加型パネル展「どこから来ましたか？」

会場 企画展示室前廊下

企画展会期中、世界・日本・東北・仙台の地図パネルを展示し、来場者の居住地にシールを貼ってもらった。

②関連パネル展及び映像上映

会場 ミュージアムストリート

企画展会期中、「陸奥国仙台領国絵図」の縮小復元シート、国土地理院事業紹介パネル・映像、安政補正改革仙台絵図復刻及び関連展示パネル、仙台市立工業高等学校模型部「高校生も絵図がすき」動画等(※11月12日～12月1日)を紹介した。

※秋・冬の常設展でも「常設展も絵図がいっぱい！」と題し、マップやパネルを作成、多種多様な絵図の展示を行った。

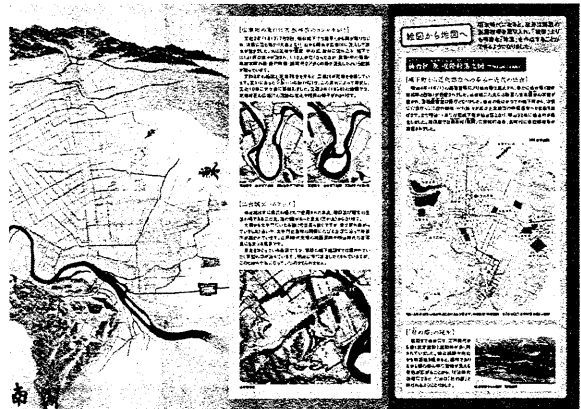


関連展示

印刷物



ポスター B2判



リーフレット



- ポスター B2判 1,400枚
- ポスター B3判 150枚
- チラシ A4判 55,000枚
- リーフレット A4判 (8頁、オールカラー) 15,000部

関連行事

- (1) 記念講演会
 「絵図から探る仙台城と城下町仙台
 —せんだいコンセキ発掘のススメ」
 11月23日(土) 13:30~15:00
 博物館ホール 参加154人

講師：木村浩二氏

(宮城学院女子大学非常勤講師・仙台段差崖会
主宰)

※10月13日(日)を予定していたが台風のため延期



記念講演会

(2) しろ・まち講座

「まちの歴史を絵図が語る！？

－企画展の見どころ紹介－

11月9日(土) 13:30～15:00

博物館ホール 参加149人

講師：水野沙織（当館学芸員）

(3) 測量体験イベント

「絵図仕立人になって測量してみよう！」

11月16日(土) 13:00～15:00

博物館講習室・館庭 参加15人

講師：国上地理院職員

①概要説明

②測量体験

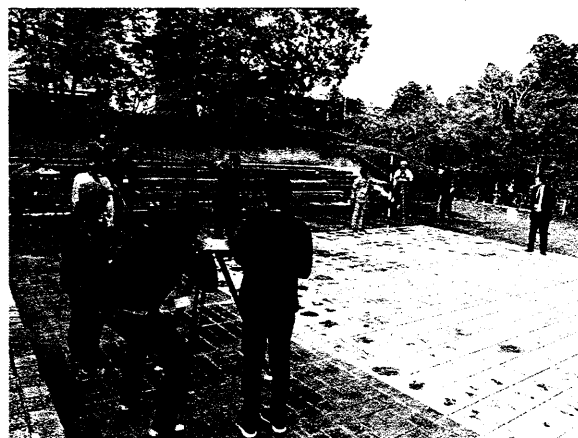
③製図・講評

④講座「中世から現代までの測量の話」

坂井尚登氏



しろ・まち講座



測量体験

(4) 仙台市博物館×仙台市図書館連携講座

「絵地図と星のステキな関係」

10月26日(土) 13:30～15:00

せんだいメディアテーク 参加140人

講師：小石川正弘氏

(天文家・仙台市民図書館嘱託)、

水野沙織（当館学芸員）

(5) ミュージアムセミナー

10月12日(土)

参加16人（教職員12人、ボランティア4人）

(6) 友の会広報セミナー

10月21日(月)

参加99人

(7) 各種団体・学校等への展示解説

11件（市民センター等10件、学校1件）

参加506人

(8) プレイミュージアムイベント

「絵図パズルに挑戦」

参加918人

(子ども514人・大人404人、1日平均21人)

展示資料リスト

◇は仙台市指定文化財

第1章 国絵図と測量

1. 陸奥国仙台領国絵図 元禄12年(1699) 8月
9 鋪のうち8 鋪 館蔵(報恩会)



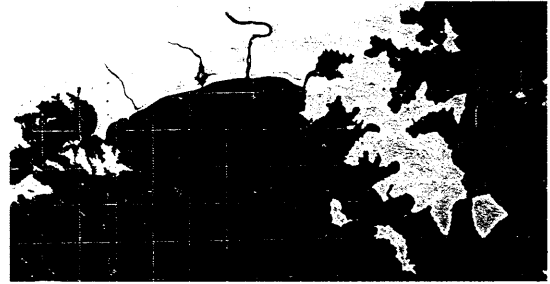
1. 陸奥国仙台領国絵図

2. 奥州仙台領郷帳 正保2年(1645) 3冊のうち2冊 館蔵(報恩会)
3. 測量用具図 江戸中期～後期(18～19C) 1帖 館蔵(千葉氏寄贈朴沢家資料)
4. 清水流規矩術之巻 江戸中期～後期(18～19C) 1帖 館蔵(千葉氏寄贈朴沢家資料)
5. 北極星高度板雛形 江戸中期～後期(18～19C) 2枚 館蔵(千葉氏寄贈朴沢家資料)
6. 陸奥仙天天象測驗五行之図 朴沢直好観測 寛政4年(1792) 1枚 館蔵(朴沢家資料)
7. 仙台領海岸実測図 元治2年(1865) 3月 1 鋪 館蔵(報恩会)

第2章 世界と日本と仙台藩

8. 坤輿万国全図屏風 名取春伸筆 江戸後期(18～19C) 6 曲 1 隻 館蔵
9. 日本図 ルドヴィコ・テイセラ、アブラハム・オルテリウス 1595年 1 面 館蔵
10. 陸奥出羽越後佐渡測量図写(伊能中図) 原本は文化元年(1804)筆 1 幅 館蔵(報恩会)
11. 銅鑄大日本細図 文久3年(1863) 5月官許 元治元年(1864) 2月刻 1 帖 館蔵(尚文館C)
12. 仙台藩村分絵図 元禄15年(1702) 1 幅 館蔵
13. 御領内名所図会 佐久間晴岳筆 嘉永5年(1852)以降 1 巻 館蔵(報恩会)
14. 奥のしるべ 源時成筆 (嘉永5年・1852) 1 冊 館蔵
15. 土橋之絵図(寛永十九年之絵図) 寛永19年(1642) 6月15日 1 鋪 館蔵(伊文)
16. 田村右京亮知行地境日絵図 寛文2年(1662) 8月28日 1 鋪 館蔵(伊文)

17. 金ヶ崎城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
18. 涌谷城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
19. 松山城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
20. 岩沼城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
21. 角田城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
22. 坂元城絵図 江戸前期(17C) 1 鋪 館蔵(伊文)
23. 御分領中海岸図 春・夏・秋 嘉永6年(1853) 3月 3 鋪 館蔵



23. 御分領中海岸図

24. 御分領中海岸筋村々里数等調 嘉永6年(1853) 3月 2冊のうち1冊 館蔵

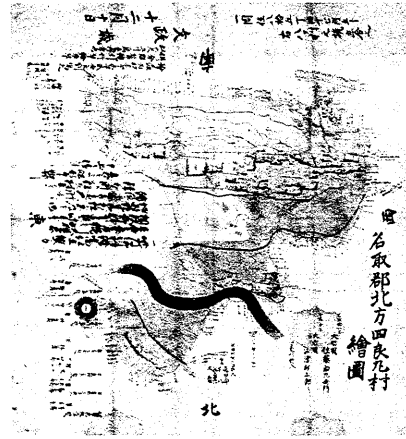
第3章 「仙台」の絵図

25. ◇奥州仙台城絵図 正保2年(1645)頃 1 鋪 館蔵(報恩会)
26. ◇仙台北下五整封絵図 元禄4・5年(1691・92) 4 鋪 館蔵(報恩会)
27. 仙台北下絵図写 元文元年～寛保2年(1736～42) 1 幅 館蔵
28. 仙台北下絵図 宝暦10～12年(1760～62) 1 鋪 館蔵(飯倉晴武氏寄贈)
29. ◇仙台北下絵図 寛政元年(1789)頃 1 幅 館蔵(片倉家資料)
30. 仙台北下絵図 文政3年(1820)頃 1 幅 館蔵(庄子幾子氏寄贈)



30. 仙台北下絵図

31. ◇文久二年仙台下絵図 文久2年(1862) 1幅
館蔵(報恩会)
32. ◇明治元年現状仙台城市之図 明治元年(1868) 1面
館蔵
33. ◇御修覆帳 安永年間(1772~81) 1冊
東北大学大学院工学研究科
34. ◇仙台橋の擬宝珠 慶長6年(1601)12月 1冊
館蔵(報恩会)
35. 織部皿 若林城出土 江戸(17C前半) 1点
仙台市教育委員会
36. 木樋・蓋・枡 北方武家屋敷跡出土 江戸(19C) 3点
仙台市教育委員会
37. 継手 北方武家屋敷跡出土 江戸(18C) 1点
仙台市教育委員会
38. 仙台領奥州街道絵図 江戸中期(18C) 1帖 館蔵
39. 奥州名所図会 大場雄淵著 江戸後期(19C) 1冊
館蔵(報恩会)
40. 奥州仙台名所尽集 江戸後期(19C) 1巻
館蔵(大宮司C)
41. 葛岡権現森御堂山御絵図 江戸中期(18C) 1幅
館蔵(伊文)
42. 安養寺山御狩場絵図 江戸中期(18C) 1幅 館蔵(伊文)
43. 中山御巻山絵図 江戸中期(18C) 1幅 館蔵(伊文)
44. 名取郡北方二木村絵図 文政6年(1823) 1鋪 館蔵
45. 名取郡北方飯田村絵図 文政年間(1818~1839) 1鋪
館蔵(佐藤信夫氏寄贈)
46. 名取郡北方今泉村絵図 文政年間(1818~1839)
1鋪 館蔵
47. 名取郡北方袋原村絵図 文政年間(1818~1839)
1鋪 館蔵
48. 名取郡北方湯木村絵図 文政6年(1823) 1鋪 館蔵
49. 宮城郡芋沢村絵図 文政5年(1822) 1幅 個人蔵
50. 茂庭村赤石松林家在郷屋敷絵図
元禄3年(1690)2月3日 1鋪
館蔵(仙台藩上松林家資料)
51. 名取郡北方根岸村平岡村入合絵図 文政5年(1822)
1鋪 館蔵
52. 名取郡北方鉤取村絵図 文政4年(1821)11月 1鋪 館蔵
53. 名取郡北方山田村絵図 文政4年(1821) 1鋪 館蔵
54. 名取郡北方四良丸村絵図 文政5年(1822)頃 1鋪 館蔵

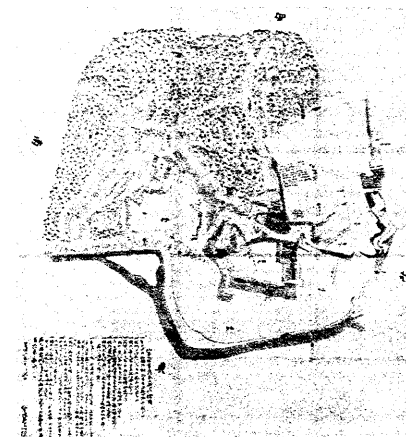


54. 名取郡北方四良丸村繪図

※No.48は10/11~11/10展示、No.49は11/12~12/1展示。

第4章 仙台的城と江戸の屋敷

55. 仙台城絵図 寛文4年(1664)頃 1幅 館蔵
56. ◇仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図 江戸(17~19C)
1巻 館蔵(千田家資料)
57. 仙台城修復伺絵図 享保6年(1721)11月5日 1幅
館蔵(報恩会)



57. 仙台城修復伺絵図

58. 仙台城二の丸家作水抜絵図 江戸後期(19C) 1鋪
館蔵(報恩会)
59. 仙台藩庁絵図 明治2年(1869) 1鋪 館蔵(報恩会)
60. 松平陸奥守深川抱屋敷並びに近傍地図 江戸後期(18C)
1帖 館蔵(中村C)
61. 木挽丁御屋敷図 元禄10年(1697)以降 1枚
館蔵(報恩会)
62. 江戸芝川上屋敷絵図 (宝永4年・1707~寛保3年・1743)
1幅 館蔵(佐藤巧氏寄贈)
63. 仙台藩江戸上屋敷絵図 享保18年(1733)以降 1幅
館蔵(千葉氏寄贈朴沢家資料)

64. 仙台藩江戸上屋敷略図 文化14年(1817)頃 1枚
館蔵(仙台藩上松林家資料)
65. 伊達家江戸愛宕下中屋敷絵図 享保20年(1735)10月作成
1幅 館蔵(荻田耕造氏寄贈)
66. 袖ヶ崎八景図 江戸中期～後期(18～19C) 1巻 館蔵
67. 江戸藩邸芝口上屋敷庭園図 菊田伊洲筆 江戸後期(19C)
1幅 館蔵(伊文)
- No.62は10/11～11/10展示、No.63は11/12～12/1展示。

第5章 絵図から地図へ

68. 宮城県下第一大区絵図 明治5～9年(1872～76) 1枚
館蔵(報恩会)
69. 宮城県内図 佐久間徳郎編集・出版 明治11年(1878)
1枚 館蔵(報恩会)
70. 仙台区及近傍村落之図 仙台鎮台製作 明治15年(1882)
1鋪 館蔵
71. 増補仙台区全図 伊勢斎助発行 明治20年(1887)
7月19日届 1枚 館蔵(三原C)
72. 改正区域宮城県管内市町村全図 伊勢斎助発行
明治22年(1889)、24年改定 1枚 館蔵(報恩会)
73. 仙台 二万分之一 第二師団参謀本部作製
明治24年(1891)測量 1枚 館蔵(三原C)
74. 仙台市測量全図 仙台市役所発行 明治26年(1893)
1面 館蔵(橋本恵子氏寄贈)
75. 最新版 仙台市全図 東洋造画館発行
昭和3年(1928)発行 1枚 館蔵(三原C)
76. 仙台市土地宝典 川名文明堂発行 大正15年(1926)
2枚 館蔵(報恩会)
77. 昭和八年五月現在仙台市全図 河北新報社発行
昭和8年(1933)5月 1枚 館蔵(三原C)
78. SENDAI 1944年(昭和19年) 1面 館蔵
79. 最新仙台市街明細地図 金港堂発行 昭和23年(1948)
1枚 館蔵(三原C)

2. 資料の収集保管

受贈資料

令和元年度は21の個人から364件390点（概数）の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

山本 千恵／石井了瑄和歌ほか／8件8点
吉田 拓矢／伊達政宗書状／1件1点
佐藤 寿夫／筆筈ほか／3件6点
一龍齋貞山／伊達政宗書状／1件1点
今井 春江／雛調度ほか／2件2点
伊澤 平一／刀（備前長船祐光）ほか／41件41点
笹谷 榮子／刀（会津道辰）ほか／2件2点
大澤 幸子／羅浮暁色図 梅閑落款／1件1点
安齋 博雄／埋木細工／4件7点
三原 征郎／詳細町界入最新仙台市街明細地図／1件1点
笠嶋 義夫／鹿図 東東洋筆ほか／2件2点
西村 容太郎／堤人形 谷風ほか／3件3点
伊達 洋子／ピッケルほか／2件2点
川村 知佐子／キリシタン禁制札ほか／5件5点
伊澤 平一／伊達政宗騎馬像ほか／2件2点
安達 紀彦／茶入（安達丸壺）ほか／8件12点
坂 正毅／奥羽戊辰事変ノ真相ヲ闡明セル坂英力伝ほか／24件38点
藤縄 裕之／仙台城沿革ほか／2件2点
安久津 好子／木ノ下駒／1件1点
五十嵐 裕／桜に小禽図小襖 東東洋筆／1件2点
ヘフケン クリストフ／海国兵談 写本／1件3点
河上 泉／小倉強氏旧蔵資料／249件249点

購入資料

令和元年度の購入資料は0件であった。

寄託資料

令和元年度、当館では131人11,680件の寄託を受け付けた。

資料修理

令和元年度は52点の修理を行った。

- (1) 表具仕立て直し修理
伊達政宗朱印状（天正17年） 1幅
仙台城修復伺絵図
（享保6年・享保13年・元文4年） 3幅
明石図 伊達吉村筆 1幅 計5点
- (2) 本紙剥がれ修理
仙台市指定文化財 瀟湘八景図 雪村周継筆
6幅のうち1幅 計1点
- (3) 本紙剥がれ・棧欠失修理
花鳥・山水押し絵貼り屏風 小圃六一筆
6曲1双のうち左隻 計1点
- (4) 風帯破損修理
江戸藩邸芝口上屋敷庭園図 菊田伊洲筆 1幅
計1点
- (5) 軸端はずれ修理
虎図 菅井梅閑筆 1幅 計1点
- (6) 浮世絵裏打ち・台紙貼り修理
浮世絵 歌川国芳画 1枚物40枚 計40点
- (7) 絵図台紙貼り修理
フィリップ・ブリエ日本図 1枚 計1点
- (8) 体験学習用資料修理
琴 1点、政宗所用兜レプリカ 1点 計2点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびLEDを使用している。

また虫菌害への対策として、下記のとおり(1)加害生物及び浮遊菌調査、(2)くん蒸庫におけるくん蒸を実施し、資料の殺虫・殺菌処理を行った。

(1) 加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①令和元年4月22日～26日

②令和元年8月26日～9月6日

方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。

菌類はエアースAMPLERによる採集と培養による属名同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所に粘着トラップを設置。同じく22箇所に置いてエアーを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

(2) くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①令和元年4月22日～26日

②令和元年8月26日～9月6日

方法：すべてエキヒュームS（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

※令和元年度にくん蒸庫施設のヒーターが故障したため、修理を行った。

資料の貸出

令和元年度は12施設に45件56点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

ナショナル・ギャラリー・オブ・アート（ワシントン）／「日本美術に見る動物の姿」／伊達吉村 閑上浜御飯屋十二支額、狩野安信 秋草に鹿図屏風2件13点／平成31年2月9日～9月27日

府中市美術館／「へそまがり日本美術 禅画からヘタウマまで」／狩野常信筆 唐獅子図屏風ほか7件7点／平成31年3月6日～令和元年5月15日

群馬県立歴史博物館／第98回企画展「大新田氏展」／伊達貞綱軍忠状并上野国国宣1件1点／平成31年4月19日～令和元年7月10日

東北歴史博物館／企画展「モダンデザインが結ぶ暮らしの夢」／ブルーノ・タウト テーブルスタンド4点／令和元年6月28日～8月29日

大崎市教育委員会／夏期企画展「岩出山伊達家二代

宗敏の時代—城下町岩出山の発展の頃—」／御預人屋敷御法度御式目ほか（寄託：岩出山伊達家文書）5件5点／令和元年5月29日～8月28日

福岡市博物館／特別展「侍—もののふの美の系譜—」／重要文化財 銀伊予札白糸威胴丸具足（豊臣秀吉所用・伊達政宗拝領）1領／令和元年8月16日～11月19日

鳥取県立博物館／企画展「殿様の愛した禅-黄檗文化とその名宝」／伊達綱村像ほか3件3点／令和元年9月10日～11月28日

登米市歴史博物館／企画展「亙理宗根没後350年記念 伊達政宗のこどもたち」／伊達宗清黒印状ほか6件6点／令和元年9月19日～11月27日

だて歴史文化ミュージアム／「伊達成実と伊達政宗 ともに駆け抜けた時代」／重要文化財 黒漆五枚胴具足1領ほか8件8点／令和元年9月27日～12月5日

五島美術館／特別展「美意識のトランジション（過渡期）—十六から十七世紀にかけての東アジアの書画工芸—」／重要文化財 山形文様陣羽織1件1点／令和元年10月16日～12月19日

鹽竈神社博物館／新春特別展「仙台藩の刀工 国包」／脇差 銘「奥州仙台住藤原国包」ほか3件3点／令和元年12月15日～令和2年2月20日

茨城県立歴史館／特別展「佐竹氏—800年の歴史と文化—」／仙道人取橋合戦之図1幅ほか4件4点／令和2年1月26日～3月27日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。令和元年度の利用申込は228件551点であった。

「重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用」はのべ16回、「国宝・ユネスコ世界記憶遺産 支倉常長像」はのべ25回の利用があった。

表2 当館収蔵指定文化財一覧

令和2年3月31日現在

国指定文化財(国宝)

項目	資料名	員数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年6月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の3点はユネスコ記憶遺産(平成25年6月19日登録)

国指定文化財(重要文化財)

項目	資料名	員数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	1領	昭和53年6月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	昭和54年6月6日
工芸品	銀伊予札 白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾 1頭 頭巾 1頭 団扇 3握 軍扇 2握	1領	昭和54年6月6日
工芸品	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂 2枚 入日記(正徳2年4月) 1通	12条	平成3年6月21日
書跡	塵芥集	1冊	平成15年5月29日

宮城県指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	6曲1双 2曲1双	平成5年12月24日
考古資料	土偶/鍛冶沢遺跡出土	1箇	平成24年5月1日
歴史資料	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1軸	平成20年5月2日

仙台市指定文化財

項目	資料名	員数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	1幅	昭和44年7月31日
絵画	菊絵和歌屏風	2隻	昭和51年7月1日
絵画	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	昭和51年7月1日
絵画	菅井梅関 水亭午翠図	1幅	昭和51年7月1日
絵画	仙台城本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図(2曲屏風) 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図(東東洋筆)	1双 6面 4面	昭和60年9月4日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	昭和60年9月4日
絵画	絹本著色靈昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	昭和60年9月4日
絵画	紙本著色河図之図(東東洋筆)	1幅	昭和60年9月4日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	昭和60年9月4日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	平成7年3月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年9月4日
工芸品	服飾類(伊達政宗所用) 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	1具 1領 1領 1領 1領 1腰 1腰 1腰 1条	昭和60年9月4日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織(伊達重村所用)	1領	昭和60年9月4日
工芸品	茶杓 仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作 2筒 伊達忠宗作 2筒 伊達綱宗作 6筒 伊達綱村作 7筒 伊達吉村作 36筒 仙台藩主作 7筒 (以上茶杓筆筒入) 伊達忠宗作 1筒	61筒	昭和60年9月4日

項目	資 料 名	員 数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個 1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年右村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足(伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱皺漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付(伝上杉謙信所用)	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附 金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盞	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章(仙台藩歴代藩主所用)	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首卷 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10冊	1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図分類 附 六無斎遺詠 1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身 1口 糸巻太刀拵 1腰 黒漆葛蒔絵文箱 1合 青龍付文鎖(文箱内容品) 1点 墨(文箱内容品) 1挺 黒漆白梅蒔絵箱 1合 梨地菊蒔絵箱 1合 黒漆鉄線蒔絵香合 1合 梨地梅蒔絵硯箱 1合 筆入(硯箱内容品) 1点 墨(硯箱内容品) 1挺 硯(硯箱内容品) 1面 水滴(硯箱内容品) 1点 梨地煙管箱 1合 煙管羅宇(煙管箱内容品) 2点 梨地菊蒔絵印籠 1具 皮袋 1点 慶長1分金(皮袋内容品) 3枚 携帯用磁石(皮袋内容品) 1点 金製ブローチ(皮袋内容品) 1点 練玉(皮袋緒締) 1点 銀製服飾品 1点 円鏡 1点 毛抜 2点 雲母製菜板 5枚 葵紋金製菜板 1枚 金具 一括 残欠類 一括		昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図(推定正保2~3年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五釐卦絵図(推定元禄4~5年)	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(推定天明6~寛政元年)	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図(文久2年)	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱 1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表3 収蔵資料一覧

令和2年3月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,288
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大内源太右衛門コレクション	絵画、歴史資料等	90
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀山孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊川定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥蔵関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	256
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武山家資料	古文書、古記録、服飾等	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
西川瑞國コレクション	陶磁器等	518
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	(一括)
書跡	書跡、文芸等	466
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,838
絵画	絵画	1,164
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	16,989

総計 98,229点

(新規収蔵資料390点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く)

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

3. 教育・普及

講座・イベント

1. リピーター勧誘イベント

「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布 4月1日～継続中

配布場所 情報資料センター

表4 よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
R1	186人	12人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1人に付き、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。



2. 博物館七夕飾り

令和元年7月2日(火)～8月18日(日)

エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。

短冊は、事前にプレイミュージアムにて来館者に願いを書いてもらったものを使用した。



3. 仙台っ子歴史探検隊

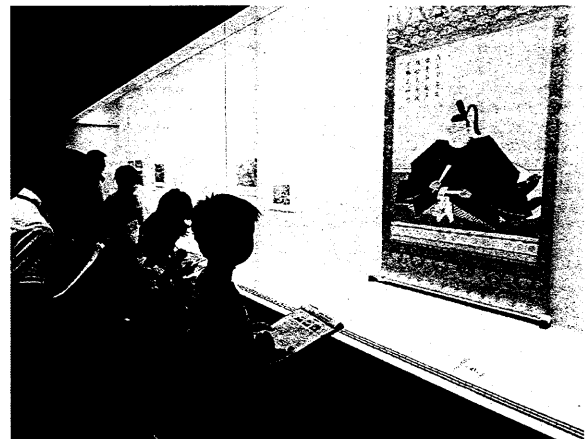
仙台っ子歴史探検隊「伊達政宗を探検しよう！」

令和元年8月17日(土) 13:30～15:00

講習室・常設展示室 参加 16人

小学4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベント。令和元年度は、展示室でグループごとに「クイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行ったあと、講習室でクイズの答え合わせを行った。

平成26年度から博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な実習として、館職員の指導のもと、実習生が「クイズラリー」の運営に関わっている。子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生を補助員としてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合ったり、実習生に相談したりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいに触れながら気が付いたことを話し合うなど、楽しそうに学びを深めていた。



展示室でのクイズラリーの様子



よろいをじっくり調べる児童

4. 親子体験イベント

夏休み工作教室

「蒔絵であそぼう」

令和元年7月20日(土) 13:30~15:30

講習室 参加31人(子供14人、大人17人)

小中学生を対象とした夏休みの工作教室をおこなった。定員を超える応募があったため、定員を10人増やすとともに、参加者の安全や費用面を考慮し、材料はウレタン製の工芸用漆と黒ボール紙、粉末絵の具を使用した。

当日は、蒔絵の練習時間を設けてから作品づくりに取り掛かれるようにしたことで、初めは失敗しながらもコツをつかんで作品を仕上げた参加者が多かった。どの親子も製作活動を楽しむ姿が見られた。事後アンケートでも「これからも子供たちの知的好奇心に応えるイベントを」との声があがっていた。



親子で蒔絵の説明を聞く



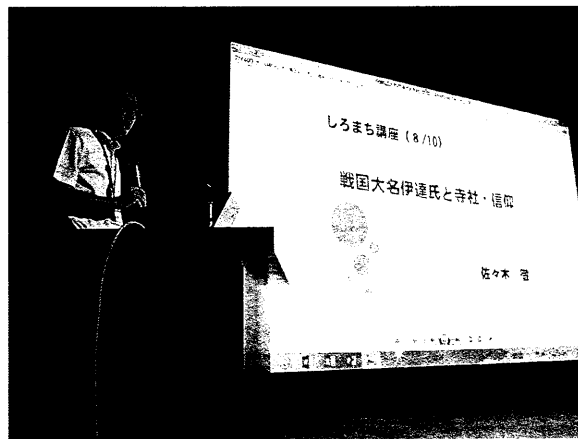
教え合いながら蒔絵を楽しむ

5. しろ・まち講座37~38

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会の見どころについて紹介したりするために講座を実施した。例年、しろ・まち講座は中込不要としていたが、今年度は企画展「戦国の伊達氏」と企画展「やっぱり絵図が好き！」に関連しており混雑が予想されたため事前申込制とした。時間はNo.37が13:30~16:00、No.38が13:30~15:00で行った。会場は博物館ホールで開催した。

表5 令和元年度 しろ・まち講座

No.	月日	講師・演題	参加者
37	8/10 (土)	佐々木徹(当館学芸員) 「戦国大名伊達氏と寺社・信仰」 黒田風花(当館学芸員) (当館学芸員) 「伊達輝宗と家臣たち」	239人
38	11/9 (土)	水野沙織(当館学芸員) 「まちの歴史を絵図が語る!?— 企画展の見どころ紹介—」	149人



しろ・まち講座37

6. 「まちなか博物館」講座 7

平成28年度より東北工業大学との連携事業として、歴史や美術に関する講座を実施している。令和元年度は特別展「いつだって猫展」にちなみ、展覧会に合わせた内容の講座を行った。時間は13:30~15:00、会場は東北工業大学一番町ロビーで開催した。

表6 令和元年度 まちなか博物館講座

N0.	月日	講師・演題	参加者
7	5/25 (土)	寺澤慎吾(当館学芸員) 「いつだって猫ー江戸時代の猫ブーム」	49人



まちなか博物館講座7

7. 生涯学習推進(館内講師・館外講師派遣)

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が館内もしくは館外で講話を行った。

下表は、当館で受理された「講師派遣申込書(館内・館外)」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況についてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況(館内・館外)については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表7 令和元年度 館内外講師派遣状況

講師派遣(館内・館外)	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説等	26件	1,220人
館外講師	14件	877人
合計	40件	2,097人

8. その他のイベント

○水玉模様陣羽織を着てみよう

日時: 令和元年9月16日(月)と10月6日(日)

13:30~15:30

会場: 2階企画展示室前ロビー

参加者(子供22人、大人20人)

伊達家に伝来した「水玉模様陣羽織」の常設展での展示に合わせ、複製資料を使って着用と記念撮影ができるイベントを行った。当日の来館者に職員やボランティアから声をかけて参加を促した。



記念撮影を楽しむ参加者

○OPTAフェスティバル

日時: 令和元年11月10日(日) 10:00~15:00

会場: 市役所前市民広場 参加者: 172人

生涯学習課より依頼を受け、仙台市PTAフェスティバルに参加した。「伊達なもんきり遊びをしよう」という体験ブースを設け、折り紙での家紋の製作を楽しんでもらった。当日はイベントの協力者として、学生サポーター8人(宮城学院女子大学2人、尚絅学院大学1人、東北福祉大学5人)が体験活動を補助した。



体験ブースの様子

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（1人）と必要に応じ解説ボランティアがサポートしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物（常設展示）と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物（イベント）の2種類がある。



1. 常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす・音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

「変身する」の利用者行動の中に含まれる「政宗のかぶとをかぶってみよう」は人気のある常設展示となっており、令和元年度には年間4,170人の利用があった。

表8 令和元年度 主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・ぺたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき凧・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形
音を出す	箏／法螺貝／銅鐺／神楽鈴／五鈴鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯨・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器
写し取る	平面 収蔵品の透過写真や複製版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用） 立体 複製の縄文土器（型取器を使用）

はかる	長さ 物差し（曲尺・鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー 量 枡（一升・五合・一合）／軽量カップ 重さ ヘルスメーター／台秤
織る	平織機（カランコ） 編む 百足編み 織りの組織見本 編む 花結び
変身する	複製や復元品 政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖 その他 十二単着せ替え人形／草鞋／お面（仙台張子）／手拭
考える	からくりの復元 二挺天府式和時計 アイ・トリック ゆがみ絵／トロンブルイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類 ゲーム 投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ パズル 組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智慧の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチャパズル日本地図
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書

以上は、購入、委託製作、当館製作からなる

(1) 入場者数

令和元年度 25,113人

(2) 配布物

配布物	R1
①よろいのワークシート	554人
②トレーシングペーパー	664人
③折紙	20人
④テキスト	41人

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

(3) 破損、修理状況

	展示資料管理状況（点）	R1
状況	破損や汚れのための撤去	46
	紛失	17
対応	修理による復帰	41
	同種の展示資料と交換	20
	別種の展示資料に変更	0
	修理不能、または汚損・劣化による廃棄	6

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

(4) デジタルデータの活用

システム名	R1
来館者用情報提供システム	3,475人

来館者用情報提供システムとは、Q&A形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置されている。

2. イベント

よろいや小袖などを着用して変身するイベント。以下の内容で例年、年3回実施している。

(1) 館内での変身タイム

第1回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足（重文）の複製

令和元年6月22日(土) 13:30~15:00



第2回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

- 伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製
- 伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

令和元年12月7日(土) 13:30~15:00



表9 参加数(人) (子供は中学生以下)

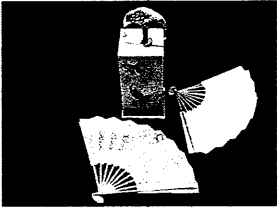


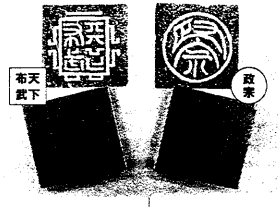
	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	見学者
R1	1	12	8	2	6	8	14
	2	10	5	1	2	3	12
	計	22	13	3	8	11	26

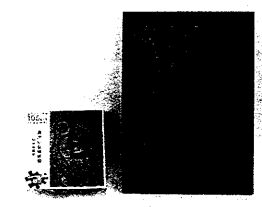
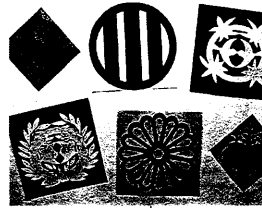
3. 特別イベント

特別イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

- (1) 入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。
- (2) 表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。
- (3) 内容は以下に分類されるものを取り上げる。
 - 常設展示資料に焦点をあてたもの
 - 年中行事や季節にあわせたもの
 - ◎特別展や企画展にちなんだもの

表10 令和元年度 特別イベント一覧

期間	参加人数	内 容
●挑戦しよう！投扇興		
3/9(土) ～4/21(日) 37日間	大人 170人 子供 170人 計 340人	投扇興は、中国から渡来した投壺という遊びを参考に創案されたと伝えられ、枕の上においた的をめがけ、開いた扇を投げ打つ遊びである。今回のイベントではプレイミュージアム流の遊戯方法や得点法で楽しんでもらった。
		
◎あなたも摺師－猫版画		
4/19(金) ～6/9(日) 46日間	大人2,173人 子供 892人 計 3,065人	特別展「いつだって猫展」に出品された猫が登場する浮世絵にちなんで、浮世絵の摺りの工程を楽しんでもらうイベント。オリジナルの版木を2種類作製し、3つの版で色を順に重ねて刷り上げる多色版画に挑戦してもらうことで浮世絵や展覧会への関心を高めてもらった。
		
○短冊に願いを		
7/2(火) ～8/18(日) 43日間	596枚	和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わってもらおうイベント。柳生和紙の短冊を用意し、筆ペンで願い事を書き、プレイミュージアム内にある笹竹（造花）に結んでもらった。
		
◎信長・政宗のハンコをつくらう		
7/12(金) ～9/1(日) 46日間	大人 584人 子供1,424人 計 2,008人	企画展「戦国の伊達氏－植宗から政宗へ」に展示された古文書に捺されている印章をモチーフとしたイベント。スチレン製パネルに反転印字された図柄を油性マジックでなぞることで簡単なハンコをつくるという製作活動を楽しんでもらった。
		

期間	参加人数	内 容
◎絵図パズルに挑戦		
10/11(金) ～12/1(日) 45日間	大人 404人 子供 514人 計 918人	企画展に展示された奥州仙台城絵図をもとに作製した仙台市博物館オリジナルパズルで遊んでもらうイベント。限定品として販売も行った。ほかにも3種類の絵図パズルを手作りし、子供から大人まで遊びながら手元でじっくりと絵図を見てもらえるようにした。
		
●伊達なもんきり遊びをしよう		
常設展期間 の64日間	大人 524人 子供 374人 計 898人	常設展の展示品にもよく見られる家紋に関連し、オリジナルの型と折り紙を使って紋切り遊びを楽しみながら、伊達家の家紋をつくってもらおうイベント。展覧会の合間となる夏・秋・冬の常設展期間にもものづくり体験を楽しんでもらえるように今年度から複数期間にイベントを設定した。
		

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため、図書などの二次資料で提供している。また、歴史的分野の生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の要素であり、当センターを実践の場と位置付けている。

更に、利用者のニーズにも対応できるよう運営している。ミュージアムアシスタント2人（うち司書1人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表11参照）。

また、近年恒常的に抱える書架スペースの狭隘化問題に対応するため、蔵書の整理や配架内容の見直しを行った。

提供資料

1. 図書資料

図書は自由閲覧とし、センター内書架に配している蔵書以外にも要望により閲覧に供しているが、全て貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。今年度の受入図書は1,530冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は82,910冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は6,172冊である。

また、センター内の企画として、特別展・企画展に関連した特設図書コーナーを設けている。それに加え、常設展示との関連コーナーや、テーマを決めておすすめ図書を紹介するミニコーナーも設置した。

さらに、「夏休み自由山研究サポートプロジェクト」の一環として、仙台の歴史や文化に関する本を紹介する「調べ学習コーナー」を設置した。

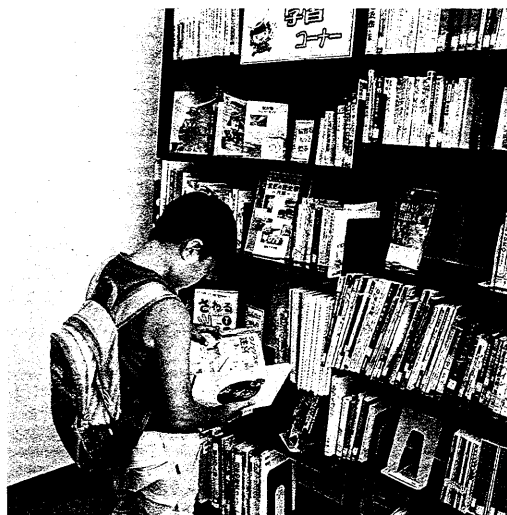
特設図書コーナーは今年度8回設置し、設置冊数は延べ395冊であった。

2. 収蔵資料閲覧カード

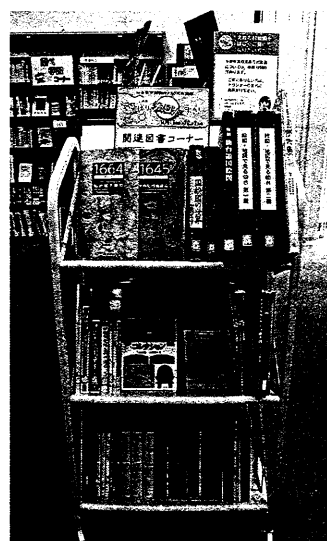
伊達家文書を中心に、絵巻物・浮世絵等の写真を添付したカードを整冊し、開架書架に配している。



特別展「いつだって猫展」関連図書コーナー



「調べ学習コーナー」利用の様子



企画展「やっぱり絵図がすき！」関連図書コーナー

3. マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。マイクロリーダープリンター1台を設置し、有料（申込制）で複写プリントのサービスを行っている（利用件数は表11参照）。

閲覧可能なフィルムの資料は、伊達治家記録や三原良吉コレクション（一部）などである。

4. 映像資料

申込制の利用とし、館内で行った講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

5. 周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示・行事の情報、また全国の博物館・美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

6. デジタルデータの活用

総合展示室（5台）に設置された来館者用情報提供システムと同様のものが1台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品や関係施設を検索しやすくするため、キーワード検索機能を備えている。なお、プレイミュージアムにも同じ機能を持つ端末を1台設置している。

今年度のアクセス数は、総合展示室36,404件、プレイミュージアム3,475件、当センターでは933件であった。

表11 令和元年度情報資料センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	335	588	423	528	941	337	460	508	282	—	—	—	4,402
相談質問	14	27	30	42	52	18	35	36	24	11	2	12	303
外線問合せ	340	364	254	280	271	201	290	247	156	157	67	196	2,823
映像利用	利用者	0	0	0	1	0	0	1	0	1	—	—	3
	利用(件)	0	0	0	1	0	0	3	0	1	—	—	5
図書複写利用	利用者	27	39	22	64	117	39	46	65	31	—	—	450
	複写(枚)	207	411	264	598	2,178	728	897	673	493	—	—	6,449
マイクロフィルム利用	利用者	4	0	2	1	4	1	4	0	6	—	—	22
	複写(枚)	411	0	30	17	58	3	131	0	178	—	—	828
画像提供装置利用者数 (情報資料センター内)	4	16	8	21	43	3	6	12	9	—	—	—	122
収蔵資料検索アクセス数 (情報資料センター)	53	96	98	145	333	46	49	66	47	—	—	—	933

※ 令和元年12月28日～令和2年3月31日まで館内設備改修工事のため休館（外線問合せは継続）

学校教育との連携

1. 学校の博物館利用状況

表12から分かるように、令和元年度の学校の博物館の総利用状況は467件・11,829人（前年度比件数59件減・1,465人減）であった。右の概況を見ると企画展・特別展を目的とする学校来館が前年度と比べて減少していることや、令和元年度は館内工事による臨時休館（令和元年12月28日から令和2年3月31日まで）があったこともあり、前年度より利用件数、来館人数ともに減少している。

市内学校の利用状況は116件・3,935人（前年度比25件減・1,311人減）であった。市内の小学校の来館件数は年間を通して39件であり、市内公立小学校（120校）の約32%にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して12件であり、市内公立中学校（64校）の約18%にあたる。平成27年12月の仙台市地下鉄東西線の開業により、交通手段として地下鉄を利用する場合も増えてきており、今後も市内の小・中学校の学習利用を更に促進していきたい。

市外学校の来館件数は351件・7,894人（前年度比34件減・154人減）であった。特に4月から6月にかけて隣県の小・中学校の利用が多い。

博物館来館時の学習形態を見ると、児童・生徒がグループごとに学習計画を立て、各施設等を見学する学習形態が多い。仙台市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間に位置づけ、グループで

の利用ではなく児童・生徒がまとまって入館し、博物館の学習プログラム（講話、体験等）を利用する学校も少なくない。

表13 来館児童生徒数（人）

	H29	H30	R 1
小学校	4,814	6,148	4,866
中学校	5,722	5,137	5,226
高校・大学等	1,956	2,009	1,737
合計者数	12,492	13,294	11,829

令和元年度 学校における博物館利用状況

（上段：令和元年度 下段：平成30年度 単位：件・人）

表14 概況

利用数	内 訳		件 数		人 数	
	市 内	市 外	件 数	人 数	件 数	人 数
利用数	内		116	3,935		
	外		141	5,246		
	合 計		351	7,894		
	合 計		467	11,829		
学習形態数	一 斉		172			
	グ ル ー プ		191			
	合 計		295			
	合 計		335			
利用目的数	常 設 展		467	526		
	企 画 展		343	8,366		
	特 別 展		288	5,836		
	合 計		85	2,414		
	合 計		154	4,341		
利用目的数	特 別 展		53	1,049		
	合 計		90	3,117		
	合 計		481	11,829		
	合 計		532	13,294		

※ 複数の利用目的があった学校があるため、「利用件数」計と「利用目的件数」計は一致しない。

表12 月別状況（上段：令和元年度 下段：平成30年度 単位：件・人）

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
仙台市内	小	2	132	3	135	6	368	2	202	0	0	2	109	4	249	13	680	7	531	0	0	0	0	0	0	0	0	39	2,406
		2	114	3	135	6	374	1	55	1	64	5	302	9	572	24	1,284	7	411	1	59	3	124	0	0	0	0	62	3,494
	中	0	0	4	143	1	11	0	0	1	35	4	18	1	37	1	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	291
		0	0	2	58	1	16	0	0	0	0	2	56	2	20	8	232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	382
	高	1	17	2	11	0	0	0	0	1	2	0	0	2	31	1	10	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	8	78
		2	77	0	0	0	0	1	20	5	80	1	14	0	0	5	77	1	11	1	13	2	83	2	96	20	471		
	大	1	11	7	70	8	160	6	87	1	10	2	62	4	57	6	140	3	46	0	0	0	0	0	0	0	0	38	643
		2	12	3	72	4	92	5	152	0	0	1	11	4	104	10	267	4	58	0	0	0	0	0	0	0	0	33	768
	他	0	0	3	32	2	36	5	31	4	70	2	319	0	0	1	9	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	19	517
		1	30	1	4	2	11	2	14	1	35	0	0	1	12	1	1	0	0	0	0	0	1	16	1	8	11	131	
小計	4	160	19	391	17	575	13	320	7	117	10	508	11	374	22	886	13	604	0	0	0	0	0	0	0	0	116	3,935	
	7	233	9	269	13	493	9	241	7	179	9	383	16	708	48	1,861	12	480	2	72	6	223	3	104	141	5,246			
仙台市外	小	2	8	13	87	94	1,259	9	213	1	4	23	329	8	189	6	247	1	124	0	0	0	0	0	0	0	0	157	2,460
		4	67	12	136	113	1,256	7	85	3	19	25	334	10	201	8	418	1	32	1	95	0	0	1	11	185	2,654		
	中	48	1,467	75	2,229	11	285	8	351	5	142	9	120	9	204	8	137	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	173	4,935
		47	1,244	84	2,463	6	215	11	188	3	145	7	209	11	190	5	93	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	175	4,755
	高	1	216	3	58	0	0	0	0	0	0	0	0	1	17	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	307
		1	273	1	11	1	3	2	38	2	12	0	0	1	22	3	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	397
	大	0	0	0	0	1	18	1	15	1	8	1	23	0	0	0	0	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	5	79
		0	0	0	0	0	0	1	71	3	30	2	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	1	7	8	166	
	他	1	4	1	9	0	0	1	3	3	61	2	25	1	6	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	113
		1	2	0	0	0	0	0	0	1	20	2	13	1	34	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	76
小計	52	1,695	92	2,383	106	1,562	19	582	10	215	35	497	19	416	16	405	2	139	0	0	0	0	0	0	0	0	351	7,894	
	53	1,586	97	2,610	120	1,474	21	382	12	226	36	600	23	447	17	556	2	40	1	95	1	14	2	18	385	8,048			
合計	56	1,855	111	2,774	123	2,137	32	902	17	332	45	1,005	30	790	38	1,291	15	743	0	0	0	0	0	0	0	0	467	11,829	
	60	1,819	106	2,879	133	1,967	30	623	19	405	45	983	39	1,155	65	2,417	14	520	3	167	7	237	5	122	526	13,294			

※1 館内工事により令和元年12月28日～令和2年3月31日までの期間は休館。
 ※2 人数は、園児・児童・生徒・学生の数である。（引率者の数は除外してある。）
 ※3 仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
 ※4 仙台市外は、来館者数（当日申込）から作成した。
 ※5 大学と高等専門学校は、平成27年度まで「他」の枠組みで集計していたが、平成28年度より「大学等」の枠を設けて別に集計を行った。
 ※6 他は、小中一貫校、幼稚園、特別支援学校、院内学級、児童相談所、社のひろば、放課後等デイサービス事業所等とした。

2. 学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

(1) ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。教員対象のセミナーであるが、平成26年度から博物館ボランティアの参加も可能としている。

・特別展

「いつだって猫展」 参加者：34人

日時：平成31年4月21日(日) 10:00～11:30

・企画展

「戦国の伊達氏ー植宗から政宗へ」参加者：32人

日時：令和元年7月13日(上) 10:00～11:30

・企画展

「やっぱり絵図が好き！」 参加者：16人

日時：令和元年10月12日(土) 10:00～11:30

(2) 博物館活用研修会

日時：令和元年8月2日(金) 9:45～16:30

参加者：教職員19人

社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、「蒔絵であそぼう」の体験、博物館活用のヒントになるような研修の場を提供した。

また、学芸員による企画展「戦国の伊達氏ー植宗から政宗へ」の解説を行い、博物館見学への意識付けを図った。

(3) 学校・各種教育機関との連携研修

以下のように学校や教育機関と連携し、研修会を開催した。主に博物館指導主事、学芸員が講師となり講座や体験実習を行った。各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・社会教育施設連携研修

日時：令和元年7月31日(水) 9:00～12:00

内容：講義・体験

「博物館学習の具体例と活用について」

「仙台城跡を活用した体験学習について」

参加者：市内小・中学校教諭5人

・小中学校図工・美術科研修

日時：令和元年7月30日(火) 9:30～16:30

内容：講義・実技

「図工・美術科における博物館の活用」等

参加者：市内小・中学校教諭11人

・社会科研修(市中学校教育社会科研究会と共催)

日時：令和元年9月26日(木) 14:00～16:45

内容：講話「博物館資料を活用した授業づくり」

参加者：市内教諭約150人

・県小中学校社会科研修会

日時：令和元年10月17日(木) 9:50～16:10

内容：講話「博物館を活用した授業づくり」

参加者：県内小中学校教諭37人

4. 第51回仙台市中学校生徒地図作品展

期間：令和元年11月26日(火)～12月1日(日)

会場：ギャラリー

観覧者：405人

〈第51回仙台市中学校生徒地図作品展表彰式〉

日時：令和元年11月29日(金) 14:30～15:30

参加者：各賞受賞者24人、保護者、引率教員

会場：ホール

仙台市中学校社会科部会が主催する、仙台市中学校生徒地図作品展をギャラリーを会場として開催した。市内中学生が作成した「主題図」「土地利用図」「高度分布図」「地図模型」全186点が展示され、企画展とも関連して展示を見た後に足を運ぶ来館者の姿も見られた。表彰式では「仙台市博物館賞」を受賞者3人に対して賞状を授与した。

5. 展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応した。特にスタディシートを利用しながら、分からないところをボランティアに質問するという利用の仕方が多く見られた。見学の際にボランティアの対応で、疑問を解決することができている。

6. 職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場体験を6校、16人を受け入れた。いずれも歴史資料の取扱い体験、館内学習の補助、接客対応等、市外の1校は1日、市内の5校は3日間の体験プログラムを通して博物館の仕事について学んだ。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

7. 博物館教材の貸出

令和元年度の博物館教材の貸出件数は、7件（11点）であった。最も件数の多かった貸出教材は「梁山公行列図巻」（5件）で、他には慶長遣欧使節関係資料に関するパネル資料等の貸出があった。

8. 館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるように、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

館内講師については、特に小・中学校で、社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼では、特別展・企画展の展示解説のほか、文化財保護や博物館の概要や活用といった内容の希望が多い。

また図工・美術科の体験プログラムを利用する学校としては小学校が多く、特別支援学校や福祉施設等の利用も増えてきている。「土人形って何だろう」では、絵付けを楽しんだ後に、展示室で堤人形などの表情をじっくり見学する様子が見られた。

館外講師については、件数は少ないが主に小学校で出前授業を行った。図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」では、学年を問わず手軽に体験できることから、好評を得ている。

表15 学習プログラム一覧

	プログラム名	内容
社会科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして堤人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞やミニ屏風の製作をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

表16は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）

表16 講師派遣一覧（学校関係）

講師派遣（館内・館外）	件数※	対象人数※
館内講師	76件	3,338人
（内訳）○特別展・企画展の解説	11件	166人
○社会科プログラム	33件	2,120人
○図工・美術科プログラム	20件	750人
○その他の講話・講義	16件	421人
館外講師	11件	1,274人
（内訳）○小学校（出前授業）	9件	1,090人
○市内大学	2件	184人
合計	87件	4,612人

※1校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

9. 博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。令和元年度は13人の実習生を受け入れた。実習日程については2グループに分け、前期、後期それぞれ5日間（合同実習1日、グループ別実習4日）で、歴史・美術に関する講話及び実技を中心に実習した。

合同実習 令和元年8月9日(金)9:00~16:00

前期実習 令和元年8月14日(水)~17日(土)

後期実習 8月21日(水)~24日(土)

※前期、後期ともに時間は9:00から16:00まで。

10. キャンパスメンバーズ制度

平成25年4月1日から開始したキャンパスメンバーズ制度の加入校は、令和元年度3月現在で18校となった。キャンパスメンバーズ加入校との連携事業としては、今年度で3年目となる館内イベントへの学生サポーターの活用のほか、東北福祉大学と行っている、教員免許の取得を目指す大学生を対象とした博物館活用研修や、平成28年度から開始した東北工業大学とのまちなか博物館講座（詳しくは「講座・イベント」の頁を参照）がある。今後も加入校と話し合いながら更に連携を深めていきたい。

・博物館活用研修（大学生対象）

日時：令和元年9月28日(土)10:30~14:00

対象：東北福祉大学 教育学部教育学科

中等教育専攻1年生 36人

内容：講話「社会科における博物館の活用」

講話「ワークシートの作り方」など

令和元年度 加入校一覧（五十音順）

尚綱学院大学／聖和学園短期大学／仙台高等専門学校／仙台白百合女子大学／仙台青葉学院短期大学／東北医科薬科大学／東北学院大学／東北工業大学／東北生活文化大学／東北生活文化大学短期大学部／東北大学／東北福祉大学／東北文化学園専門学校／東北文化学園大学／放送大学 宮城学習センター／宮城学院女子大学／宮城教育大学／宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。

参加機関

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館／仙台市科学館／仙台商みの杜水族館／せんだい3.11メモリアル交流館／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／仙台市富沢遺跡保存館／仙台市博物館／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館／東北大学総合学術博物館／東北大学史料館／東北大学植物園／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション／仙台市教育委員会（生涯学習部）

1. ミュージアムユニバース

～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催日時：令和元年12月14日(土)13:00~17:00

15日(日)10:00~16:00

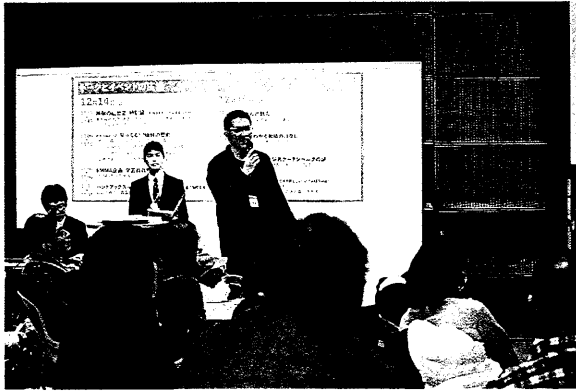
参加者数：1,460人（2日間）

会場：せんだいメディアテーク1階

オープンスクエア

ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、SMMA参加館が一堂に集まり実施したイベント。参加館の職員によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などによって味わうことができる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が集まった「展示の広場」、各館のオリジナルグッズを集めた「ミュージアムグッズショップ」を展開した。

「トークとイベントの広場」では、歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）と博物館の共同企画によるクイズ「知ってる!? 仙台の歴史」を実施した。博物館を含む歴ネット各施設の職員が、施設や展示に関するクイズを出題し、仙台の歴史についてクイズを織り交ぜながら紹介した。



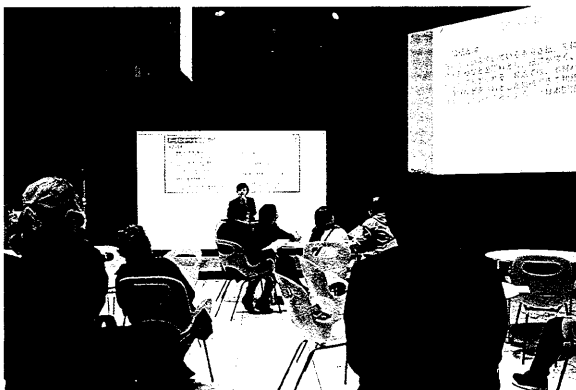
クイズ「知ってる!?仙台の歴史」

SMMA企画のトークイベント「学芸員質問箱」では、SMMA参加館の職員が一般の方々から寄せられた質問にその場で回答する趣向で行われた。当館の学芸員も参加し、仙台の歴史という観点から質問に答えた。



学芸員質問箱

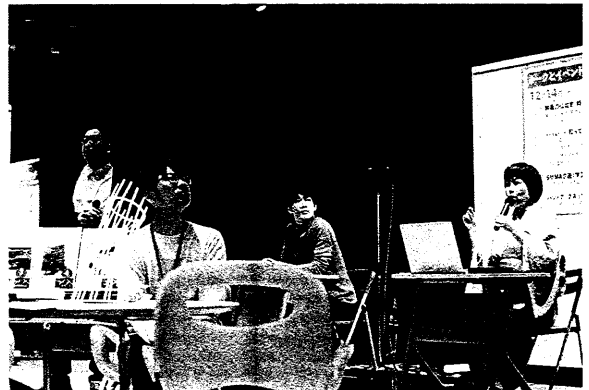
また、トークイベント「さわってわかる和紙のはなし」では、当館の学芸員が講師を務め、博物館の展示資料に使われている和紙の種類や素材、作り方などについて紹介を行った。



「さわってわかる和紙のはなし」

「ミュゼバトル7～わたしのイチ押しミュージアムはコレよ!～」では、当館学芸員が他館学芸員と

共に、世界中の様々な博物館の中からおすすめの博物館を紹介し合った。



「ミュゼバトル7～わたしのイチ押しミュージアムはコレよ!～」



「ミュゼバトル7～わたしのイチ押しミュージアムはコレよ!～」

「展示の広場」では、上述の「さわってわかる和紙のはなし」と関連し、展示資料に使われている和紙の種類や素材について、実際に和紙にさわることでできる展示内容とした。



展示の広場

2. SMMA各館の交流

SMMA参加館の職員を対象とした研修会は、ミュージアムの分野を超えて日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いて講習会等を実施するものである。

平成28・29・30年度に引き続き令和元年度も博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

(1) 第1回SMMA研修会

日 時：令和元年8月29日(木) 15:30～17:00
会 場：仙台市博物館 講習室
内 容：「地域のミュージアムがつながること
—SMMAのこれまでとこれから—」
講 師：佐藤 泰 氏 (せんだいメディアテーク)
参加者：29人

(2) 第2回SMMA研修会

日時：令和2年1月23日(木) 14:00～16:30
会場：仙台市科学館2階特別展示室(夕日の間)
および4階展示室
内容：「ミュージアムで使える英会話研修会」
講師：Nishant Annu (ニシャント・アンヌ) 氏
※他、英語補助員8人
参加者：42人

この他、実行委員会、幹事会、運営会議や交流会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため、市内8つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれている。平成30年度より史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が加わり9館となった。令和元年度、歴ネットは発足10周年を迎えた。

参加施設

地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／仙台城見聞館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

1. 連携事業の実施

(1) 歴ネットクイズラリー

※SMMAクロスイベントとして実施

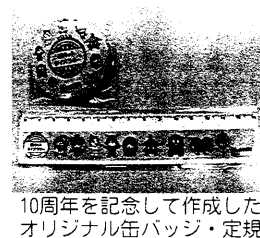
令和元年9月1日から令和2年1月31日まで開催した。各館のオリジナルクイズに答え各館を巡り、参加者が各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができる。4館達成者には歴ネットクリアブックを、8館以上達成者には歴ネット各館オリジナルグッズ詰め合わせと、歴ネット発足10周年を記念して作成した缶バッジ・定規をプレゼントした。参加者にとってクイズラリーは、他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に、展示物を深く観察したり、親子で話し合ったり、クイズを楽しんでいる様子が見られた。

期間：令和元年9月1日
～令和2年1月31日

台紙配布数：9,070枚

4館達成者：230人

8館以上達成者：69人



(2) SMMAミュージアムユニバースへの参加

平成27年度からこのイベントに歴ネットとして参加している。令和元年度は「トークとイベントの広場」と「展示の広場」に参加し、特に、クイズ&トーク「知ってる!?仙台の歴史」は、親子で参加する参加者が多く、賑やかで楽しいものになった。イベントを通じて、ミュージアムへの親しみを持ってもらうことができたと思われる。

(3) 仙台の伝統門松復元事業

※SMMAクロスイベントとして実施

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、歴ネット7館で展示した。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。昨年度に引き続き、門松に取り付けるしめ縄を担当者が中心となって作成した。

展示期間：令和元年12月16日～令和2年2月11日

※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／

仙台文学館／仙台市戦災復興記念館／史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設

研 修

日 時：令和元年12月4日(水) 13:00～16:30

会 場：仙台市縄文の森広場 活動室及び工房

内 容：「しめ縄作り」

参加者：歴ネット職員、生涯学習課職員



研修「しめ縄作り」

2. 広報・その他

(1) 歴ネット会議

令和元年度は5回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

(2) 歴ネットシートの作成・配布

参加館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

○令和元年度シート配布数：約30,591枚

※仙台市博物館分・7種

(3) 連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近では学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、平成27年12月から開始した「仙台市博物館ツイッター」の運用も継続して行っており、館ホームページとSNSの両面からインターネット上の広報を実施している。

令和元年度は、本市の市制施行130周年の節目の年であり、これを記念する企画展「やっぱり絵図がすき！ー博物館で旅する仙台藩と城下町ー」に関する広報もツイッター等で積極的に行った。

1. 広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下2種類の印刷物を発行・配布した。PDFファイルによるホームページへの掲載も継続し、自由に閲覧できるようにしている。

(1) 博物館だより(隔月発行) No.191～195

225×420mm 四つ折り 観音開き

(2) 展覧会案内 2020年4月～2021年3月版

225×420mm 四つ折り 観音開き



広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

2. 広報資料発送及び記事校正依頼への対応

マスコミ等をはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのチラシ、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。令和元年度においても、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌・フリーペーパー等出版社など）約130社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、令和元年度は約180件となった。

3. 「国際センター駅」への広告掲出について

平成27年の仙台市地下鉄東西線開業により、JR仙台駅から博物館へのアクセス手段が地下鉄東西線中心となったため、東西線の開業時より当館の最寄駅である「国際センター駅」ホーム内に電照広告を掲出している。

駅の近隣施設である国際センターでは、学会等大規模な催しが頻繁に開催されていること、同じく近隣の青葉山交流広場や東北大学でも東西線の開通により多くの催しが行われているため、それらの利用者へのPR手段として、継続して掲出を行っている。

また、同駅内「インフォメーションコーナー」においても、コーナー管理者の協力を得て、展覧会チラシ・ポスター設置に加え、デジタルサイネージによる広告掲出を行った。

4. インターネット広報

(1) ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件の情報を閲覧できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

ホームページの情報更新は毎月5回を目安に随時行っており、令和元年度の当館ホームページのトッ

ページのアクセス数は、224,066件であった。

特別展・企画展会期中は例年どおりアクセス数が増加し、展覧会広報におけるインターネット上の情報提供が求められている。

(2) ツイッター

平成27年12月5日から運用を開始した「仙台市博物館公式ツイッター」では、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）の特徴である即時性・拡散性を活かし、特別展のイベント募集情報等を発信するほか、歴史や伊達政宗等に関心の高いフォロワーが多いため、展示中の資料紹介や歴史のこぼれ話などもツイートすることで博物館により興味をもってもらうためのPRを行っている。

フォロワー数は、令和元年度末時点で約3,900人となり、平成30年度末から約500人増加した。

今後も利用者の興味関心に訴える情報提供を積極的に行うなど、継続的なフォロワー獲得に努めている。



博物館ホームページ

刊行物・グッズ等

令和元年度は、下記のとおり3種の刊行物を発行した。(市史活用推進事業で作成された刊行物については、「5. 市史活用推進事業」参照)

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、令和元年度は、ミニクリアファイル(水玉模様陣羽織)、ジグソーパズル(奥州仙台城絵図)の製作を行った。

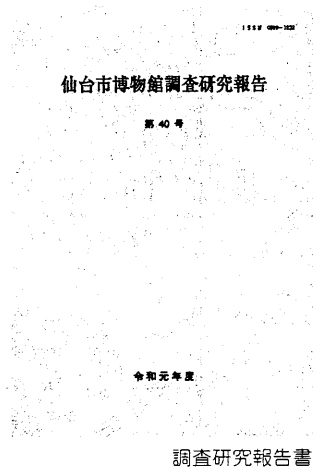
1. 刊行物

(1) 「仙台市博物館年報」第46号

令和元年6月30日発行 A4判 96頁

(2) 「仙台市博物館調査研究報告」第40号

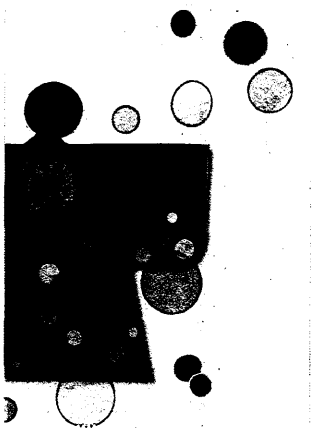
令和2年3月30日発行 B5判 98頁



2. オリジナルグッズ

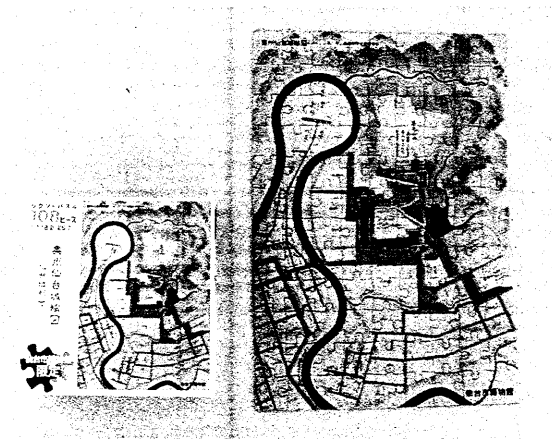
令和元年度の販売用製作は以下のとおり。

(1) ミニクリアファイル(200円)



ミニクリアファイル(水玉模様陣羽織)

(2) ジグソーパズル(1,200円)



ジグソーパズル(奥州仙台城地図)

4. 調査・研究

令和元年度『仙台市博物館調査研究報告』40号には、以下の論文を掲載した。(掲載順)

仙台祭絵の研究

浅野 秀剛

対象とした仙台祭絵とは、仙台東照宮祭礼時に出版された版画(明治期は同種のもの)をいう。一つの渡物(山鉦)を大画面に大きく描いた大絵図と、一町の渡物を多数描いた小絵図に大別される。大絵図は三種に分類され、それぞれ大きさと制作年代が異なり、十九世紀初期以前の第一類は五十六図、それ以降幕末までの第二類は百十四図、明治期の第三類は十八図確認される。渡物名は画中に記しているが、典拠が不明のものも多く、分析は容易でない。江戸絵の影響もあるが、仙台の地域性を反映したものの、独創的なものも少なくない。また、同一主題の継承や、同一店での版木の流用も多かった。ともあれ、江戸時代に出された祭礼関係の版画は多いが、百年もの間、一つの山鉦を描いた大々判の図がこれほど多く伝存している例は他にないことを特記したい。

資料紹介「鷹匠半澤家資料」について

菅原 美咲

平成30年に仙台市博物館に寄贈された「鷹匠半澤家資料」の概要について紹介し、略目録を掲載した。また、同資料群に含まれている伊達政宗文書6通や近世初期の鷹関係業務に関わる資料、および家譜等70点の資料について翻刻を掲載した。

伊達政宗の「捻」

明石 治郎

天正期の戦国大名伊達政宗の書状の形態は、斐紙の料紙を多用し、本紙に封のない縦紙・堅切紙が中心であったが、豊臣政権との接触、豊臣大名化によって大きく変化する。料紙が楮紙に限られるようになり、折紙が多用されるようになるが、それに勝って、本紙にウハ書・封のある縦紙書状の多用がある。

この本紙にウハ書・封のある縦紙書状の封式には捻封と結封の両様があるが、従来は捻封の方をもって「捻(撚)」とされてきた。しかし、『本光国師日

記』の記述から、両様ともに「捻」と考え、その伊達政宗書状における有り様を述べたものである。

佐久間洞巖について

寺澤 慎吾

本稿では、仙台藩で絵師、史官などとして活躍した佐久間洞巖(1653~1736)について、先行研究によりながら、その伝記と、新井白石や荻生徂徠ら儒学者との交友関係、主に致仕後に行われた作画活動等を紹介した。また、洞巖の原図をもとに版行されたという「陸奥国塩竈松島図」(享保13年刊)の重要性を確認した。

◇令和2年度研究テーマ◇

令和2年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

近世の伊達家と仙台藩の研究	菅原 美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究	寺澤 慎吾
古代中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究	佐々木 徹
仏教彫刻・工芸史の研究	酒井昌一郎
日本中近世絵画史の研究	樋口 智之
中世・近世の絵画および東北の工芸について	小田嶋なつみ
中世・近世の領主権力の研究	黒田 風花
社会科における博物館の活用について	村上 聡
図画工作科・美術科における博物館の活用について	飯淵 泉

表17 仙台市博物館調査研究報告一覧

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	1. 仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と東北評論から－ 2. 仙台北木丸の障壁画をめぐって 3. 大槻磐溪書翰集について 4. 伊達政宗の印章・印影について 5. 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鶴飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年3月 完売
No.2	1. 養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 2. 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 3. 伊達家旧蔵の印章について 4. (史料紹介)宮城県の自由民権運動に関する新史料 5. 名取市熊野神社蔵 木造狛犬調査報告	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年3月 完売
No.3	1. 角懸鹿谷の美術 2. 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 3. 大槻俊斎の書状について 4. 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鶴飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年3月 完売
No.4	1. 仙台藩寛永期検地帳について－「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析 2. 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 3. 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 4. 旧支倉家関係資料について	鶴飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年3月 完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具4点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子兒子・鈴木治平	昭和60年3月 完売
No.6	仙台北城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年3月(平成10年3月増刷) 完売
No.7	1. 円山応挙試論 2. 伊達の黒箱文書について 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(一) 4. 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鶴飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年3月 完売
No.8	1. ローマ、ボルゲーゼ宮「支倉常長」像の作者について 2. 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 3. 「支倉常長追放文書」の年代について 4. 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ 5. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(二)	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年3月 完売
No.9	1. 新博物館への一考察－反省と展望－ 2. 学校教育における博物館利用学習 3. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(三) 4. 仙台藩関係の婚礼調度について 5. 慈光明院蔵 種子華鬘について 6. 柴田町金谷貝塚出土の櫛状木製品 7. 支倉常長の法土使節団に関する諸問題 8. 伊達政宗の「鉛筆」調査報告 I～V	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 高橋あけみ 田中則和 P.コッラディーニ・芳野明 訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年3月 完売
No.10	1. 東北地方における山伏笈 2. 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 3. 白雲の研究－未紹介の貞景帖を中心に－ 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(四) 5. 館蔵考古資料の紹介 I 6. トチの実を食す	高橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成2年3月 完売
No.11	1. 「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について 2. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(五) 3. 館蔵考古資料の紹介 II－佐藤半兵衛コレクションに見る中国占銭－ 4. 宮城県における古代火山灰の年代観について	高橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成3年3月 920円
No.12	1. 戦国期奥羽の在家をめぐって 2. 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 3. 朱黻漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(六) 5. 画像情報提供装置の導入について 6. 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 7. 仙台北城ニノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成4年3月 完売
No.13	1. 東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 2. 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 3. 財団法人斎藤報恩会所蔵「遠藤山城文書」について 4. もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－(七)	K.H.フィオーレ・小関史絵 訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成5年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.14	1. 観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 2. 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 3. 東京国立博物館所蔵の「小袖函」(伊達家旧蔵) などについて 4. 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市民権証書の修理について 5. 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 高橋あけみ 荒井聡	平成6年3月 完売
No.15	1. 『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 2. 『支倉六右衛門遺物』と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 3. 観瀾閣宝物目録について(二)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺) 4. 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 5. 『松島風上記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 6. 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 7. 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成7年3月 完売
No.16	1. 「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 2. 観瀾閣宝物目録について(三)－仙台伊達家における什器保存の試み(補遺二) 3. 「古川状」について 4. 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 5. 伊達政宗の使節団(1614年)	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 J.C.R.フラード・ 今江克彦 訳	平成8年3月 920円
No.17	1. 博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 2. 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 3. 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「平日記」の再検討－ 4. 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 5. 宮城県仙台市青山二丁目B遺跡出土の石器について	布施勝久 高橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成9年3月 完売
No.18	1. 円爾弁丹最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 2. 仙台藩の小人について 3. 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年3月 920円
No.19	1. 伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 2. 資料紹介 戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 4. 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野 拓大・磯目隆夫・ 篠遠喜彦	平成11年3月 完売
No.20	1. 新収資料・因分家資料について 2. 伊達家文書の形成過程(一) 3. 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 4. 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 5. 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・ 齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年3月 920円
No.21	1. 百富士画をめぐる－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 2. 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 3. 資料紹介 仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 高橋あけみ 羽下徳彦	平成13年3月 920円
No.22	1. 仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 2. 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 3. 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について 4. ローマ教皇パウロ5世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 5. 佐藤家本について(補遺)	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 高橋あけみ	平成14年3月 920円
No.23	1. 陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 2. 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 3. 調査報告 大崎八幡宮石の間天井画について 4. 仙台市博物館における広報活動について 5. 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 高橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年3月 920円
No.24	1. 仙台両壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ 2. もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年3月 920円
No.25	1. 絵師徳心・貞綱の肖像画制作について－瑞巖寺僧関係作品を中心に－ 2. 伊達氏における印判状の成立 3. 資料紹介 佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年3月 完売
No.26	1. ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三糊について－黒棚(ベネチア東洋美術館蔵)・厨子棚(鍋島報効会蔵)・書棚(仙台市博物館蔵)－ 2. 伊達家文書の形成過程(二) 3. 資料紹介 文化三年御屏風本帳附渡帳 4. 資料紹介 尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	高橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 船渡崇	平成18年3月 完売

	所 収 タ イ ト ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.27	1. 陸奥国分寺の仏像―主に表面仕上げに関するデータから― 2. 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介―10周年を迎えて― 3. 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年3月 920円
No.28	1. 支倉常長像の模写と写真―大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」 説の検証を兼ねて― 2. 柳宗悦と東北―昭和九年～昭和十五年― 3. 資料紹介 御証文方御本牒手控―仙台藩における資料管理の一側面―	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年3月 完売
No.29	1. 失われたみちのく図巻―谷元日・大野文泉の東北地方写生図をめ ぐって― 2. 伊達政宗公三百年祭について	内山 淳一 水野 沙織	平成21年3月 920円
No.30	1. 史料紹介「領内境日記」―伊達吉村の軍制整備との関係から― 2. 小田原参陣における伊達領の警固体制 3. 十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木 三男 酒井昌一郎	平成22年3月 920円
No.31	1. 奥の正法寺と偽編旨 2. 資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） 3. 新「スタディシート」の一年―その構成と活用方法を中心に― 4. 仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年3月 920円
No.32 ・ 33 合併号	1. 「御奥方格式」について―美術工芸的アプローチ― 2. 安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 3. 「葦名鞠負辰辰記事」に関する一考察 4. 花嶽神社安置の不動明王二童子像について 5. 蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」―特に著保内野遺跡出土国 宝「上偶」との比較から―	高橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍 千春・西脇対名 夫	平成25年3月 完売
No.34	1. 屏風のなかの動物たち―伊藤若沖とその周辺作品をめぐる― 2. 資料紹介―「伊達の黒箱」文書について（二）― 3. 慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派 遺説」について―	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年3月 920円
No.35	1. 中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について 2. 登米市懐古館所蔵資料 伊達政宗筆 占歌「咲時ハ」（一幅）につ いて―その成立事情と伝来の経緯― 3. 史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（上）	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年3月 920円
No.36	1. 伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 2. 「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 3. 戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について 4. 藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（下）	明石治郎 泉田邦彦・星川 礼応 三好俊文 松田清	平成28年3月 920円
No.37	1. 支倉常長の将来品「合羽と前裳」再考 2. 狩野古信筆「村子姫霊夢図」について ―制作背景の考察と絵師・狩野古信の事績を中心に― 3. 資料紹介 仙台藩士猪狩家伝来の戦国・江戸初期文書 4. 資料紹介 「小松家記録」 ―仙台藩御織物師の家の江戸から昭和の記録―	的場節子 寺澤慎吾 菅野正道 鈴木かおる	平成29年3月 完売
No.38	1. 秋田蘭画再考―実景との関わりを中心に― 2. 仙台藩の贈答―江戸中・後期を中心に― 3. 伊達政宗関係文書にみえる切封の折紙書状について 4. 資料紹介 戦国期伊達氏関連未紹介資料	内山淳一 菅原美咲 明石治郎 菅野正道	平成30年3月 1,020円
No.39	1. 光明寺蔵奈良絵本「いつくしま」について 2. 戦国期南奥羽の流通と交通 3. 戦国期伊達氏家臣についての一考察 4. 市内小学生における仙台市博物館の活用現況と展望 ―児童の意識調査と博物館職員への聞き取り調査を通して―	小田嶋なつみ 長澤伸樹 黒田風花 大久保裕隆・高 橋龍馬・永山達 郎・村田智朗・ 上井謙治	平成31年3月 920円
No.40	1. 仙台祭絵の研究 2. 資料紹介 「鷹匠半澤家資料」について 3. 伊達政宗の「捻」 4. 佐久間洞巖について	浅野秀剛 菅原美咲 明石治郎 寺澤慎吾	令和2年3月 1,020円

（価格および内容については令和2年4月1日現在、以下続刊）

5. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成2年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編9巻、資料編13巻、特別編9巻、年表・索引1巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年2月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了し、事務局として実務を担ってきた市史編さん室は廃止となった。

平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

「仙台市史活用推進事業」の5年目となる平成31年・令和元年度の業務としては、前年度から引き続いて、市民向けの普及書作成や他機関との連携を含めた普及事業の開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。

1. 講座等

(1) 仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年2回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。令和元年度について、第38回は太白区中央市民センターとの共催で、第39回は下記の通り実施した。

①第38回仙台市史講座

テーマ：「長町・中田の歴史」

講師：千葉正樹氏

(尚絅学院大学総合人間科学系教授)

鶴飼幸子氏(元仙台市史編さん室長)

日時：令和元年6月15日(土) 13:30~16:00

会場：太白区中央市民センター 3階大会議室

受講者：81人

②第39回仙台市史講座

テーマ：「仙台市域の広がり地域と地域の絆」

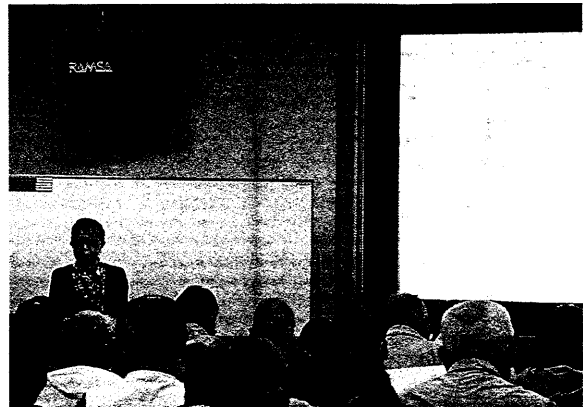
講師：仁昌寺正一氏(東北学院大学経済学部教授)

佐藤雅也氏(仙台市歴史民俗資料館事務長)

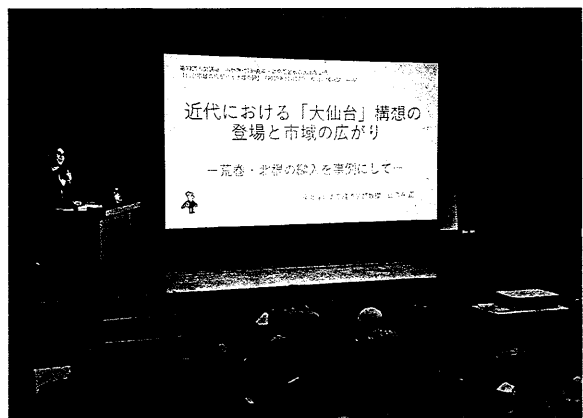
日時：令和元年11月17日(日) 13:30~16:00

会場：博物館ホール

受講者：87人



市史講座の開催状況(第38回)



市史講座の開催状況(第39回)

(2) くずし字講座

古文書やくずし字の読解に関する初心者向け講座を平成24年度から東北大学東北アジア研究センター・上野歴史資料学研究部門との共催で実施してきた。令和元年度は東北大学を会場に、①江戸時代の行政文書と、②江戸時代の往来物を題材として、各連続2回(全4週)の講座を実施した。

○「はじめての『くずし字』」

日時：①令和2年1月9日(木)、16日(木)

②令和2年1月23日(木)、30日(木)

(連続2回 毎回13:00~14:30)

会場：東北大学川内北キャンパス内講義室

受講者：①43人、②57人

講師：①菅原美咲(当館学芸員)

②井上瑠菜氏(東北大学学術研究員)

(3) 図書館連携講座

平成27年度から仙台市図書館と連携し、各市民図書館を会場に実施している。令和元年度は、前期「いつだって猫に夢中!」、後期「絵地図と星のステキな関係」をテーマとした。

このうち前期は、江戸時代の猫ブームを紹介する歴史講話（博物館担当）と、関連図書・小説を紹介するブックトーク（図書館担当）を組み合わせる形で実施した。後期は、歴史と天文の視点から、絵地図の成り立ちについて、講師2名が対談形式で紹介する形で実施した。

①テーマ：「いつだって猫に夢中!」

講師：小田嶋なつみ（当館学芸員）

伊藤恒子氏（仙台市民図書館司書）

日時：令和元年5月31日（木）18：30～20：00

会場：せんだいメディアテーク

受講者：121人

②テーマ：「絵地図と星のステキな関係」

講師：小石川正弘氏

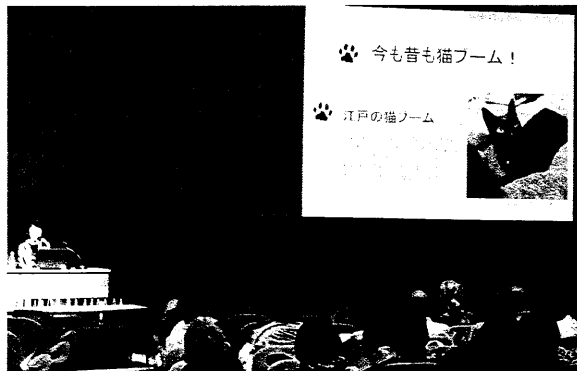
（天文家・仙台市民図書館嘱託）

水野沙織（当館学芸員）

日時：令和元年10月26日（土）13：30～15：00

会場：せんだいメディアテーク

受講者：140人



「いつだって猫に夢中!」の開催状況



「絵地図と星のステキな関係」の開催状況

2. 刊行物

前年度に引き続き、『市史せんだい』および『『仙台市史』活用資料集』を発行した。

(1) 『市史せんだい Vol.29』 1,000部発行

令和元年9月30日発行 A5判 128頁

論文

奥羽越列藩同盟における仙台藩士若生文十郎の周旋・応接・議事（栗原伸一郎）

研究ノート

仙台垂炭の遺香（伊達伸明）

史料紹介

伊達宗敦書状控（水野沙織）

史料紹介

伊達政宗文書・補遺（十三）

(2) 『『仙台市史』活用資料集vol.8 青葉区の歴史探し—東部—』 1,300部発行

令和2年2月29日発行 A4判 24頁



『市史せんだい Vol.29』



『『仙台市史』活用資料集vol.8 青葉区の歴史探し—東部—』

3. 広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には『仙台市史』の広報事業の一貫として平成21年から連載記事を掲載してきた。平成31年1月からは、古写真や絵画から往時の仙台の姿を紹介する「古写真や絵画で見る 仙台歴史散策」を連載し、学芸普及室および学芸企画室の職員が執筆を担当した。内容、執筆者は次の通り。

2019年（平成31年・令和元年）

- 1月号「芭蕉の辻・初売」（佐々木徹）
- 2月号「若林城（古城）の朝鮮梅」（寺澤慎吾）
- 3月号「仙台伊達家の雛調度」（高橋あけみ）
- 4月号「榴ヶ岡の花見」（小田嶋なつみ）
- 5月号「瑞鳳殿の遺品」（黒田風花）
- 6月号「北山一城下北縁の寺々」（明石治郎）
- 7月号「秋保温泉の風景」（倉橋真紀）
- 8月号「七夕の風景」（水野沙織）
- 9月号「東照宮祭礼」（水野沙織）
- 10月号「伊達政宗が詩歌を書き入れた「萩に鹿図」（樋口智之）
- 11月号「定禅寺と定禅寺通」（中武敏彦）
- 12月号「藩校 養賢堂」（佐々木徹）

2020年（令和2年）

- 1月号「仙台の正月飾り」（倉橋真紀）
- 2月号「初卯の日」（高橋あけみ）
- 3月号「上巳の節句と雛まつり」（鈴木かおる）

4. 調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、仙台市史編さん委員会から仙台市長あてに平成25年8月に提出された提言書で、事業終了後も市域に関連する歴史資料の調査や収集を継続的に実施することが要望されたことを受けて、仙台市史活用推進事業の中で継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や日録作成などを行っている。また、市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

(1) 主な調査先・資料群

仙台市／満興寺
宮城県／東北歴史博物館・登米市歴史博物館
山形県／永昌寺
東京都／長良川画廊東京乃木坂オフィス

(2) 学芸普及室受贈資料

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載
〔令和元年度〕
逸見順子／逸見英夫氏収集資料／1,024件

(3) 購入資料

日本図 2件

5. 資料保全・震災アーカイブ活動

平成30年度に引き続き、東日本大震災で被害を受けた歴史資料を対象に資料レスキュー活動（整理・保全等）を行い、整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を行っている。

また、当館が行ってきた資料レスキュー活動を紹介するパネルの展示を、館内では「市民防災の日」（6月12日）に合わせて行い、仙台市教育センターにおいては震災関連パネルの貸し出しの周知のため、教職員向けに授業での活用を目的とした展示も行っている。また、仙台国際センターで開催された「仙台防災未来フォーラム」にて、ブース出展（パネル展示および冊子「仙台市博物館の資料レスキュー活動」の紹介と希望者への配付）を行った。

○活動状況

令和元年

- ・6月4日（火）～6月23日（日）
パネル展「地震と仙台城」
（会場：博物館ギャラリー脇）
- ・7月29日（月）～8月26日（月）
パネル展「災害の記録」
（会場：仙台市教育センター）
- ・11月10日（日）
「仙台防災未来フォーラム」ブース出展
パネル展「東日本大震災と資料レスキュー活動」
冊子「仙台市博物館の資料レスキュー活動」配付
博物館ブース来場者195人、冊子配付75冊
（会場：仙台国際センター展示棟）

6. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア（三の丸会）」が展示解説をボランティアで行っている。平成9年に組織されたこの団体は令和元年で23年目を迎え、令和元年度の登録者は114人であった。ボランティア活動は活動班（各班10人～11人の12班編成）に分かれ、月に2回程度活動している。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭（三の丸跡）案内をしている。

会の運営や情報交換は月1回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年1回の総会で決定している。

また、ボランティアの任期については平成19年度より5年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、5年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが役員会等を通して了承された。また、平成29年度より5年以上活動をした退会者には登録・更新式において感謝状を贈呈している。

1. 新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に20人の応募があり、20人全員を採用した。その後以下のボランティア養成講座（2日間・10講座）を受講後、会員として登録された。他に、5年の任期を終えての再応募者を8人採用し、所属班の変更を行っている。



ボランティア養成講座

- ・1日目：博物館の概要（教育普及・プレイミュージアム）／ボランティア活動について／三の丸会の紹介／歴史部門の展示説明／美術部門の展示説明
- ・2日目：歴史部門展示の説明／美術部門の展示説明

※6月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

2. 解説活動

令和元年度の年間活動日数は232日、ボランティアのべ活動人数は1,949人であった。展示解説件数は11,726件、観覧者23,910人に対応した。小・中学生の見学への対応の他、市民センターなどの一般団体向けの解説依頼にも多数対応した。

また、三の丸会の発案により平成27年度から設置した二つのコースガイド「伊達政宗コース」が260件、556人、「支倉常長コース」は151件、353人に対応した。仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的でスタートした館庭案内は1日1回、4月から11月末日まで行い、実施日数が150日（中止59日）、545人を案内した。四季を通じて楽しめる三の丸館庭は、来館者にとって魅力的なエリアになっており、解説に力を入れている。

また予約による英語解説も受け付けており、海外からの来館者や留学生を始め、要望があった際には三の丸会英語部が中心となって対応した（8件113人）。常設展の展示解説の他、プレイミュージアムで日本の文化に触れてもらうなど、海外から来館者に好評を得ている。



英語部による英語解説

3. 博物館主催による主な研修

○ギャラリートーク（夏の展示）

日 時：6月26日（水）9：15～9：45

会 場：博物館展示室

講 師：寺澤慎吾、中武敏彦

○ギャラリートーク（秋・冬の展示）

日 時：9月25日（水）9：15～9：45

会 場：博物館展示室

講 師：水野沙織、黒田風花



ギャラリートーク

○接遇研修

※生涯学習課と共催

日 時：令和元年9月29日（日）13：30～15：30

会 場：博物館講習室

講 師：仙台市文化観光局誘客戦略推進課

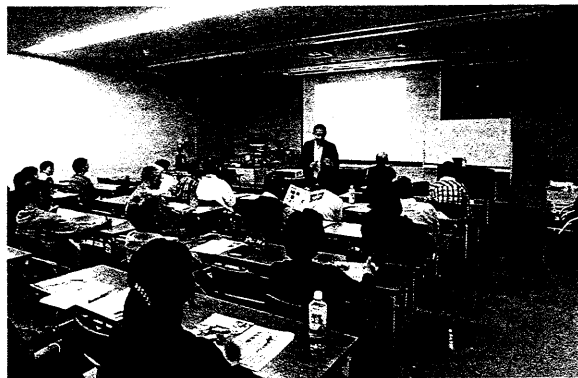
インバウンド推進室 主任 高坂真理子氏
株式会社ライフブリッジ

代表取締役 櫻井 亮太郎 氏

内 容：講話「仙台市におけるインバウンドの取組みについて」

講話「外国人来館者に対するボランティア接遇」

参加者：34人（博物館24人、科学館4人、天文台2人、地底の森ミュージアム2人、縄文の森広場2人）



接遇研修

4. ボランティアと博物館との懇談会

日 時：令和元年12月18日（水）15：00～16：10

場 所：博物館講習室

参加者：ボランティア24人、博物館職員9人

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を行った。館側からは令和2年度の主な展示内容についての説明等を行っている。ボランティアからは展示室を中心に、日頃の活動を通して気づいたことなどが出され、博物館職員と意見を交換することができた。

5. ボランティア新規会員との懇談会

日 時：令和元年10月27日（日）10：00～11：10

会 場：博物館講習室

参加者：新規ボランティア13人、三の丸会会長、博物館職員

新たに博物館ボランティアとなった会員と職員とで、活動の感想や意見の交流をすることで、今後の活動に役立ててもらおうと、平成28年度より開催することになった。日々の活動で困っていることや、ガイドのポイントなどについて、活発に意見交流が行われた。

6. 部会活動

ボランティアは活動班の他に、5つの部会のいずれかに属し活動している。

表18 三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

<三の丸会部会主催による主な研修>

○新規会員向け研修

- ・オリエンテーション

日 時：6月9日(日) 13:30~15:30

内 容：模擬ガイド(政宗コース、支倉コース、館庭案内)



新規会員向けオリエンテーション

・館外研修(全3回)

第1回：仙台城 6月22日(土)

第2回：瑞鳳殿 7月12日(金)

第3回：史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイド施設

7月29日(月)

○館外研修(ボランティア三の丸会研修旅行)

日 時：令和元年10月20日(日) 8:30~17:30

テーマ：伊達家ゆかりの地を訪ねて

参加者：ボランティア33人、館職員1人

講師：桑折町歴史案内人(ボランティア)

国見町歴史文化調査員 笠松金次氏

梁川文化財保存協会(ボランティア)

主な訪問先：旧伊達郡役所、伊達朝宗の墓、桑折

西山城跡、あつかし歴史館、阿津賀

志山防塁、梁川八幡神社、梁川城跡



三の丸会研修旅行①



三の丸会研修旅行②

○研修部主催・教養講座

日 時：令和元年12月22日(日) 10:00~11:00

会 場：博物館講習室

講 師：菅原美咲

内 容：講話「仙台藩治世制度について」

参加者：40人

7. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。会員は賛助会員（年会費1口 5,000円）・普通会員（年会費 3,000円）・学生会員（年会費 2,000円）からなる。令和元年度の普通会員数は412人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員で構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は11回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ積極的に活動を行った。各事業には友の会サポーターにも協力をいただいた。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー3回、日帰り研修会2回、古文書講読会1回に加え、本年度より見学セミナーと題した見学会を2回実施し、いずれも多くの方の参加を得ることができた。

表19 令和元年度 会員内訳

	性別	年代	人数	
			普通会員	学生会員
賛助会員			20	
普通 会 員	男 性	10代	0	231
		20代	2	
		30代	1	
		40代	14	
		50代	29	
		60代	69	
		70代	81	
		80代	24	
		90代	1	
		不明	10	
	女 性	10代	0	173
		20代	0	
		30代	11	
		40代	14	
		50代	28	
		60代	56	
		70代	41	
80代		13		
90代	0			
不明	10			
不 明			8	
学生会員			3	
計			435	

令和元年度友の会事業実績

1. 総会

4/22 博物館ホール 参加者88人

2. 事業

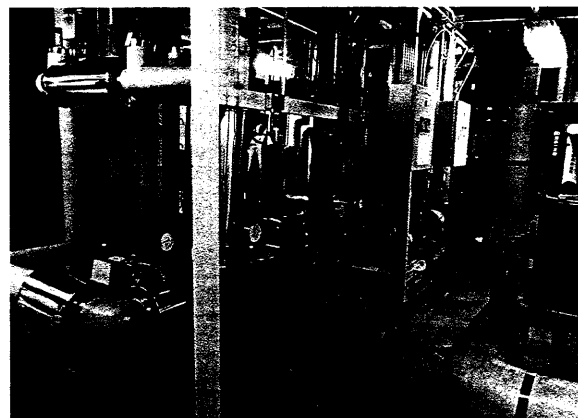
- (1) 会報「仙台市博物館友の会だより」発行
187号～190号 計4号
- (2) 行事
 - 4/22 特別展広報セミナー
「いつだって猫展」
講師 寺澤慎吾学芸員 参加88人
 - 5/29 日帰り研修会 山形方面
同行 小田嶋なつみ学芸員 参加40人
 - 7/10 見学セミナー 仙台市歴史民俗資料館等
同行 小田嶋なつみ学芸員 参加33人
 - 7/16 企画展広報セミナー
「戦国の伊達氏」
講師 佐々木徹学芸員 参加102人
 - 10/21 企画展広報セミナー
「やっぱり絵図がすき！」
講師 水野沙織学芸員 参加99人
 - 10/30 日帰り研修会 登米方面
同行 小田嶋なつみ学芸員
黒田風花学芸員 参加40人
 - 12/21 古文書講読会
「伊達輝宗と織田信長
—戦国時代の外交文書を読む—」
講師 長澤仲樹職員 参加77人
 - 2/19 見学セミナー
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
同行 水野沙織学芸員
寺澤慎吾学芸員 参加73人

8. 博物館改修工事について

博物館の機能を維持するため、令和2年1月から3月は休館し受変電設備の更新工事と冷温水循環ポンプの改修工事を行った。費用（工事監理委託・工事費含む）は、165,550千円。



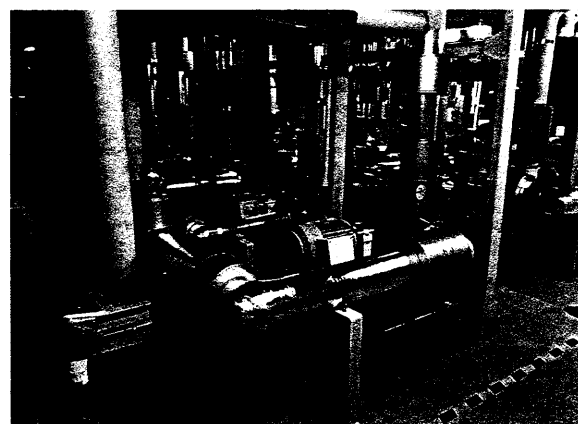
受変電設備ケーブル工事作業状況



冷温水ポンプ改修前



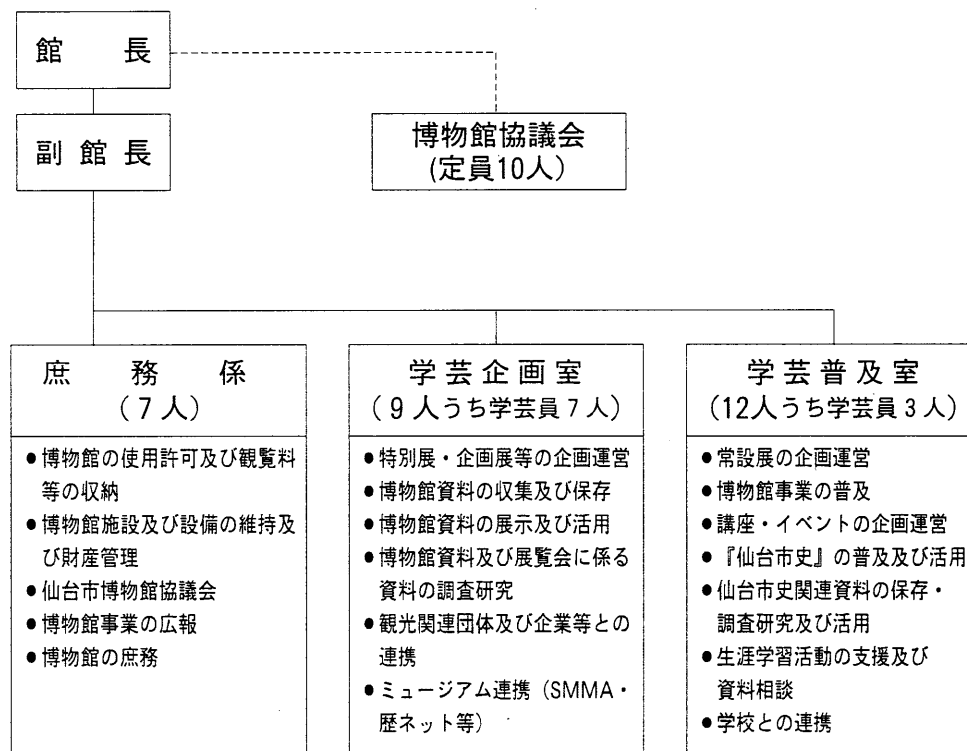
受変電設備改修後



冷温水ポンプ改修後

9. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成31年4月1日現在）



予算概要

表20 平成31年度（令和元年度）予算概要

（単位：千円）

費目	当初予算額	摘要
1 運営管理費	(1) 光熱水費	52,026 電気、上・下水道、ガス使用料
	(2) 管理運営委託費	125,563 警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	(3) 施設修繕費	13,095 機械設備等修繕費
	(4) 資料修繕費	1,340 収蔵資料修繕費
	(5) その他管理運営費	17,116 教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	209,140
2 資料購入費	0	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3 特別展覧会開催費	26,873	特別展覧会開催に要する経費
4 市史活用推進費	8,259	市史活用推進・刊行に要する経費
5 維持修繕費	199,782	冷温水循環ポンプ改修工事及び受変電設備更新工事に要する経費
合計	444,054	

職 員 (平成31年 4 月 1 日現在)

館 長 高 橋 泰
副 館 長 高 橋 あけみ

室 ・ 係	職 名	氏 名
庶 務 係	係 長	高 橋 薫
	主 任	石 井 光 信
	主 任	門 馬 純 子
	主 事	板 橋 裕 太
	非常勤嘱託職員	新 林 祐 子
	非常勤嘱託職員	遠 藤 遼 亮
	臨時的任用職員	大 沢 佳 代 子
学 芸 企 画 室	室 長	樋 口 智 之
	主 任	佐 々 木 徹
	主 任	水 野 沙 織
	主 事	寺 澤 慎 吾
	主 事	小 田 嶋 な つ み
	非常勤嘱託職員	明 石 治 郎
	非常勤嘱託職員	鈴 木 か お る
	非常勤嘱託職員	中 武 敏 彦
	非常勤嘱託職員	佐 藤 由 夏 理
学 芸 普 及 室	室 長	(高橋副館長事務取扱)
	指 導 主 事	片 寄 角 洋
	指 導 主 事	齋 藤 大 祐
	主 任	南 部 英 湖
	主 事	菅 原 美 咲
	主 事	黒 田 風 花
	非常勤嘱託職員	村 岡 淳 子
	非常勤嘱託職員	氏 家 文 枝
	非常勤嘱託職員	二 上 玲 子
	非常勤嘱託職員	倉 橋 真 紀
	非常勤嘱託職員	長 澤 伸 樹
	非常勤嘱託職員	阿 部 さ や か
	臨時的任用職員	河 野 喬 紀

仙台市博物館協議会

(2) 大規模改修について

令和元年度 仙台市博物館協議会委員

(五十音順・敬称略 ◎=会長 ○=副会長)

- 尾崎 彰宏 東北大学大学院教授
- 小野寺 健 仙台市議会議員
- 菊池 勇夫 宮城学院女子大学名誉教授
- 今野 隆 仙台市立長町中学校長
- ◎佐川 正敏 東北学院大学大学院教授
- 佐藤 憲子 仙台市社会学級研究会元会長
- 伊達 泰宗 伊達家伯記念會取締役会長
- 長岡 龍作 東北大学大学院教授
- 濱田 淑子 東北福祉大学
片沢銈介美術工芸館元参与
- 森 美智子 東北学院大学教授

○第3回 令和2年2月12日(火)

1 報告事項

- (1) 令和元年7～12月の観覧者数について
- (2) 企画展「戦国の伊達氏ー種宗から政宗へ」の結果報告について
- (3) 企画展「仙台市市制施行130周年記念 やっぱり絵図がすき！」の結果報告について
- (4) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (5) 教育普及事業について
- (6) 大規模改修について
- (7) 新年度の展覧会予定について

2 協議事項

- (1) 企画展「仙台の美と出会うー福島家三代の書画・工芸品コレクションー」の開催について

令和元年度 協議内容

○第1回 令和元年5月28日(火)

1 報告事項

- (1) 平成31年4月の観覧者数について
- (2) 特別展「いつだって猫展」の中間報告について
- (3) 市史活用推進事業について
- (4) 教育普及事業について
- (5) 各種機関との連携事業について

2 協議事項

- (1) 企画展「戦国の伊達氏ー種宗から政宗へ」の開催について

○第2回 令和元年7月23日(火)

1 報告事項

- (1) 令和元年5～6月の観覧者数について
- (2) 特別展「いつだって猫展」の結果報告について
- (3) 企画展「戦国の伊達氏ー種宗から政宗へ」の中間報告について
- (4) 市史活用推進事業及び資料レスキューについて
- (5) 教育普及事業について

2 協議事項

- (1) 企画展「仙台市市制施行130周年記念 やっぱり絵図がすき！」の開催について

10. 利用状況

月別観覧者数

表21 月別観覧者数

(人)

	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	9,307	162	1,252	10,721	172	216	655	1,043	1,725	13,489
5	20,130	297	2,005	22,432	177	16	799	992	3,567	26,991
6	9,782	76	1,302	11,160	315	0	291	606	2,353	14,119
7	5,898	161	691	6,750	70	1	49	120	2,463	9,333
8	12,121	467	1,859	14,447	3	8	25	36	3,579	18,062
9	5,124	45	474	5,643	178	0	102	280	1,619	7,542
10	4,593	46	322	4,961	48	0	93	141	2,994	8,096
11	4,956	28	65	5,049	101	0	35	136	4,674	9,859
12	2,458	41	68	2,567	0	0	0	0	1,424	3,991
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	74,369	1,323	8,038	83,730	1,064	241	2,049	3,354	24,398	111,482

展示開館日数 234日（ただし、10月13日は台風のため午後1時から開館）

※令和元年12月28日～令和2年3月31日の期間は、館内設備改修工事のため休館

施設利用状況

表22 ギャラリー利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
教育局教育指導課	11/25～12/2	8	仙台市中学校生徒地図作品展
宮城県考古学会	12/14	1	宮城県遺跡調査成果発表会
博物館		225	特別展、資料整理等
計		234	

表23 ホール利用状況

利用団体名	利用期間	日数	利用内容
教育局教育指導課	11/29	1	仙台市中学校生徒地図作品展
宮城県考古学会	12/14	1	宮城県遺跡調査成果発表会
博物館		232	講演会、ビデオガイダンス等
計		234	

展示開館日数：234日

講師等利用状況

表24 講師利用件数表

内訳 年度	件数(件)					人数(人)				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
令和元年度	76	26	11	14	127	3,338	1,220	1,274	877	6,709

表25 レファレンス等の状況(件)

内訳 年度	資料相談・ 質問対応等	マスコミ 対応	資料閲覧 対応等	写真貸出・ 利用	計
令和元年度	425	215	33	228	901

表26【参考】 館外実施分含む博物館利用状況（人）

	人数
観覧者数	111,482
学校・各種教育機関との連携研修	203
情報資料センター利用者数(電話相談等除く)	4,402
館外講師派遣（対象人数）	2,151
仙台市史講座（参加者数）	168
図書館連携講座（参加者数）	261
計	118,667

視察対応状況

表27 令和元年度 視察対応状況

月 日	視 察 者	人 数
4 / 18	メキシコ・アカプルコ市市民交流団体	10
8 / 2	松本市議会	11
8 / 6	徳島市議会	9
10 / 30	北秋田市教育委員会	14
11 / 12	宇和島市議会	5
11 / 27	仙台市議会議員待遇者親和会	22

11. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日

仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第三十二号）の全部を改正する。

（設置）

第一条 歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条 表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

- 一 公の秩序を乱すおそれがあるとき
- 二 管理上支障を及ぼすおそれがあるとき
- 三 使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条 施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2 使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二 市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第

一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一 天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二 市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条 教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一 第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二 第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条 既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一 観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二 使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条 博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条 博物館法（昭和26年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3 協議会の委員の定数は、10人とする。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委 任)

第十一条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附 則

この条例は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則 (昭63、12・改正) 抄

この条例は、昭和64年4月1日から施行する。

附 則 (平3、12・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
(経過措置)
- 2 次項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平9、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
(経過措置の原則)
- 2 次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附 則 (平15、7・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平16、3・改正)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平24、3・改正)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平28、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年10月1日から施行する。
(使用料に関する経過措置)
- 2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして同項の規定を適用することができる。

附 則 (平31、3・改正) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
(使用料及び利用料金に関する経過措置の原則)
- 2 附則第四項及び第五項に定めるものを除き、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前になされた使用の許可その他これに類する行為(次項において「使用の許可等」という。)に係る使用料及び利用料金については、なお従前の例による。
- 3 施行日以後になされた使用の許可等について、施行日前に使用の予約その他の使用の許可等に準ずるものとして市長又は教育委員会が認める行為があった場合には、当該行為を使用の許可等とみなして前項の規定を適用することができる。

別表第一 (第三条関係)

(平28、3・改正)

区 分		金額 (1人につき)
常 設	個人利用	
	一 般	460円
	高 校 生	230円
	小学生・中学生	110円
展	団体利用	
	一 般	360円
	高 校 生	180円
	小学生・中学生	90円
特 別 展		1,700円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

- 一 特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。
- 二 団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。
- 三 常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に1人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

（平3、12・平9、3・平28、3・平31、
3・改正）

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,500円	7,200円
ギャラリー	3,900円	4,800円

備考

- 一 全日（午前9時～午後4時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。
- 二 使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。
- 三 本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前9時以前又は正午から午後1時までのときは午前、午後4時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。
- 四 本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の2分の1とする。
- 五 付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。
- 六 暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

※上記の条例は、令和元年10月1日施行の改正後のものであり、別表第二（第四条、第五条関係）について、改正前の令和元年9月30日までは、下表のとおりとなっている。

使用区分 \ 使用時間	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:30)
ホール	5,400円	7,100円
ギャラリー	3,900円	4,800円

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年1月24日

仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣 旨）

第一条 この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条 博物館の開館時間は、午前9時から午後4時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

- 一 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）
- 二 休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日につながる日を除く。）
- 三 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで
- 四 その他教育委員会が必要と認める日
（平17、3・平27、3・改正）

（入館者の遵守事項）

第四条 入館者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと
- 二 許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと
- 三 所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと
- 四 他の入館者に迷惑となる行為をしないこと
- 五 その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条 教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

- 一 適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者
- 二 てい酔者
- 三 他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者
- 四 係員の指示に従わない者
- 五 その他管理上支障があると認められる者(観覧券)

第六条 博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

- 2 前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。(使用許可の手続)

第七条 条例第四条第一項の許可(以下「使用許可」という。)を受けようとする者は、使用しようとする日(以下「使用日」という。)の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 前項の使用申込書の受付は、使用日の3月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、6月前から行うことができる。
- 3 教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。(市長が必要と認めるときの使用料の納期限)

第七条の二 条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

- 一 使用料を口座振替の方法により納入する場合
使用許可を受けた日の属する月の翌月末日
- 二 教育委員会が特別な事由があると認める場合
教育委員会が定める日

(市長が必要と認めるときの使用料の額の特例)

第七条の三 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

- 2 条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の規定により市長が定める使用料の額は、前項の規

定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

- 一 使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間 零
- 二 使用日の一月前の日(の翌日)から使用日の七日前の日までの期間 条例第五条第一項の規定による使用料(以下「従前の使用料」という。)の額の五割に相当する額(その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額)。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零
- 三 使用日の七日前の日(の翌日)から使用日までの期間 従前の使用料の額
- 3 使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。(使用者の遵守事項)

第八条 使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

- 一 使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと
- 二 使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと
- 三 入場人員は収容定員を超えないこと
- 四 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること
- 五 許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと
- 六 許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと
- 七 使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること(観覧料等の返還)

第九条 観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

- 2 使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。
- 3 使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の

返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一 第七条の三第二項第一号に掲げる期間 既納の使用料の全額

二 第七条の三第二項第二号に掲げる期間 既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（付帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4 使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。（観覧料等の減免）

第十条 観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条 条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2 条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条 仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 会長は、会議を招集し、その議長となる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条 この規則の実施細目は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和61年3月1日から施行する。

附 則（昭和63、2・改正）

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則（平成9、3・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成9、9・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成15、9・改正）

（施行期日）

1 この規則は、平成15年11月16日から施行する。

ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附 則（平16、3・改正）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附 則（平17、3・改正）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平27、3・改正）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表（第十一条関係）

附 則（平9、3・改正）

一 付帯設備使用料

区 分	単 位	金額（1回につき）
舞台照明設備	1式	1,000円
音響設備	1式	2,100円
視聴覚設備	1式	1,000円

備考 1回とは、使用1回（使用が2日以上にわたる場合は、1日）をいう。

二 暖房し、又は冷房する場合の加算額

区 分	加算額（1時間につき）
ホ ー ル	500円
ギャラリー	400円

備考 暖房し、又は冷房する時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間に切り上げる。

仙台市博物館資料取扱要綱

（平成29年1月12日教育長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、仙台市博物館（以下「博物館」という。）における、美術工芸品や歴史資料等の文化財（以下「文化財」という。）の購入、寄贈、寄託、貸出および借用等に関する取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱における博物館資料とは、博物館が購入、寄贈等により所蔵している文化財を指す。

2 寄託資料とは、所蔵者からの寄託の申し出を受け、博物館が展示活用等のため受託した文化財を指す。

3 借用資料とは、博物館における展示や調査研究等のため、所蔵者から一時的に借用する文化財を指す。

（博物館資料等の収集方針）

第3条 博物館資料の購入、寄贈は博物館資料の収集方針（別紙1）に沿って行うものとする。また寄託についても博物館資料の収集方針に準じて行うものとする。

（購入）

第4条 仙台市博物館長（以下「館長」という。）は資料の購入にあたり、1件につき100万円以上に相当する場合、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の審議を経るものとする。

2 1件につき100万円以上に相当しない場合でも、館長が必要と認める場合は、その適否及び価格について、博物館協議会等、学識経験および専門的知識を有する者の意見を聴取することができる。

3 館長は、博物館資料を購入したときは、仙台市博物館資料購入台帳および仙台市が定める備品台帳に登載するものとする。

（寄贈）

第5条 館長は、文化財を寄贈しようとする者（以下「寄贈者」という。）から、資料寄贈申込書（様式1）の提出を受け、審査するものとする。

2 館長は、文化財の寄贈を受納したときは、資料寄贈受納書（様式2）を発行し、これを仙台市博物館資料寄贈台帳に登載するものとする。

3 館長は、文化財の寄贈者に対し、感謝状等によ

り感謝の意を表することができる。

(寄託)

第6条 館長は、所蔵者から文化財の寄託の申し出があった場合は、これを受託することができる。

- 2 館長は、文化財を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）から、資料寄託申込書（様式3）の提出を受け、審査のうえ可否を決する。
- 3 館長は、文化財を寄託者から受領したときは、寄託者に資料受託書（様式4）を発行するとともに、仙台市博物館寄託台帳に登録するものとする。
- 4 寄託資料の受託期間は原則として1年度以内とし、寄託者から特に申し出がない限り、必要に応じて更新できるものとする。
- 5 寄託の更新手続きは年度ごとに行ない、原則として前年度末の3月末日までに寄託者に更新通知を行うものとする。
- 6 寄託資料の受け入れ時および返還時の輸送または修理については、寄託者の負担とする。ただし、館長が展示および保管のため緊急に輸送または修理する必要があると認めるときは、寄託者と協議のうえ、博物館の負担で行うことができる。
- 7 館長は、寄託資料の保管について博物館の所蔵資料と同等に扱い、その責を負う。ただし、災害その他不可抗力によって汚損、破損および亡失等があった場合はこの限りではない。

(寄託の変更等)

第7条 館長は、寄託資料の全部を返還するときは、資料受託書と引き換えに文化財を引き渡し、その際、寄託者は受領書（様式5）を館長へ提出するものとする。

- 2 館長は、寄託資料の一部を返還するときは、寄託者から寄託一部解除願い書（様式6）の提出を受け、新たな資料受託書を発行するものとする。
- 3 館長は、寄託者が相続または譲渡等により変更となり、かつ引き続き寄託を希望する場合は、新寄託者から寄託者変更届（様式7）の提出を受けるものとする。また寄託者の住所が変更となった場合も寄託者変更届の提出を受けるものとする。
- 4 上記1項から3項までの届出を受けた場合は、仙台市博物館寄託台帳を更新し管理するものとする。
- 5 寄託資料の特別利用および展覧会等への一時貸出については、それを行おうとする者が寄託者の承諾を得たうえで、必要な手続きを行わなければ

ならない。

(借用)

第8条 館長は、博物館における展示、調査研究等のため、所蔵者から一時的に文化財を借用する場合、資料借用書（様式8）を発行し、資料借用書の控えを保管する。

- 2 借用資料は、借用目的が達せられた場合、すみやかに資料借用書と引き換えに所蔵者に返納する。
- 3 借用期間は1年以内とし、借用期間を延長する場合は、あらためて資料借用書を発行するものとする。
- 4 所蔵者が資料借用書を紛失した場合は、借用資料の返納の際、所蔵者から受領書の提出を受けるものとする。

(博物館資料の貸出)

第9条 館長は、博物館資料の借用依頼があった場合は、審査のうえ貸し出すことができる。

- 2 館長は、博物館資料の貸出を承諾したときは、出品承諾書（様式9または資料の貸出に当たって承諾を受けた者（以下「借用者」という。）の定めるもの）を発行し、仙台市博物館資料貸出台帳に登録するものとする。
- 3 貸出資料の件数は、貸出依頼のあった展覧会等1件につき20件以内とし、貸出期間は60日以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、この限りではない。
- 4 館長は、資料の貸出を行うときは、借用者から借用書を受け取るものとする。
- 5 館長は、貸し出した資料の返還を受けるときは、資料の汚損、破損等の有無を確認し、借用書を借用者に返還するものとする。

(博物館資料の特別利用)

第10条 館長は、博物館内において博物館資料の閲覧や撮影を行おうとする者から、仙台市博物館資料特別閲覧・撮影申込書兼承認書（様式10）の提出を受け、これを承認する場合は承認書として発行するものとする。

(写真等の利用)

第11条 館長は、博物館資料の写真等（フィルム、電子データ、映像を含む）の貸出および掲載等を求める者から、仙台市博物館写真利用・減免申込書（様式11）の提出を受け、これを承認する場合は仙台市博物館写真利用・減免承認書（様式12）を発行するものとする。

2 写真の利用については別に定める。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか、資料の取り扱いについて必要な事項は館長が別に定める。

附則

この要綱は、平成29年1月12日から施行する。

※仙台市博物館資料取扱要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ 制度設置要綱

(平成25年2月4日教育長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置目的)

第2条 仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

(対象)

第3条 制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

(名称)

第4条 制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

(特典)

第5条 メンバーの特典は、次のとおりとする。

- (1) メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除
- (2) 博物館が発行する印刷物の提供
- (3) 博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力
- (4) その他博物館長が認めた事項

2 前項第1号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

(入会手続)

第6条 制度に入会を希望する大学等は、別紙様式1に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続を行うものとする。

2 博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式2に定めるメンバー証を発行するものとする。

(会費)

第7条 会費は、年会費とし、別表のとおりとする。

ただし、次条第2項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄2のとおりとする。

2 前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

3 博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

(有効期間)

第8条 メンバーの有効期間は、原則として毎年4月1日から翌年の3月末日までとする。

2 大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

(退会)

第9条 メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

2 博物館は、メンバーとして適当でないと思われる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

3 退会した場合の会費は、原則として返還しない。

(事務)

第10条 制度の事務は博物館が行う。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日改正)

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

別表 区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

- 1 学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。
- 2 年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

※ 仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱内の様式については省略する。

仙台市博物館のあゆみ

旧 館

昭和34年 3月	博物館建設調査着手
35年 1月	学識経験者による基本構想検討
3月	博物館建設費予算計上
9月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年 6月	同工事竣工（鉄筋コンクリート2階建一部地階 総床面積883㎡）
7月	博物館条例設定
9月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行、仙台市博物館開館
38年 7～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積244㎡）
43年 3～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積879㎡）
46年12月～47年 3月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート2階建 総床面積405㎡）
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年 3月	新館建築のため休館
5月	旧博物館解体工事開始
7月	旧博物館解体工事完了

新 館

昭和57年 4月	博物館基本構想策定委員会設置
7月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
9月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年 5月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年 1月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年 7月	建築工事完了
11月	定礎式
61年 2月	展示工事完了
3月	新博物館開館
62年 9月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年 8月	新博物館入場者300万人達成
13年 6月	「慶長遣欧使節関係資料」47点 歴史資料国宝第1号指定
19年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年 3月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年 9月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年 3月	改修工事完了
22年 4月	リニューアルオープン
23年 3～4月	東日本大震災に伴う復旧工事（1期）
4月	開館50周年
6～7月	復旧工事（2期）
1～2月	復旧工事（3期）、完全復旧
24年 7月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年 6月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等3点がユネスコ記憶遺産に認定
26年12月～27年 2月	空気熱交換機改修工事（1期）
27年 9月～28年 2月	空気熱交換機改修工事（2期）
29年 1月～3月	空調設備改修工事（1期）
30年 1月～3月	空調設備改修工事（2期）
令和 2年 1月～3月	冷温水循環ポンプ改修工事・受変電設備更新工事

仙台市博物館年報

第47号 平成31年度・令和元年度

編集・発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印刷 株式会社 孔栄社
仙台市青葉区立町16-13
Tel.022(262)4545

令和2年6月30日発行

©Sendai City Museum 2020

再生紙を使用しています